

## 2 自然的状況

### (1) 大気質、騒音、振動、悪臭、気象その他の大気に係る環境の状況

#### 1) 気象

##### ① 降水量・気温・日照時間

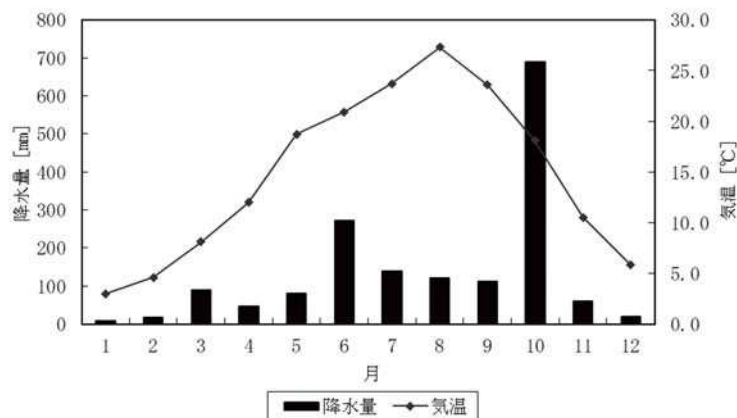
寄居地域気象観測所（大里郡寄居町大字折原：図 5.2-2 参照）における令和元年<sup>注)</sup>の月別降水量、気温及び日射時間は、表 5.2-1 及び図 5.2-1 に示すとおりである。降水量を月別に見ると、10 月が最も多く 689.0mm、次いで6月 271.0mm となっている。日平均気温は、8月の 27.3℃が最も高く、次いで7月の 23.7℃である。

また、寄居地域気象観測所における過去 10 年間の年別降水量、気温及び日照時間の推移は、表 5.2-2 に示すとおりである。令和元年の年降水量は 1,649mm、年平均気温は 14.7℃である。

表 5.2-1 寄居地域気象観測所における月別降水量、気温及び日照時間（令和元年）

月	降水量(mm)				気温(℃)					日照時間(h)
	合計	日最大	最大		平均			最高	最低	
			1時間	10分間	日平均	日最高	日最低			
1	8.5	8.5	3.0	1.0	3.0	9.8	-3.6	14.6	-6.3	237.4
2	16.5	13.5	3.0	1.5	4.6	10.9	-1.7	19.4	-6.2	185.6
3	88.0	35.0	6.5	1.5	8.1	14.5	1.7	22.5	-4.2	210.2
4	46.5	16.0	3.5	1.5	12.0	18.8	5.1	27.5	-1.8	213.5
5	80.5	64.5	16.0	3.5	18.7	26.0	11.6	35.0	2.7	262.1
6	271.0	72.0	20.0	9.0	20.9	26.0	16.7	34.0	13.2	131.3
7	138.5	23.0	12.5	4.0	23.7	27.6	20.9	36.3	17.0	74.5
8	120.0	39.0	23.0	7.5	27.3	32.7	23.5	37.8	20.4	180.2
9	112.0	61.5	22.5	22.0	23.6	28.7	19.6	36.2	15.1	145.7
10	689.0	471.0	62.0	11.5	18.1	22.5	14.2	30.5	8.2	114.4
11	60.0	24.0	3.5	1.0	10.5	16.7	5.5	24.6	-1.9	190.3
12	18.5	11.0	3.0	1.0	5.8	11.9	0.2	20.2	-3.4	152.5

資料：「過去の気象データ・ダウンロード」（気象庁ホームページ）



資料：「過去の気象データ・ダウンロード」（気象庁ホームページ）

図 5.2-1 寄居地域気象観測所における月別降水量及び気温（令和元年）

注) 2019年については、1月から4月が平成31年、5月から12月が令和元年となるが、本書では2019年1月～12月を令和元年と示し、2019年4月～2020年3月を令和元年度と示した。

表 5.2-2 寄居地域気象観測所における年別降水量、気温及び日照時間の推移（令和元年）

年	降水量 (mm)		気温 (°C)			日照時間 (h)
	合計	日最大	平均	最高	最低	
平成 22 年	1475.0	64.5	14.4	38.2	-7.4	2099.1
平成 23 年	1595.0	150.5	14.0	39.2	-7.3	2168.4
平成 24 年	1218.5	141.5	13.7	37.1	-8.2	2182.8
平成 25 年	1105.0	96.5	14.3	38.9	-7.7	2275.6
平成 26 年	1398.5	173.5	13.9	38.0	-8.2	2272.5
平成 27 年	1226.0	142.5	14.6	38.3	-6.1	2074.0
平成 28 年	1192.5	163.5	14.6	37.3	-7.4	1999.2
平成 29 年	1238.0	118.5	13.9	36.5	-7.1	2208.2
平成 30 年	1082.5	101.5	15.0	39.9	-8.5	2283.4
令和元年	1649.0	471.0	14.7	37.8	-6.3	2097.7

資料：「過去の気象データ・ダウンロード」（気象庁ホームページ）

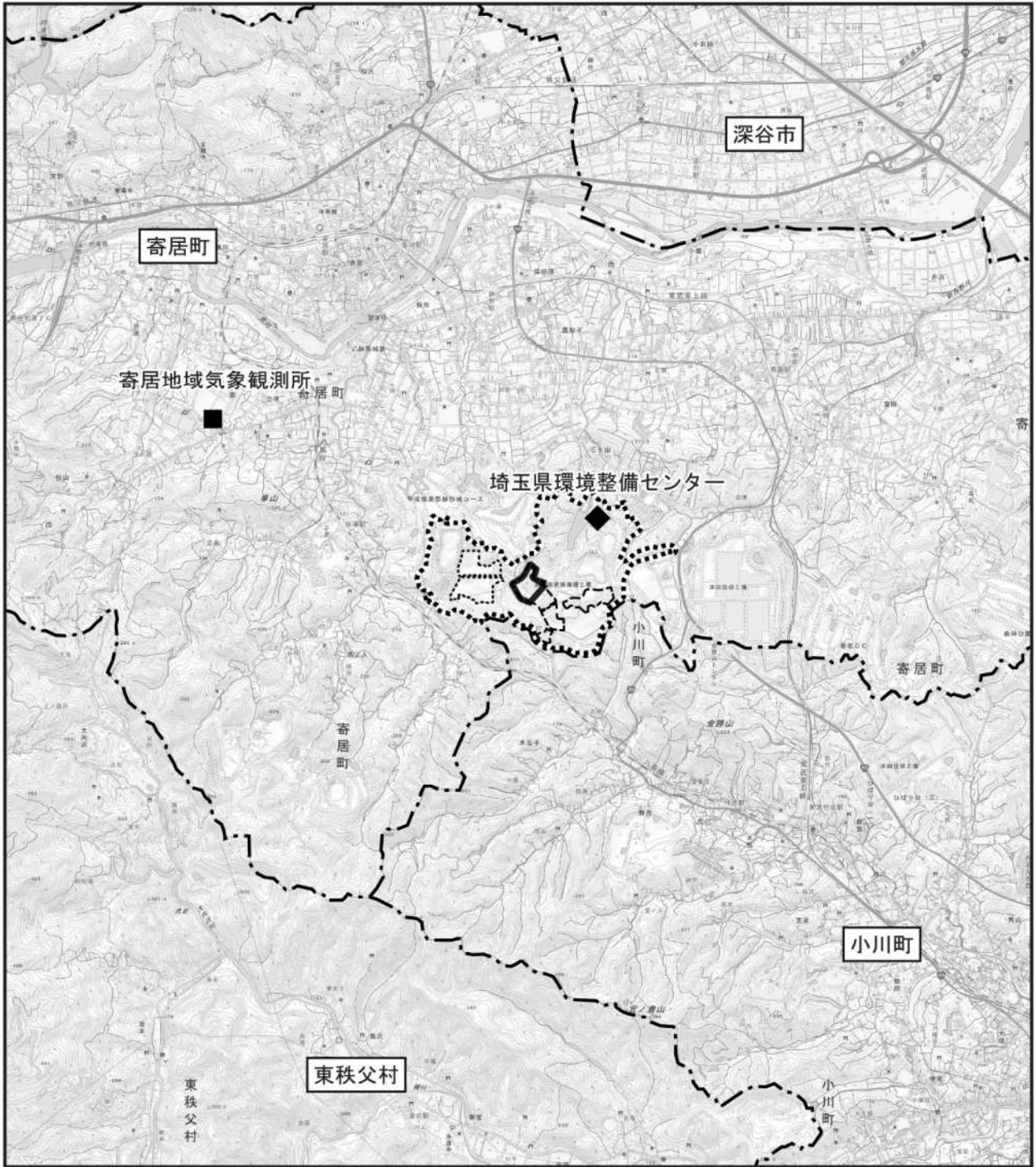
## ② 風向・風速

寄居地域気象観測所及び埼玉県環境整備センター内の気象観測地点の位置は、図5.2-2に示すとおりである。

寄居地域気象観測所及び埼玉県環境整備センター内の気象観測地点における令和元年の月別風向・風速は表 5.2-3 及び表 5.2-4 に、年間風配図は図 5.2-3 及び図 5.2-4 に、月別風配図は図 5.2-5 及び図 5.2-6 示すとおりである。

寄居地域気象観測所における令和元年の最多風向は西北西、平均風速は 1.7m/s で、埼玉県環境整備センター内の気象観測地点における令和元年の最多風向は北、平均風速は 1.1m/s である。

また、寄居地域気象観測所及び埼玉県環境整備センターにおける過去 10 年間の年間風向・風速の推移は、表 5.2-5 及び表 5.2-6 に示すとおりである。寄居地域気象観測所における過去 10 年間の最多風向は、各年とも西北西、平均風速は 1.5～1.8m/s、最大風速は 11.2～15.9m/s である。また、埼玉県環境整備センターにおける過去 10 年間の最多風向は北又は北北西、平均風速は 1.0～1.1m/s、最大風速は 18.9～24.9m/s である。



この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。

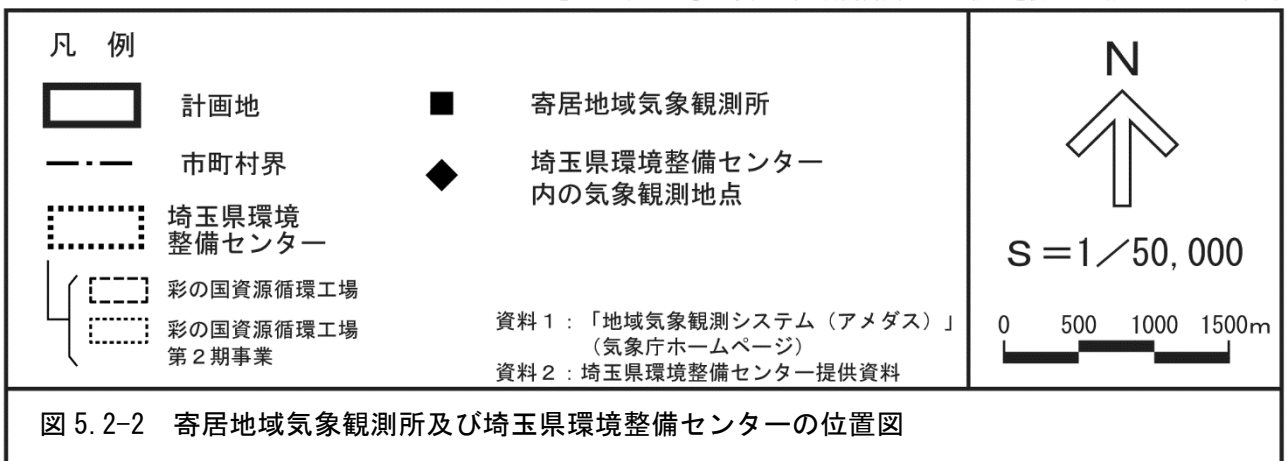


図 5.2-2 寄居地域気象観測所及び埼玉県環境整備センターの位置図

表 5.2-3 寄居地域気象観測所における月別風向・風速（令和元年）

月	最多風向	平均風速 (m/s)	最大風速	
			風速 (m/s)	風向
1	西北西	2.5	9.4	北西
2	西北西	2.3	8.7	北西
3	西北西	2.1	10.2	北西
4	西北西	2.0	8.5	北西
5	南東	1.7	7.9	北西
6	南東	1.3	7.5	西北西
7	南東	1.0	5.9	東南東
8	南東	1.2	5.8	東南東
9	西北西	1.2	9.2	北西
10	西北西	1.3	12.7	北西
11	北西	1.7	6.9	北西
12	西北西	1.7	10.9	北北西
年間	西北西	1.7	12.7	北西

資料：「過去の気象データ・ダウンロード」（気象庁ホームページ）

表 5.2-4 埼玉県環境整備センターにおける月別風向・風速（令和元年）

月	最多風向	平均風速 (m/s)	最大風速	
			風速 (m/s)	風向
1	北	1.6	16.9	北
2	北	1.5	16.5	北
3	北	1.4	16.3	北西、北北西
4	北	1.3	17.1	北北西
5	南東	1.0	12.6	北
6	南東	0.8	12.4	西北西
7	東南東、南東	0.6	9.0	東南東
8	南東	0.7	11.7	東
9	西	0.7	14.5	西
10	西北西、北	0.8	19.0	北
11	北	1.1	13.4	北
12	北	1.2	20.9	北北西
年間	北	1.1	20.9	北北西

資料：埼玉県環境整備センター提供資料

表 5.2-5 寄居地域気象観測所における年別風向・風速の推移  
（平成 22 年～令和元年）

年	最多風向	平均風速 (m/s)	最大風速	
			風速 (m/s)	風向
平成 22 年	西北西	1.5	11.4	北西
平成 23 年	西北西	1.7	11.2	西北西
平成 24 年	西北西	1.8	13.4	西
平成 25 年	西北西	1.8	15.9	北西
平成 26 年	西北西	1.8	11.2	北西
平成 27 年	西北西	1.6	11.5	北西
平成 28 年	西北西	1.6	11.8	北西
平成 29 年	西北西	1.7	11.5	西北西
平成 30 年	西北西	1.6	11.5	南東
令和元年	西北西	1.7	12.7	北西

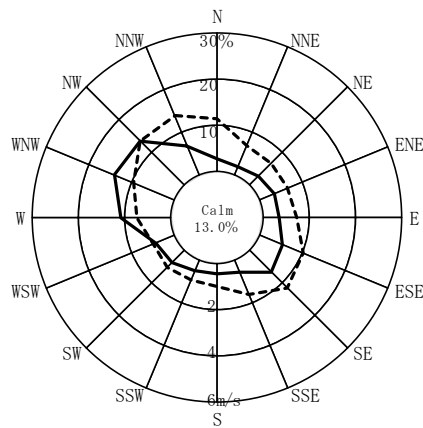
資料：「過去の気象データ・ダウンロード」（気象庁ホームページ）

表 5.2-6 埼玉県環境整備センターにおける年別風向・風速の推移（平成22年～令和元年）

年	最多風向	平均風速 (m/s)	最大風速	
			風速 (m/s)	風向
平成22年 <sup>注)</sup>	(西北西)	(0.9)	(17.7)	(西)
平成23年	北	1.0	24.9	西
平成24年	北	1.1	23.5	西
平成25年	北	1.1	23.8	北北東
平成26年	北北西	1.1	19.6	西
平成27年	北北西	1.0	19.1	北北東
平成28年	北北西	1.0	19.3	北、北北東
平成29年	北北西	1.1	18.9	北北西
平成30年	北	1.0	22.7	南
令和元年	北	1.1	20.9	北北西

注) 平成22年のデータについては、平成22年4月～12月（9ヶ月間）のデータを集計した結果であり、（ ）で示している。

資料：埼玉県環境整備センター提供資料



平均風速：1.7m/s

風向	出現率 (%)	平均風速 (m/s)	風向	出現率 (%)	平均風速 (m/s)
N	2.8	2.3	S	2.0	1.0
NNE	1.9	1.4	SSW	2.4	0.9
NE	2.5	1.3	SW	3.8	1.0
ENE	3.4	1.3	WSW	4.4	1.0
E	3.5	1.4	W	10.9	1.4
ESE	5.4	2.0	WNW	13.9	1.9
SE	6.7	2.3	NW	13.5	2.7
SSE	2.9	1.6	NNW	6.9	2.8

———：風向出現率 (%)

-----：平均風速 (m/s)

Cal m：静穏出現率 (%) (風速0.4m/s以下の場合)

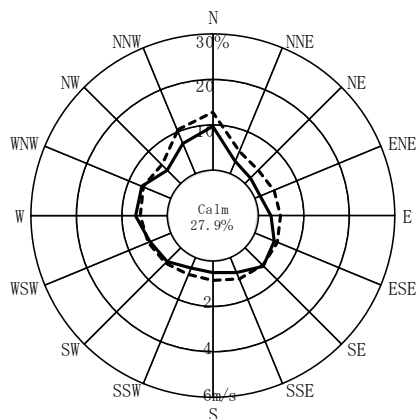
調査地点：寄居地域気象観測所

測定高さ：地上10m

調査期間：令和元年1月～12月

資料：「過去の気象データ・ダウンロード」(気象庁ホームページ)

図 5.2-3 年間風配図 (寄居地域気象観測所、令和元年)



平均風速：1.1m/s

風向	出現率 (%)	平均風速 (m/s)	風向	出現率 (%)	平均風速 (m/s)
N	9.8	2.5	S	2.6	0.9
NNE	3.1	1.0	SSW	2.5	0.8
NE	1.6	0.8	SW	4.3	1.0
ENE	1.4	0.9	WSW	5.0	1.0
E	2.9	1.0	W	7.0	1.2
ESE	4.7	1.1	WNW	6.8	1.3
SE	5.7	1.1	NW	4.3	1.2
SSE	3.5	1.0	NNW	7.0	2.1

———：風向出現率 (%)

-----：平均風速 (m/s)

Cal m：静穏出現率 (%) (風速0.4m/s以下の場合)

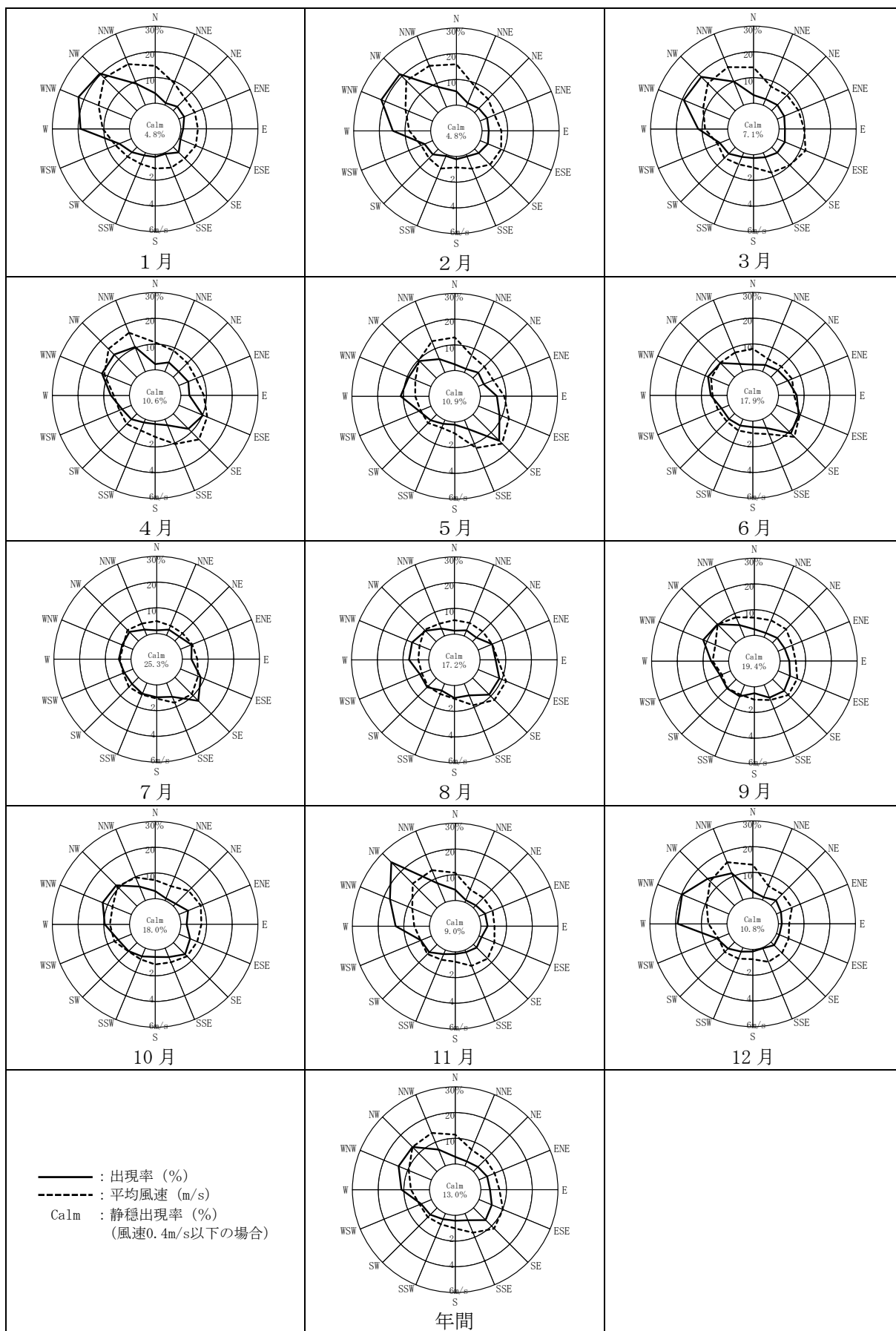
調査地点：埼玉県環境整備センター

測定高さ：地上10m

調査期間：令和元年1月～12月

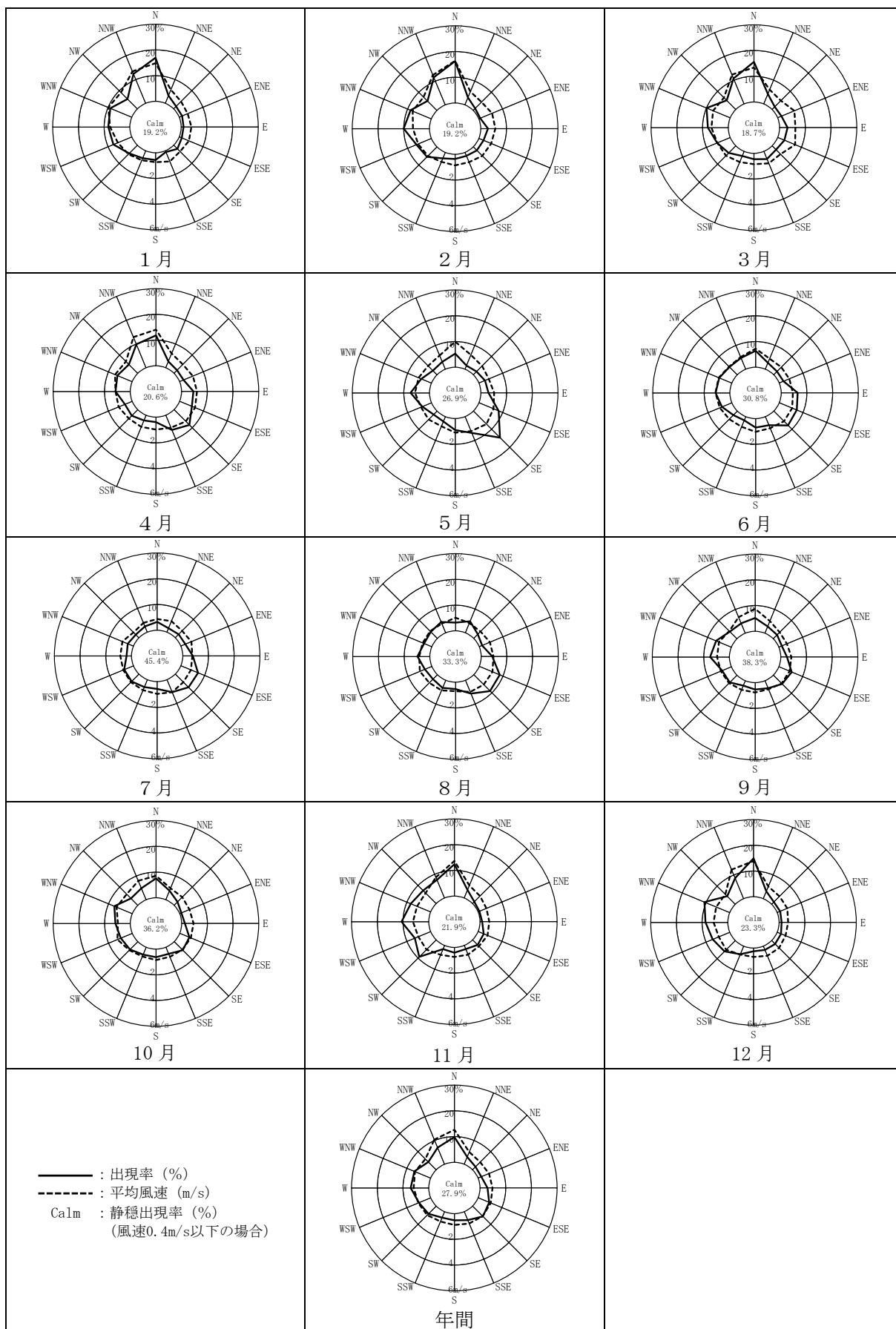
資料：埼玉県環境整備センター提供資料

図 5.2-4 年間風配図 (埼玉県環境整備センター内の気象観測地点、令和元年)



資料：「過去の気象データ・ダウンロード」(気象庁ホームページ)

図 5.2-5 月別風配図 (寄居地域気象観測所、令和元年)



資料：埼玉県環境整備センター提供資料

図 5.2-6 月別風配図（埼玉県環境整備センター内の気象観測地点、令和元年）

## 2) 大気質

### ① 大気質の状況

#### (ア) 大気汚染常時監視測定局における大気質の状況

関係市町村内における大気汚染常時監視測定局及び測定項目は表 5.2-7 に、測定局の位置は図 5.2-7 に示すとおりである。

一般環境大気測定局（以下「一般局」という。）が寄居、小川の2地点、自動車排出ガス測定局（以下「自排局」という。）が寄居桜沢の1地点に設置されている。

表 5.2-7 大気汚染常時監視測定局と測定項目

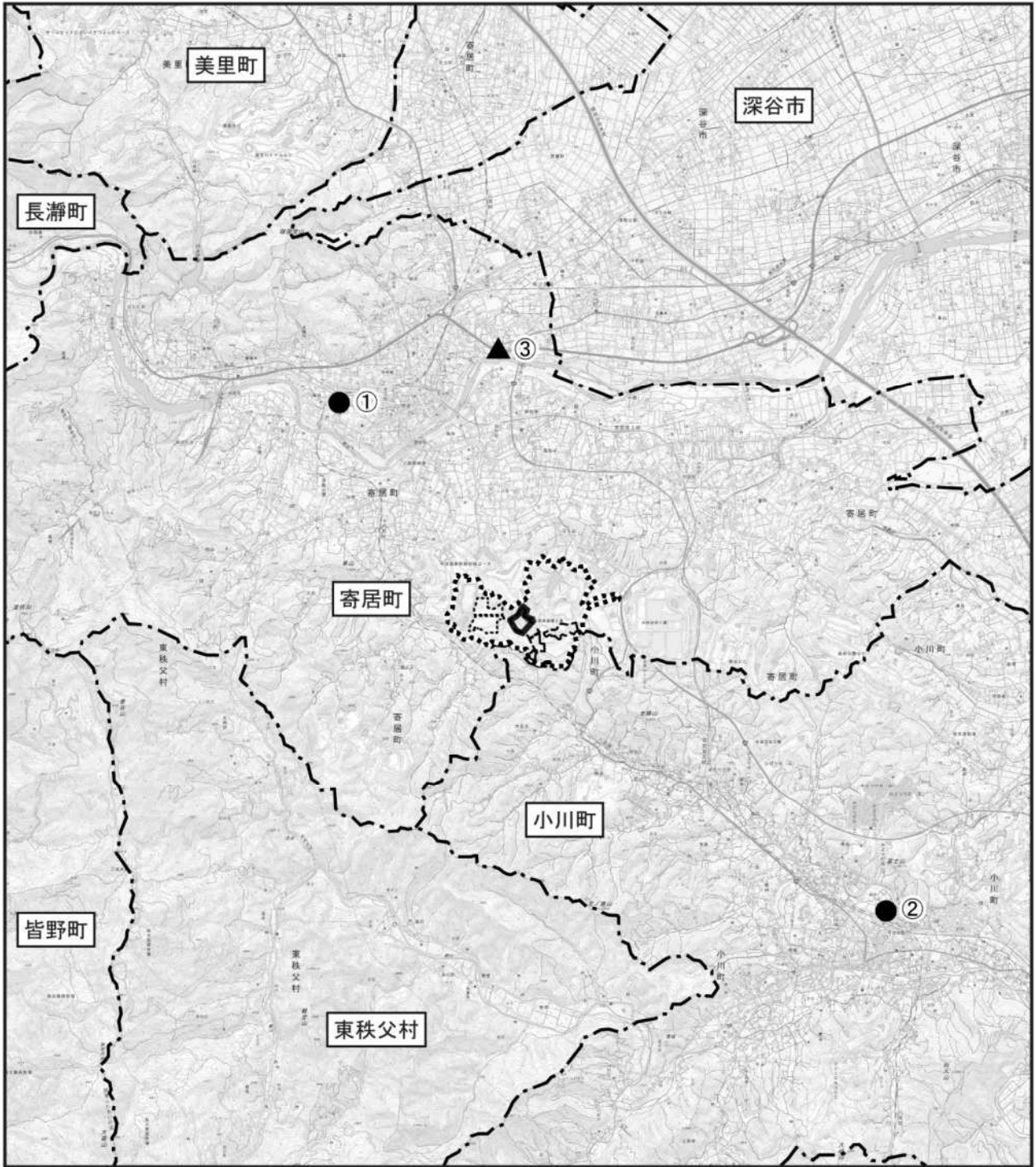
図中 番号	測定局名	測定場所	所在地	局種別	二酸化 硫黄	二酸化 窒素	一酸化 炭素 <sup>注2)</sup>	光化学 オキシ ダント	浮遊粒子 状物質	微小粒子 状物質	非メタン 炭化水素	ダイオ キシン類
①	寄居	寄居小学校	寄居町寄居206	一般局	○	○		○	○	○	○	
②	小川	小川高等学校	小川町大塚1105	一般局		○		○	○	○		○
③	寄居桜沢	国有地	寄居町桜沢234-3	自排局		○			○	○	○	

注1) 図中番号は、図5.2-7の番号と対応する。

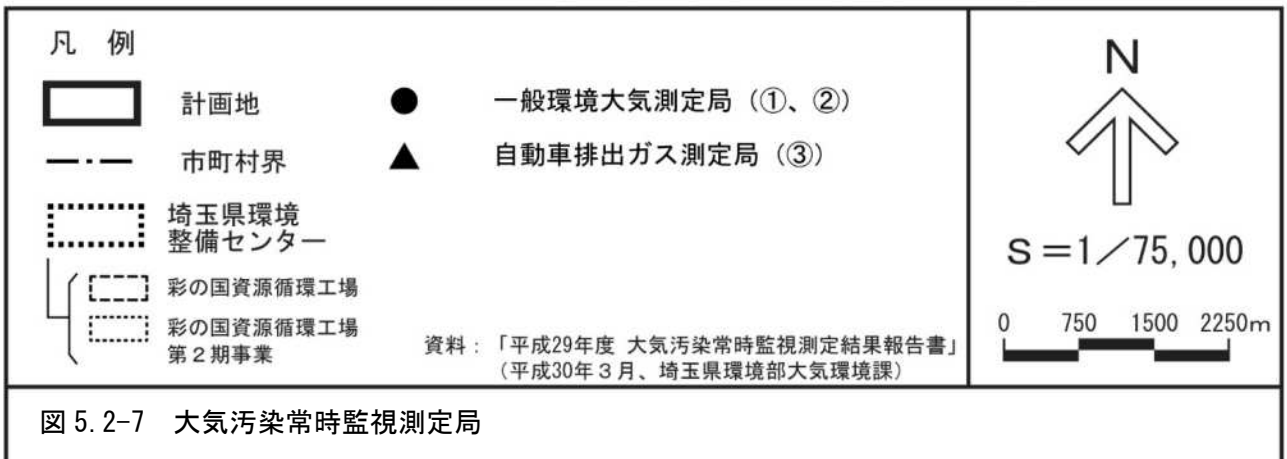
注2) 一酸化炭素については、計画地周辺に位置する測定局では測定されていない。

資料：「平成29年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成30年3月、埼玉県環境部大気環境課）





この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。



## 7) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

二酸化硫黄の測定結果（平成 29 年度）は表 5.2-8 に示すとおり、寄居測定局で環境基準の長期的評価及び短期的評価を達成している。

また、寄居測定局における二酸化硫黄の年平均値の経年変化（平成 25 年度～平成 29 年度）は表 5.2-9 及び図 5.2-8 に示すとおり、横ばい傾向にある。

表 5.2-8 二酸化硫黄の測定結果（平成 29 年度）

図中番号	測定局名	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (ppm)	1時間値が 0.10ppmを 超えた時間 (時間)	日平均値が 0.04ppmを 超えた日数 (日)	1時間値 の最高値 (ppm)	日平均値の 2%除外値 (ppm)	日平均値が0.04ppmを 超えた日が2日以上 連続したことの有無 (有・無)	環境基準の長期的評 価による日平均値が 0.04ppmを超えた日数 (日)	環境基準	
											長期的 評価	短期的 評価
											(達成○・非達成×)	
①	寄居	364	8,638	0.001	0	0	0.008	0.002	無	0	○	○

注) 環境基準達成状況 ○：環境基準達成、×：環境基準非達成

長期的評価：日平均値の2%除外値が0.04ppm以下であり、かつ、日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。

短期的評価：1時間値が0.1ppm以下であり、かつ、日平均値が0.04ppm以下であること。

資料：「平成29年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成30年3月、埼玉県環境部大気環境課）

表 5.2-9 二酸化硫黄の年平均値の経年変化（平成 25 年度～平成 29 年度）

単位：ppm

図中番号	測定局名	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①	寄居	0.001	0.001	0.001未満	0.001	0.001

資料：「平成29年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成30年3月、埼玉県環境部大気環境課）

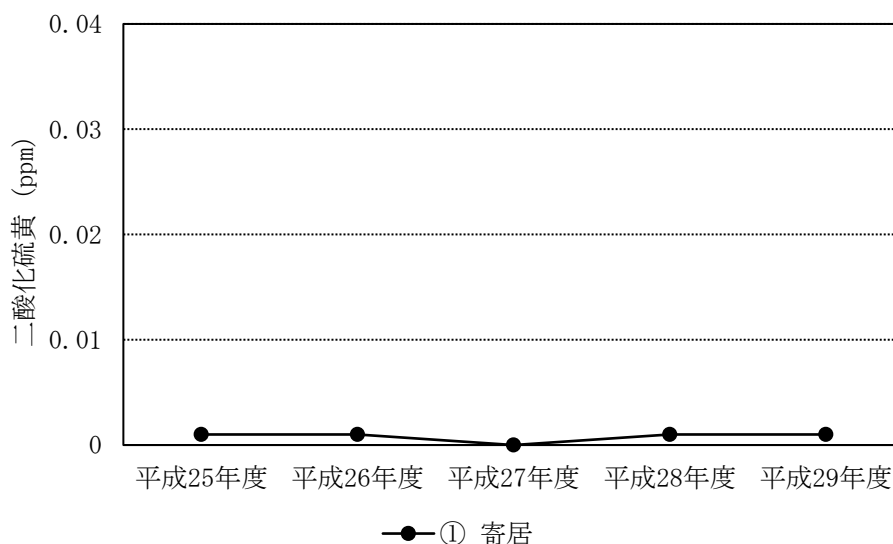


図 5.2-8 二酸化硫黄の年平均値の経年変化（平成 25 年度～平成 29 年度）

#### 4) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

二酸化窒素の測定結果（平成 29 年度）は表 5.2-10 に示すとおり、すべての測定局で環境基準を達成している。

また、すべての測定局における二酸化窒素の年平均値の経年変化（平成 25 年度～平成 29 年度）は表 5.2-11 及び図 5.2-9 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 5.2-10 二酸化窒素測定結果（平成 29 年度）

図中 番号	測定 局名	有効測 定日数	測定 時間	年平均値	1時間 値の最 高値	日平均値が0.06ppmを 超えた日数とその割合		日平均値が0.04ppm以 上0.06ppm以下の日数 とその割合		日平均値の 年間98%値	98%値評価による日平 均値が0.06ppmを 超えた日数	環境基準
		(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(日)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(日)	(達成○・非達成×)
①	寄居	356	8,472	0.005	0.041	0	0	0	0	0.011	0	○
②	小川	364	8,641	0.007	0.041	0	0	0	0	0.016	0	○
③	寄居桜沢	364	8,639	0.011	0.053	0	0	0	0	0.020	0	○

注) 環境基準達成状況 ○：環境基準達成、×：環境基準非達成

環境基準は、1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下であること。

資料：「平成29年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成30年3月、埼玉県環境部大気環境課）

表 5.2-11 二酸化窒素の年平均値の経年変化（平成 25 年度～平成 29 年度）

単位：ppm

図中番号	測定局名	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①	寄居	0.007	0.007	0.006	0.006	0.005
②	小川	0.008	0.008	0.008	0.007	0.007
③	寄居桜沢	0.014	0.013	0.012	0.012	0.011

資料：「平成29年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成30年3月、埼玉県環境部大気環境課）

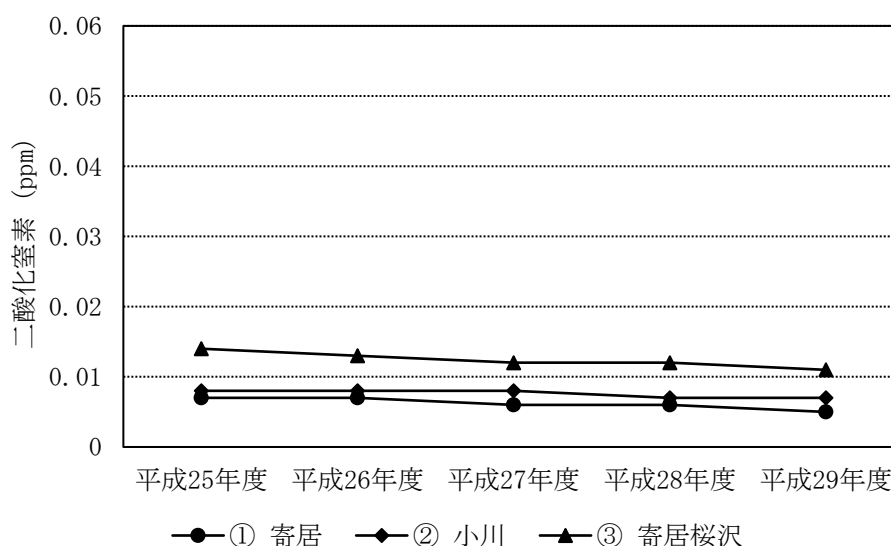


図 5.2-9 二酸化窒素の年平均値の経年変化（平成 25 年度～平成 29 年度）

### り) 光化学オキシダント (O<sub>x</sub>)

光化学オキシダントの測定結果(平成29年度)は表5.2-12に示すとおり、すべての測定局で環境基準を達成していない。

また、すべての測定局における光化学オキシダントの年平均値の経年変化(平成25年度～平成29年度)は表5.2-13及び図5.2-10に示すとおり、横ばい傾向にある。

表 5.2-12 光化学オキシダントの測定結果(平成29年度)

図中番号	測定局名	昼間の測定日数	昼間の測定時間	昼間の1時間値の年平均値	昼間の1時間値の最高値	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数		昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数と時間数		環境基準 (達成○・非達成×)
		(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(日)	(時間)	(日)	(時間)	
①	寄居	363	5,374	0.037	0.146	114	573	6	11	×
②	小川	365	5,432	0.035	0.149	115	640	5	10	×

注) 環境基準達成状況 ○：環境基準達成、×：環境基準非達成

環境基準は、1時間値が0.06ppm以下であること。

資料：「平成29年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」(平成30年3月、埼玉県環境部大気環境課)

表 5.2-13 光化学オキシダントの年平均値の経年変化(平成25年度～平成29年度)

単位：ppm

図中番号	測定局名	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①	寄居	0.037	0.037	0.035	0.035	0.037
②	小川	0.037	0.037	0.034	0.034	0.035

資料：「平成29年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」(平成30年3月、埼玉県環境部大気環境課)

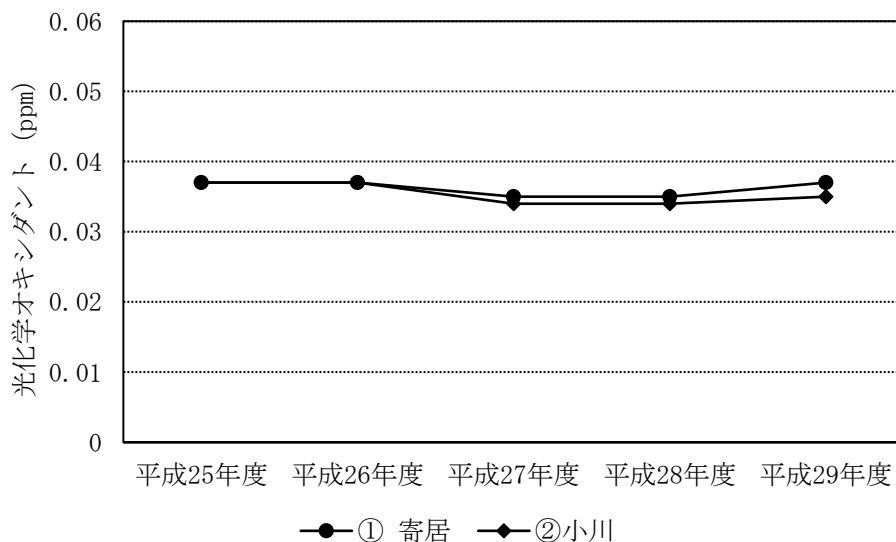


図 5.2-10 光化学オキシダントの年平均値の経年変化(平成25年度～平成29年度)

## 1) 浮遊粒子状物質 (SPM)

浮遊粒子状物質の測定結果（平成 29 年度）は表 5.2-14 に示すとおり、すべての測定局で環境基準を達成している。

また、すべての測定局における浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化（平成 25 年度～平成 29 年度）は表 5.2-15 及び図 5.2-11 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 5.2-14 浮遊粒子状物質の測定結果（平成 29 年度）

図中 番号	測定 局名	有効測定 日数	測定時間 数	年平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数とそ の割合		日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数 とその割合		1時間値の最 高値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	日平均値の 2%除外値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を 超えた日が2日以上連続 したことの有無 (有・無)	環境基準の長期的評価に よる日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数 (日)	環境基準	
		(日)	(時間)		(時間)	(%)	(日)	(%)					長期的 評価 (達成○・非達成×)	短期的 評価 (達成○・非達成×)
①	寄居	363	8,680	0.015	0	0	0	0	0.174	0.033	無	0	○	○
②	小川	351	8,418	0.014	0	0	0	0	0.059	0.032	無	0	○	○
③	寄居桜沢	363	8,682	0.015	0	0	0	0	0.088	0.033	無	0	○	○

注) 環境基準達成状況 ○：環境基準達成、×：環境基準非達成

長期的評価：日平均値の2%除外値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日が2日以上連続しないこと。

短期的評価：1時間平均値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であること。

資料：「平成29年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成30年3月、埼玉県環境部大気環境課）

表 5.2-15 浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化（平成 25 年度～平成 29 年度）

単位： $\text{mg}/\text{m}^3$

図中番号	測定局名	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①	寄居	0.019	0.019	0.018	0.016	0.015
②	小川	0.021	0.020	0.017	0.014	0.014
③	寄居桜沢	0.021	0.021	0.020	0.017	0.015

資料：「平成29年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成30年3月、埼玉県環境部大気環境課）

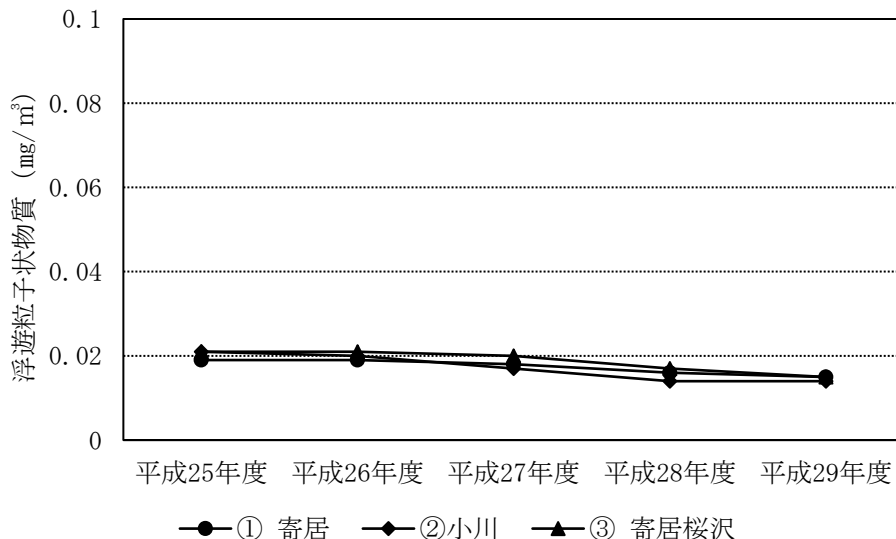


図 5.2-11 浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化（平成 25 年度～平成 29 年度）

カ) 微小粒子状物質 (PM2.5)

微小粒子状物質の測定結果 (平成 29 年度) は表 5.2-16 に示すとおり、すべての測定局で環境基準の長期的評価及び短期的評価を達成している。

また、すべての測定局における微小粒子状物質の年平均値の経年変化 (平成 25 年度～平成 29 年度) は表 5.2-17 及び図 5.2-12 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 5.2-16 微小粒子状物質の測定結果 (平成 29 年度)

図中 番号	測定 局名	有効測 定日数	日平均値の 年平均値	日平均値の年 間98%値	日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数		環境基準	
							長期的 評価	短期的 評価
							(達成○・非達成×)	
		(日)	( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	(日)	(%)		
①	寄居	359	10.6	24.7	0	0	○	○
②	小川	363	10.8	25.6	0	0	○	○
③	寄居桜沢	53	12.8	29.1	0	0	○	○

注) 環境基準達成状況 ○: 環境基準達成、×: 環境基準非達成

長期的評価: 1年平均値が15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

短期的評価: 1日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

資料: 「平成29年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」(平成30年3月、埼玉県環境部大気環境課)

表 5.2-17 微小粒子状物質の年平均値の経年変化 (平成 25 年度～平成 29 年度)

単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$

図中番号	測定局名	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①	寄居	13.6	13.0	11.7	10.4	10.6
②	小川	-	13.4	12.8	11.3	10.8
③	寄居桜沢	-	-	-	-	12.8

資料: 「平成29年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」(平成30年3月、埼玉県環境部大気環境課)

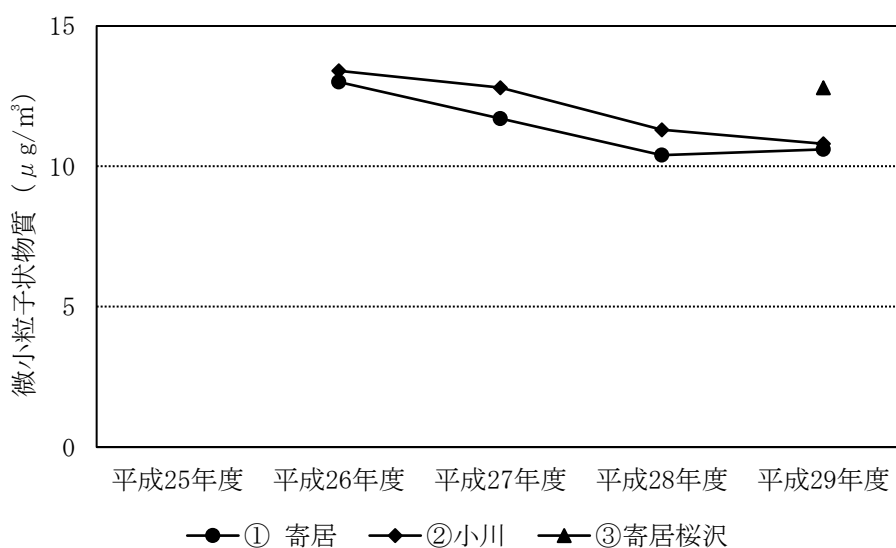


図 5.2-12 微小粒子状物質の年平均値の経年変化 (平成 25 年度～平成 29 年度)

か) 非メタン炭化水素

非メタン炭化水素の測定結果（平成 29 年度）は表 5.2-18 に示すとおり、すべての測定局で環境基準を達成している。

また、すべての測定局における非メタン炭化水素の年平均値の経年変化（平成 25 年度～平成 29 年度）は表 5.2-19 及び図 5.2-13 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 5.2-18 非メタン炭化水素の測定結果（平成 29 年度）

図中 番号	測定 局名	年平均値	6～9時の測定日数	6～9時における 年平均値	6～9時の3時間平均値が 0.20ppmCを超えた日数	6～9時の3時間平均値が 0.31ppmCを超えた日数	指針  (達成○・非達成×)
		(ppmC)	(日)	(ppmC)	(日)	(日)	
①	寄居	0.06	313	0.05	0	0	○
③	寄居桜沢	0.09	347	0.08	3	1	×

注) 指針達成状況 ○：達成、×：非達成

指針は、光化学オキシダントの日最高1時間値の0.06ppmに対応する午前6時から9時までの非メタン炭化水素の3時間平均値は、0.20ppmCから0.31ppmCの範囲にあること。

資料：「平成29年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成30年3月、埼玉県環境部大気環境課）

表 5.2-19 非メタン炭化水素の6～9時における年平均値の経年変化  
(平成 25 年度～平成 29 年度)

単位：ppmC

図中番号	測定局名	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①	寄居	0.07	0.01	0.03	0.03	0.05
③	寄居桜沢	0.06	0.05	0.05	0.06	0.08

資料：「平成29年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（平成30年3月、埼玉県環境部大気環境課）

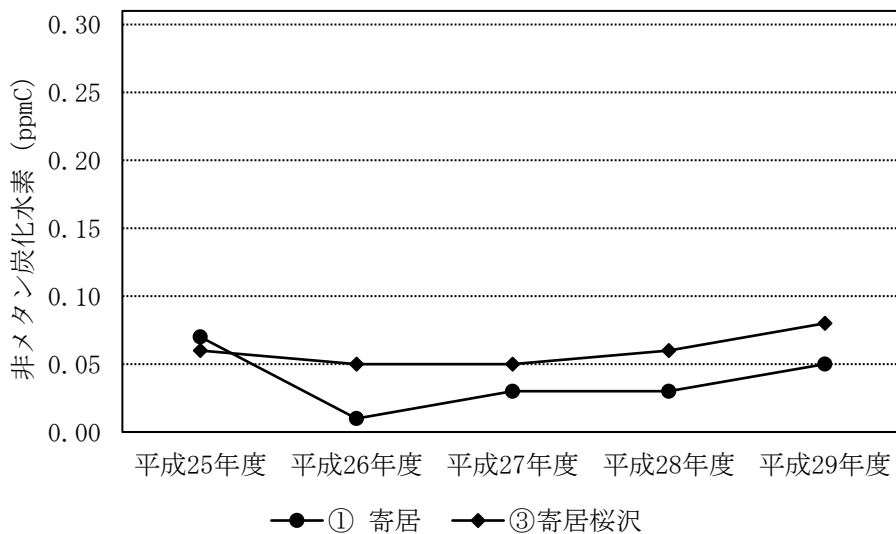


図 5.2-13 非メタン炭化水素の6～9時における年平均値の経年変化  
(平成 25 年度～平成 29 年度)

キ) ダイオキシン類 (Dxns)

ダイオキシン類の測定結果 (平成 29 年度) は表 5.2-20 に示すとおり、小川測定局における年平均値は 0.018pg-TEQ/m<sup>3</sup> であり、環境基準を達成している。

また、小川測定局におけるダイオキシン類の年平均値の経年変化 (平成 25 年度～平成 29 年度) は表 5.2-21 及び図 5.2-14 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 5.2-20 ダイオキシン類の測定結果 (平成 29 年度)

調査地点		調査結果 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )			環境基準 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )
図中番号	測定局名	夏季	冬季	年平均値	
②	小川	0.0079	0.029	0.018	0.6 以下

資料：「平成29年度 ダイオキシン類大気常時監視結果について」(平成30年8月、埼玉県環境部大気環境課)

表 5.2-21 ダイオキシン類の年平均値の経年変化 (平成 25 年度～平成 29 年度)

単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>

図中番号	測定局名	平成 25 年	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
②	小川	0.019	0.018	0.026	0.013	0.018

資料：「ダイオキシン類大気常時監視結果について (平成25年度～平成29年度)」(埼玉県環境部大気環境課)

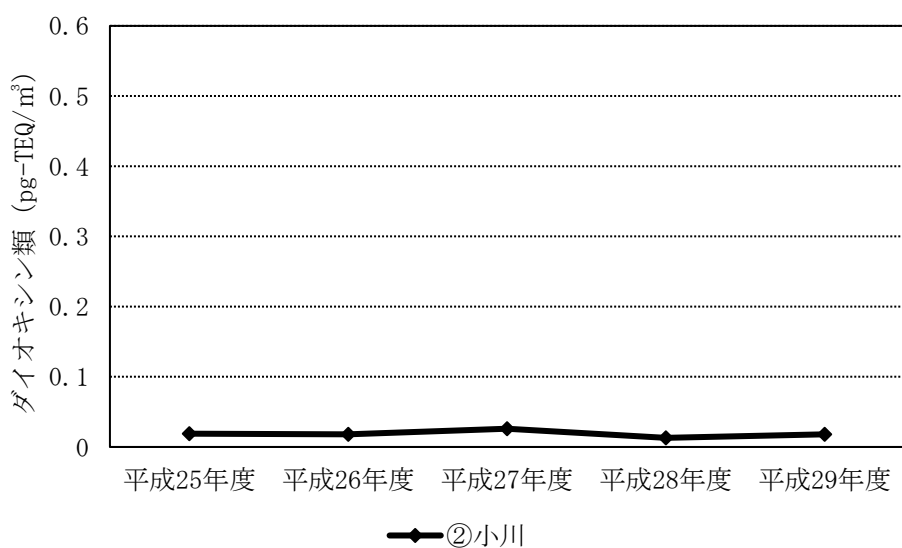


図 5.2-14 ダイオキシン類の年平均値の経年変化 (平成 25 年度～平成 29 年度)



(イ) 埼玉県環境整備センター周辺における大気質の状況

埼玉県は、彩の国資源循環工場運営協定に基づき、埼玉県環境整備センター周辺の7地点で大気質の測定を実施している。埼玉県環境整備センター周辺の7地点は表5.2-22及び図5.2-15に示すとおりである。

測定項目・方法等は表5.2-23に、過去5年間の測定期間は表5.2-24に示すとおりである。

表 5.2-22 大気質の測定場所・住所

図中番号	測定場所	住所
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	寄居町大字三ヶ山 130-3 番地先
No.2	蔵田地区内	寄居町大字富田 4053 番地先
No.3	天神社前	寄居町大字富田 3697 番地先
No.4	深田地区内	小川町大字木呂子 184 番地先
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	小川町大字木呂子 561 番地先
No.6	五之坪集落農業センター	寄居町大字西ノ入 2872 番地先
No.7	平倉住宅脇	寄居町大字西ノ入 452-1 番地先

注) 図中番号は、図5.2-15の番号と対応する。

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 5.2-23 測定項目・方法等

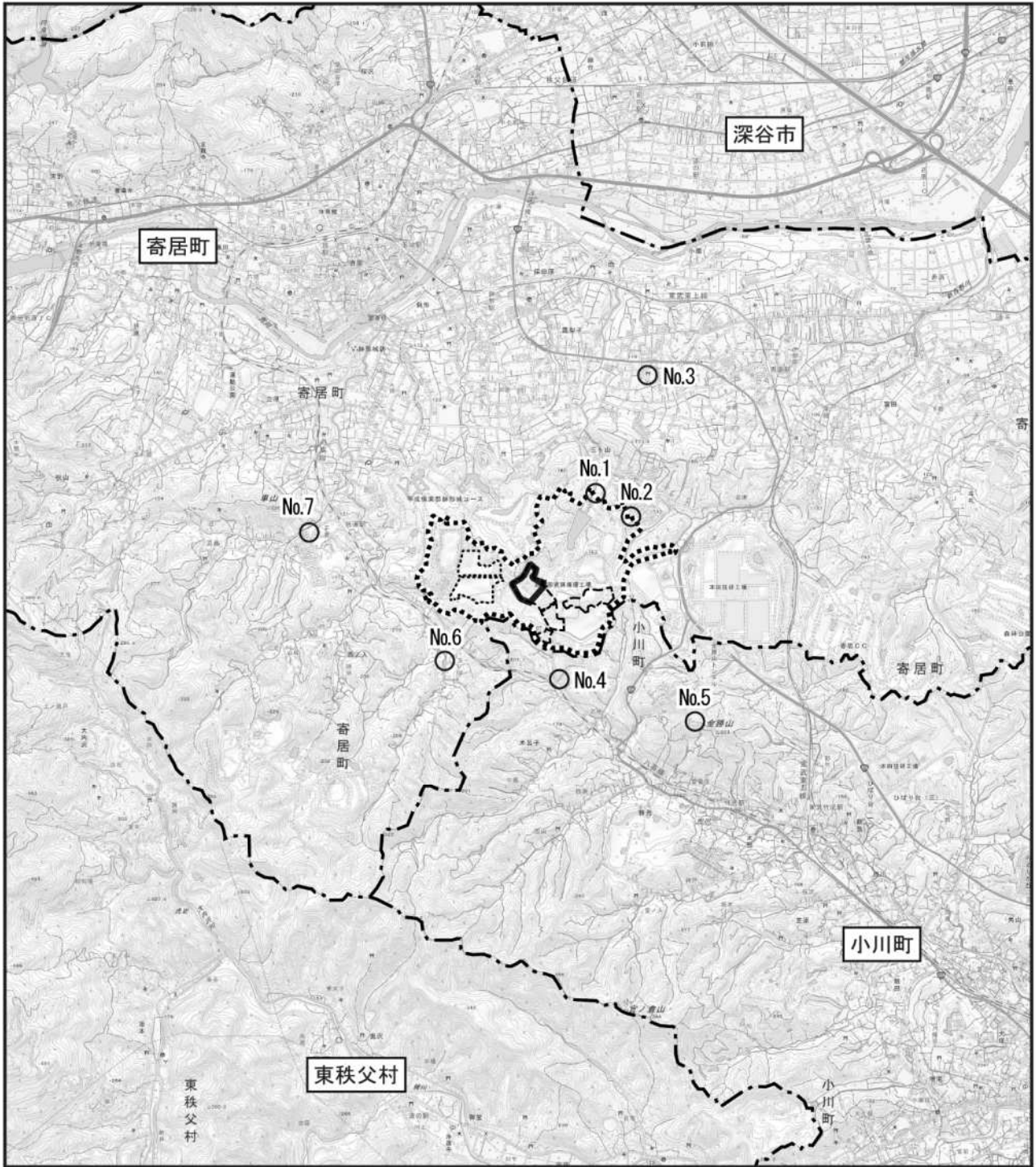
項目	測定方法	測定回数
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	環境基本法に定める方法 (ダイオキシン類についてはダイオキシン類対策特別措置法に定める方法、水銀については大気汚染防止法に定める方法。)	四季に合わせて年4回、各7日間 (春季、夏季、秋季、冬季)
一酸化炭素 (CO)		
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )		
浮遊粒子状物質 (SPM)		
ダイオキシン類 (Dxns)		
水銀	年1回以上	

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 5.2-24 過去5年間の測定期間

年度	測定期間	
	水銀以外	水銀
平成26年度	春季：平成26年5月14日(水)～5月21日(水) 夏季：平成26年7月17日(木)～7月24日(木) 秋季：平成26年10月15日(水)～10月22日(水) 冬季：平成27年1月8日(木)～1月15日(木)	平成26年7月15日(火)～7月17日(木)
平成27年度	春季：平成27年5月21日(木)～5月28日(木) 夏季：平成27年7月15日(水)～7月21日(火) 秋季：平成27年10月14日(水)～10月21日(水) 冬季：平成28年1月7日(木)～1月14日(木)	平成27年7月15日(水)～7月17日(金)
平成28年度	春季：平成28年5月19日(木)～5月26日(木) 夏季：平成28年8月22日(月)～8月29日(月) 秋季：平成28年10月13日(木)～10月21日(木) 冬季：平成29年1月12日(木)～1月19日(木)	平成28年8月24日(水)～8月26日(金)
平成29年度	春季：平成29年5月18日(木)～5月25日(木) 夏季：平成29年7月13日(木)～7月20日(木) 秋季：平成29年10月12日(木)～10月19日(木) 冬季：平成30年1月11日(木)～1月18日(木)	平成29年7月12日(水)、18日(火)～19日(水)
平成30年度	春季：平成30年5月29日(火)～6月4日(月) 夏季：平成30年7月27日(金)～8月3日(金) 秋季：平成30年10月11日(木)～10月18日(木) 冬季：平成31年1月10日(木)～1月17日(木)	平成30年7月30日(月)～8月1日(水)

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）



この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。

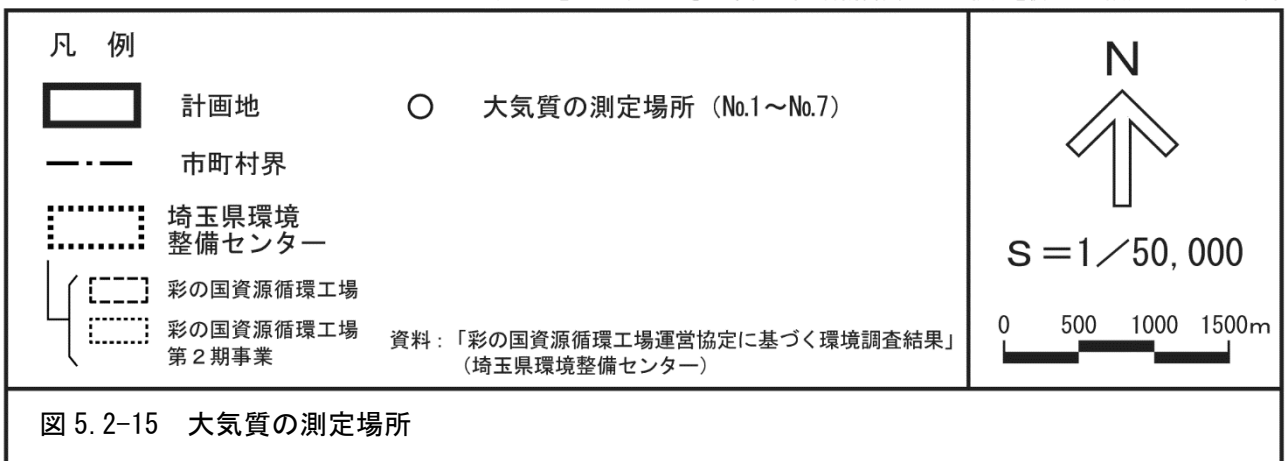


図 5.2-15 大気質の測定場所

## 7) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

二酸化硫黄の測定結果は、表 5.2-25(1)～(2)に示すとおり、すべての地点で環境基準値を下回っている。また、二酸化硫黄の1時間値の1日平均値の期間最大値(四季最大値)の経年変化は表 5.2-26 及び図 5.2-16 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 5.2-25(1) 二酸化硫黄の調査結果 (1時間値の1日平均値の期間最大値：平成30年度)

調査地点	1時間値の1日平均値の期間最大値					環境基準値
	春季	夏季	秋季	冬季	四季最大	
No.1 オリエンタル火工(株)所有地前	0.003	0.000	0.000	0.000	0.003	0.04
No.2 蔵田地区内	0.003	0.000	0.000	0.000	0.003	
No.3 天神社前	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
No.4 深田地区内	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	
No.5 埼玉県立小川げんきプラザ内	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	
No.6 五之坪集落農業センター	0.002	0.001	0.000	0.001	0.002	
No.7 平倉住宅脇	0.002	0.000	0.000	0.000	0.002	

資料：「平成30年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査(埼玉県による測定・検査)の結果」(埼玉県環境整備センターホームページ)

表 5.2-25(2) 二酸化硫黄の調査結果 (1時間値の期間最大値：平成30年度)

調査地点	1時間値の期間最大値					環境基準値
	春季	夏季	秋季	冬季	四季最大	
No.1 オリエンタル火工(株)所有地前	0.005	0.002	0.000	0.002	0.005	0.1
No.2 蔵田地区内	0.004	0.000	0.000	0.000	0.004	
No.3 天神社前	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	
No.4 深田地区内	0.001	0.000	0.000	0.004	0.004	
No.5 埼玉県立小川げんきプラザ内	0.006	0.000	0.001	0.002	0.006	
No.6 五之坪集落農業センター	0.003	0.002	0.000	0.002	0.003	
No.7 平倉住宅脇	0.004	0.001	0.001	0.001	0.004	

資料：「平成30年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査(埼玉県による測定・検査)の結果」(埼玉県環境整備センターホームページ)

表 5.2-26 二酸化硫黄の(四季最大値)の経年変化(平成26年度～平成30年度)

調査地点	1時間値の1日平均値の期間最大値(四季最大値)				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
No.1 オリエンタル火工(株)所有地前	0.001	0.001	0.003	0.003	0.003
No.2 蔵田地区内	0.001	0.001	0.003	0.002	0.003
No.3 天神社前	0.001	0.001	0.003	0.005	0.000
No.4 深田地区内	<0.001	0.001	0.002	0.002	0.001
No.5 埼玉県立小川げんきプラザ内	0.005	0.001	0.003	0.002	0.001
No.6 五之坪集落農業センター	0.001	0.001	0.003	0.003	0.002
No.7 平倉住宅脇	0.001	0.001	0.003	0.001	0.002

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査(埼玉県による測定・検査の内容)」(埼玉県環境整備センターホームページ)

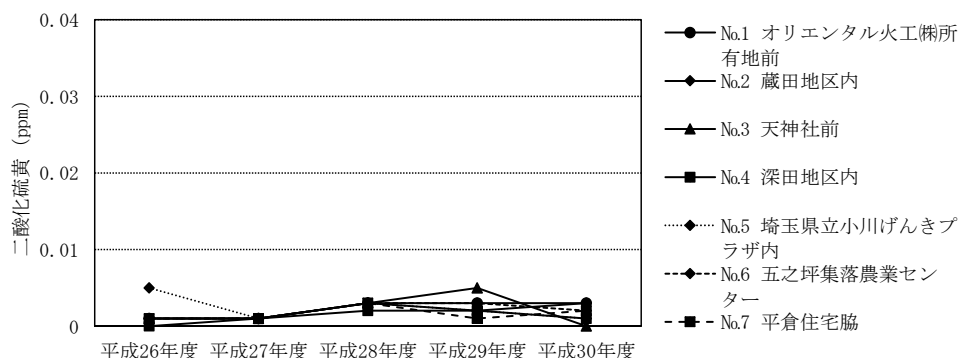


図 5.2-16 二酸化硫黄(四季最大値)の経年変化(平成26年度～平成30年度)

#### 4) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

二酸化窒素の測定結果は、表 5.2-27 に示すとおり、すべての地点で環境基準値を下回っている。また、二酸化窒素の1時間値の1日平均値の期間最大値(四季最大値)の経年変化は表 5.2-28 及び図 5.2-17 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 5.2-27 二酸化窒素の調査結果 (1時間値の1日平均値の期間最大値：平成30年度)

調査地点	1時間値の1日平均値の期間最大値					環境基準値
	春季	夏季	秋季	冬季	四季最大	
No.1 オリエンタル火工(株)所有地前	0.008	0.006	0.008	0.010	0.010	0.06
No.2 蔵田地区内	0.007	0.006	0.006	0.011	0.011	
No.3 天神社前	0.008	0.006	0.008	0.011	0.011	
No.4 深田地区内	0.008	0.007	0.007	0.010	0.010	
No.5 埼玉県立小川げんきプラザ内	0.010	0.007	0.010	0.007	0.010	
No.6 五之坪集落農業センター	0.005	0.006	0.006	0.008	0.008	
No.7 平倉住宅脇	0.006	0.005	0.006	0.009	0.009	

資料：「平成30年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査(埼玉県による測定・検査)の結果」(埼玉県環境整備センターホームページ)

表 5.2-28 二酸化窒素の(四季最大値)の経年変化(平成26年度～平成30年度)

調査地点	1時間値の1日平均値の期間最大値(四季最大値)				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
No.1 オリエンタル火工(株)所有地前	0.014	0.019	0.018	0.014	0.010
No.2 蔵田地区内	0.015	0.023	0.012	0.014	0.011
No.3 天神社前	0.015	0.021	0.013	0.015	0.011
No.4 深田地区内	0.012	0.018	0.009	0.012	0.010
No.5 埼玉県立小川げんきプラザ内	0.013	0.021	0.010	0.009	0.010
No.6 五之坪集落農業センター	0.009	0.016	0.006	0.010	0.008
No.7 平倉住宅脇	0.010	0.016	0.008	0.011	0.009

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査(埼玉県による測定・検査の内容)」(埼玉県環境整備センターホームページ)

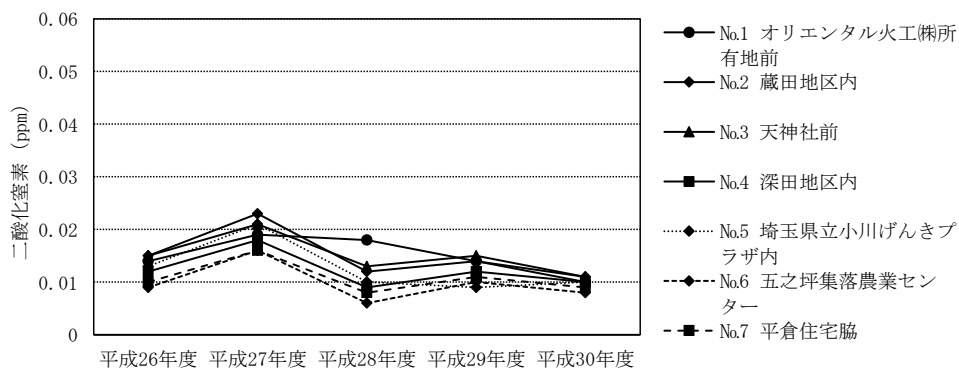


図 5.2-17 二酸化窒素(四季最大値)の経年変化(平成26年度～平成30年度)

り) 一酸化炭素 (CO)

一酸化炭素の測定結果は、表 5.2-29(1)～(2)に示すとおり、すべての地点で環境基準値を下回っている。また、一酸化炭素の1時間値の1日平均値の期間最大値(四季最大値)の経年変化は表 5.2-30 及び図 5.2-18 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 5.2-29(1) 一酸化炭素の調査結果 (1時間値の1日平均値の期間最大値：平成30年度)

調査地点		1時間値の1日平均値の期間最大値					環境基準値
		春季	夏季	秋季	冬季	四季最大	
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.3	0.2	0.3	0.4	0.4	10
No.2	蔵田地区内	0.3	0.2	0.2	0.4	0.4	
No.3	天神社前	0.3	0.2	0.3	0.4	0.4	
No.4	深田地区内	0.3	0.2	0.2	0.4	0.4	
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.3	0.2	0.2	0.4	0.4	
No.6	五之坪集落農業センター	0.3	0.2	0.3	0.4	0.4	
No.7	平倉住宅脇	0.3	0.2	0.3	0.4	0.4	

資料：「平成30年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査(埼玉県による測定・検査)の結果」(埼玉県環境整備センターホームページ)

表 5.2-29(2) 一酸化炭素の調査結果 (1時間値の8時間平均値の期間最大値：平成30年度)

調査地点		1時間値の8時間平均値の期間最大値					環境基準値
		春季	夏季	秋季	冬季	四季最大	
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	20
No.2	蔵田地区内	0.3	0.2	0.3	0.5	0.5	
No.3	天神社前	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	
No.4	深田地区内	0.3	0.3	0.2	0.5	0.5	
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	
No.6	五之坪集落農業センター	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	
No.7	平倉住宅脇	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	

資料：「平成30年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査(埼玉県による測定・検査)の結果」(埼玉県環境整備センターホームページ)

表 5.2-30 一酸化炭素の(四季最大値)の経年変化(平成26年度～平成30年度)

調査地点		1時間値の1日平均値の期間最大値(四季最大値)				
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4
No.2	蔵田地区内	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4
No.3	天神社前	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4
No.4	深田地区内	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4
No.6	五之坪集落農業センター	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4
No.7	平倉住宅脇	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査(埼玉県による測定・検査の内容)」(埼玉県環境整備センターホームページ)

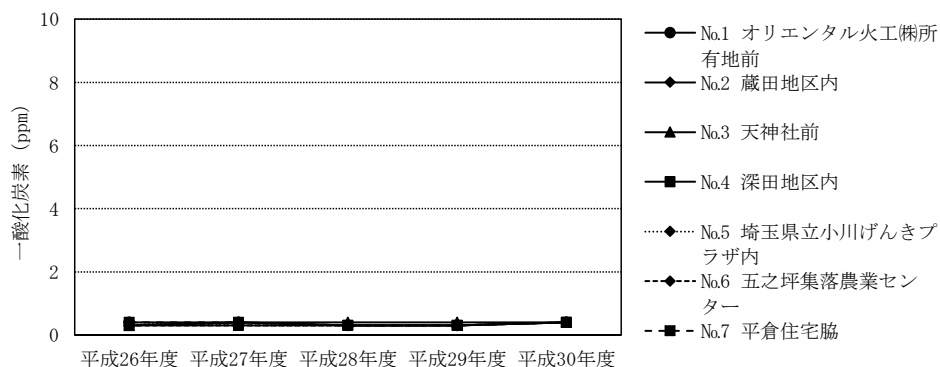


図 5.2-18 一酸化炭素の(四季最大値)の経年変化(平成26年度～平成30年度)

### 1) 浮遊粒子状物質 (SPM)

浮遊粒子状物質の測定結果は、表 5.2-31(1)～(2)に示すとおり、すべての地点で環境基準値を下回っている。また、浮遊粒子状物質の1時間値の1日平均値の期間最大値(四季最大値)の経年変化は、表 5.2-32 及び図 5.2-19 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 5.2-31(1) 浮遊粒子状物質の調査結果 (1時間値の1日平均値の期間最大値：平成30年度)

調査地点		1時間値の1日平均値の期間最大値					環境基準値
		春季	夏季	秋季	冬季	四季最大	
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.035	0.029	0.019	0.017	0.035	0.10
No.2	蔵田地区内	0.032	0.034	0.020	0.016	0.034	
No.3	天神社前	0.035	0.032	0.020	0.016	0.035	
No.4	深田地区内	0.024	0.028	0.017	0.015	0.028	
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.033	0.030	0.022	0.021	0.033	
No.6	五之坪集落農業センター	0.021	0.035	0.017	0.017	0.035	
No.7	平倉住宅脇	0.032	0.028	0.018	0.016	0.032	

資料：「平成30年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査(埼玉県による測定・検査)の結果」(埼玉県環境整備センターホームページ)

表 5.2-31(2) 浮遊粒子状物質の調査結果 (1時間値の期間最大値：平成30年度)

調査地点		1時間値の期間最大値					環境基準値
		春季	夏季	秋季	冬季	四季最大	
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.058	0.046	0.037	0.037	0.058	0.20
No.2	蔵田地区内	0.047	0.063	0.040	0.032	0.063	
No.3	天神社前	0.050	0.049	0.040	0.033	0.050	
No.4	深田地区内	0.041	0.040	0.033	0.029	0.041	
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.058	0.051	0.091	0.041	0.091	
No.6	五之坪集落農業センター	0.034	0.055	0.035	0.044	0.055	
No.7	平倉住宅脇	0.058	0.043	0.033	0.029	0.058	

資料：「平成30年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査(埼玉県による測定・検査)の結果」(埼玉県環境整備センターホームページ)

表 5.2-32 浮遊粒子状物質の(四季最大値)の経年変化(平成26年度～平成30年度)

調査地点		1時間値の1日平均値の期間最大値(四季最大値)				
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.039	0.027	0.040	0.034	0.035
No.2	蔵田地区内	0.048	0.031	0.042	0.030	0.034
No.3	天神社前	0.043	0.038	0.039	0.033	0.035
No.4	深田地区内	0.045	0.033	0.043	0.031	0.028
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.050	0.033	0.039	0.030	0.033
No.6	五之坪集落農業センター	0.049	0.030	0.042	0.029	0.035
No.7	平倉住宅脇	0.040	0.033	0.039	0.042	0.032

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査(埼玉県による測定・検査の内容)」(埼玉県環境整備センターホームページ)

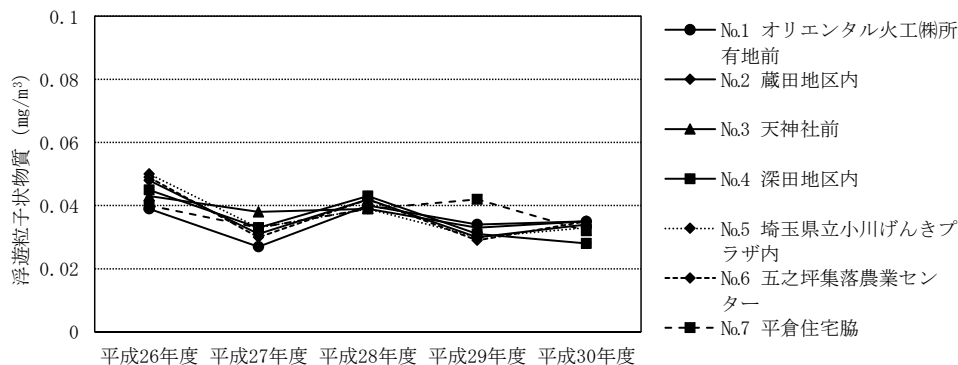


図 5.2-19 浮遊粒子状物質の(四季最大値)の経年変化(平成26年度～平成30年度)

ホ) ダイオキシン類 (Dxns)

ダイオキシン類の測定結果は、表 5.2-33 に示すとおり、すべての地点で環境基準値を下回っている。また、ダイオキシン類の四季最大値の経年変化は、表 5.2-34 及び図 5.2-20 に示すとおり、概ね横ばい傾向にある。

表 5.2-33 ダイオキシン類の調査結果 (平成 30 年度)

調査地点		春季	夏季	秋季	冬季	四季最大	環境基準値
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.0069	0.0071	0.0097	0.0180	0.0180	0.6
No.2	蔵田地区内	0.0072	0.0050	0.0073	0.0180	0.0180	
No.3	天神社前	0.0080	0.0078	0.1200	0.0290	0.1200	
No.4	深田地区内	0.0057	0.0074	0.0059	0.0130	0.0130	
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.0080	0.0089	0.0084	0.0160	0.0160	
No.6	五之坪集落農業センター	0.0062	0.0073	0.0039	0.0140	0.0140	
No.7	平倉住宅脇	0.0040	0.0071	0.0066	0.0140	0.0140	

資料：「平成30年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査）の結果」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 5.2-34 ダイオキシン類の四季最大値の経年変化 (平成 26 年度～平成 30 年度)

調査地点		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.0160	0.0310	0.0180	0.0085	0.0180
No.2	蔵田地区内	0.0210	0.0340	0.0130	0.0220	0.0180
No.3	天神社前	0.0140	0.0270	0.0150	0.0300	0.1200
No.4	深田地区内	0.0097	0.0230	0.0120	0.0210	0.0130
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内	0.0180	0.0360	0.0170	0.0240	0.0160
No.6	五之坪集落農業センター	0.0130	0.0210	0.0120	0.0170	0.0140
No.7	平倉住宅脇	0.0100	0.0150	0.0150	0.0190	0.0140

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

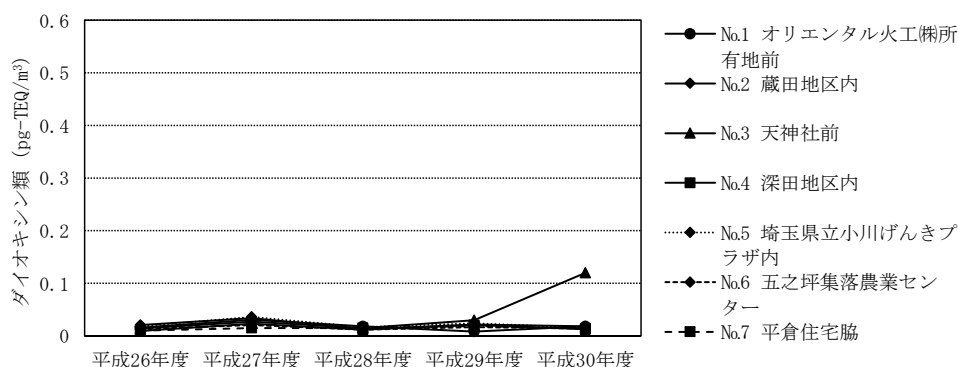


図 5.2-20 ダイオキシン類の四季最大値の経年変化 (平成 26 年度～平成 30 年度)

## か) 水 銀

水銀の過去5年間の経年変化は、表 5.2-35 及び図 5.2-21 に示すとおり、すべての地点で環境基準値を下回っている。また、水銀の過去5年間の経年変化は、概ね横ばい傾向にある。

表 5.2-35 水銀の過去5年間の経年変化（平成26年度～平成30年度）

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$

調査地点		比較基準	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	0.04	0.0026	0.0018	0.0021	0.0021	0.0017
No.2	蔵田地区内		0.0029	0.0022	0.0020	0.0030	0.0016
No.3	天神社前		0.0029	0.0017	0.0018	0.0027	0.0016
No.4	深田地区内		0.0037	0.0019	0.0020	0.0014	0.0021
No.5	埼玉県立小川げんきプラザ内		0.0025	0.0020	0.0020	0.0024	0.0022
No.6	五之坪集落農業センター		0.0029	0.0018	0.0018	0.0023	0.0022
No.7	平倉住宅脇		0.0022	0.0019	0.0018	0.0022	0.0020

注) 比較基準は、国が定めた環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値（指針数）である。

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

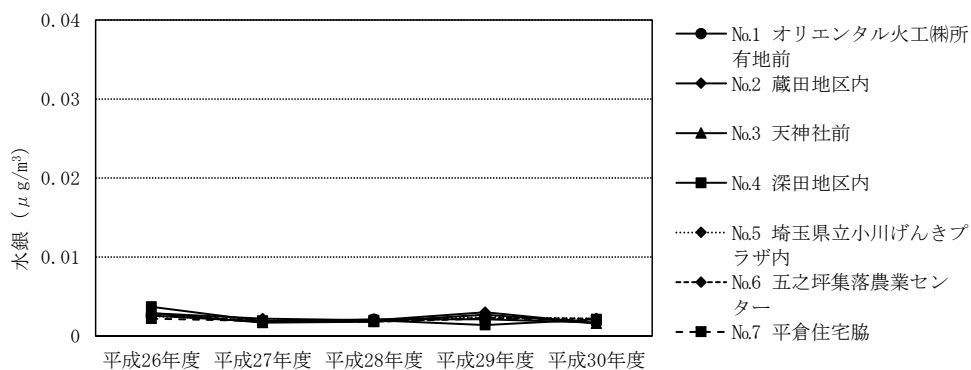


図 5.2-21 水銀の過去5年間の経年変化（平成26年度～平成30年度）



## ② 苦情の状況

平成 27 年度から令和元年度の 5 年間に於ける関係市町村の苦情件数は、表 5.2-36 に示すとおりである。

令和元年度に於ける計画地のある寄居町に於いて、大気汚染に於ける公害苦情は 11 件であり、総件数（34 件）の約 32%を占めて居る。

表 5.2-36 公害苦情件数（令和元年度）

単位：件

市町村名	年度	典型七公害							その他	合計
		大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭		
寄居町	R 1	11	8	0	7	0	0	8	0	34
	H30	15	3	0	9	0	0	6	0	33
	H29	10	3	0	8	0	0	4	0	25
	H28	5	1	0	3	1	0	4	0	14
	H27	6	0	0	2	0	0	6	0	14
小川町	R 1	6	1	0	0	0	0	0	18	25
	H30	10	0	0	0	0	0	1	30	41
	H29	16	3	0	2	0	0	1	19	41
	H28	12	13	0	6	0	0	0	0	31
	H27	7	8	0	0	0	0	2	0	17
深谷市	R 1	14	1	0	4	0	0	1	33	53
	H30	13	2	0	5	0	0	2	35	57
	H29	26	3	0	1	0	0	1	24	55
	H28	31	3	0	6	0	0	3	26	69
	H27	42	12	0	5	0	0	9	17	85
東秩父村	R 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	H30	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	H29	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	H28	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	H27	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料：「深谷市の環境」（深谷市ホームページ）  
 寄居町生活環境エコタウン課ヒアリング  
 小川町環境農林課ヒアリング  
 深谷市環境課ヒアリング  
 東秩父村保健衛生課ヒアリング

### 3) 騒音

#### ① 騒音の状況

##### (ア) 自動車交通騒音実態調査における騒音の状況

計画地及びその周辺における平成30年度の自動車交通騒音の調査結果は表5.2-37に、調査地点は図5.2-22に示すとおりである。

自動車交通騒音は、7地点のうち、5地点で環境基準を超過していた。

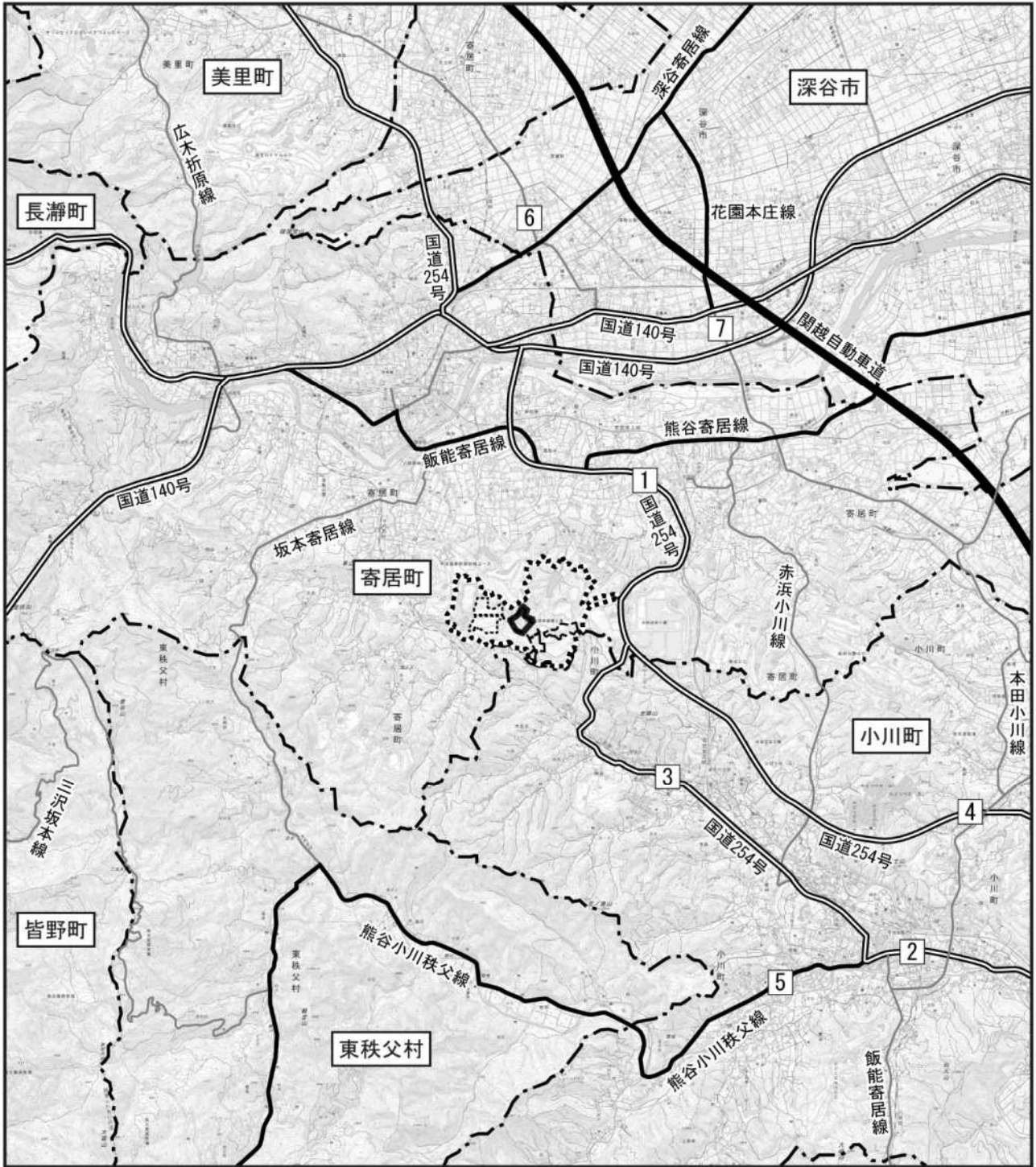
表5.2-37 自動車交通騒音の調査結果（平成30年度）

図中番号	路線名	測定地点の住所	環境基準 類型	車線数 合計	等価騒音レベル (dB)				環境基準 適合 状況
					昼間	環境 基準 達成	夜間	環境 基準 達成	
1	一般国道254号	寄居町富田2914	B	2	71	× (70)	69	× (65)	×
2	一般国道254号	小川町小川344	B	2	66	○ (70)	60	○ (65)	○
3	一般国道254号	小川町勝呂799	B	2	70	○ (70)	67	× (65)	×
4	一般国道254号	小川町上横田966	B	2	69	○ (70)	66	× (65)	×
5	県道熊谷小川秩父線	小川町腰越43	C	2	66	○ (70)	61	○ (65)	○
6	県道小前田児玉線	深谷市武蔵野	B	2	70	○ (70)	67	× (65)	×
7	県道菅谷寄居線	深谷市荒川	B	2	70	○ (70)	68	× (65)	×

注1) 図中番号は、図5.2-22の番号と対応する。

注2) 環境基準達成欄の( )内の数値は当該地点における環境基準値を示す。

資料：「平成30年度 自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」（令和2年4月、埼玉県環境部水環境課）



この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。

<p>凡例</p> <p> 計画地</p> <p> 市町村界</p> <p> 埼玉県環境整備センター</p> <p> 彩の国資源循環工場</p> <p> 彩の国資源循環工場 第2期事業</p>		<p>① ~ ⑦ 自動車交通騒音調査地点</p> <p> 高速自動車国道</p> <p> 一般国道</p> <p> 主要地方道</p> <p> 一般県道</p>		<p>N</p> <p></p> <p>S = 1 / 75,000</p> <p>0 750 1500 2250m</p>
<p>資料：「平成30年度 自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」（令和2年4月、埼玉県環境部水環境課）</p>				

図 5.2-22 自動車交通騒音調査地点

## (イ) 埼玉県環境整備センター周辺における騒音の状況

埼玉県は、彩の国資源循環工場運営協定に基づき、表 5.2-38 及び図 5.2-23 に示す埼玉県環境整備センター周辺の 4 地点で騒音の測定を実施している。

また、測定時間帯・方法等は表 5.2-39 に、過去 5 年間の測定期間は表 5.2-40 に示すとおりである。

騒音の測定結果は表 5.2-41 に示すとおり、すべての地点、すべての時間帯において、彩の国資源循環工場運営協定に基づく基準値を満たしている。

表 5.2-38 騒音の測定場所・住所

図中番号	測定場所	住所
No.1	オリエンタル火工(株)所有地前	寄居町大字三ヶ山 130-3 番地先
No.2	蔵田地区内	寄居町大字富田 4053 番地先
No.3	深田地区内	小川町大字木呂子 184 番地先
No.4	五ノ坪集落農業センター	寄居町大字西ノ入 2872 番地先

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 5.2-39 測定時間帯・方法等

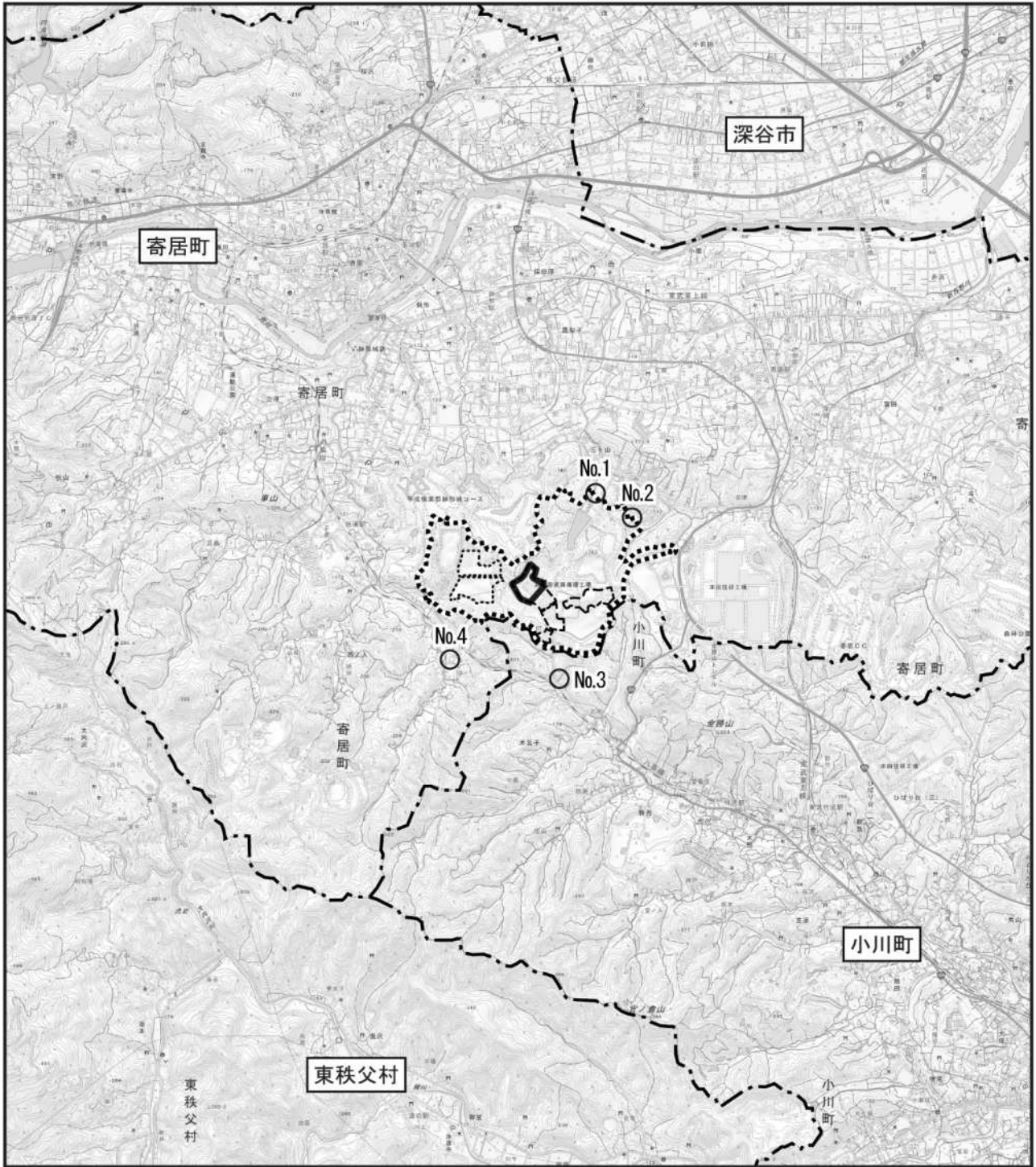
区分	時間帯	測定方法	測定回数
朝	午前 6 時から午前 8 時まで	騒音規制法に基づく測定方法	年 1 回
昼間	午前 8 時から午後 7 時まで		
夕	午後 7 時から午後 10 時まで		
夜間	午後 10 時から翌日午前 6 時まで		

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 5.2-40 過去 5 年間の測定期間

年度	測定期間
平成 26 年度	平成 27 年 2 月 16 日（月）～17 日（火）
平成 27 年度	平成 28 年 1 月 26 日（火）～27 日（水）
平成 28 年度	平成 29 年 2 月 23 日（木）～24 日（金）
平成 29 年度	平成 30 年 2 月 7 日（水）
平成 30 年度	平成 31 年 2 月 14 日（木）

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）



この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。

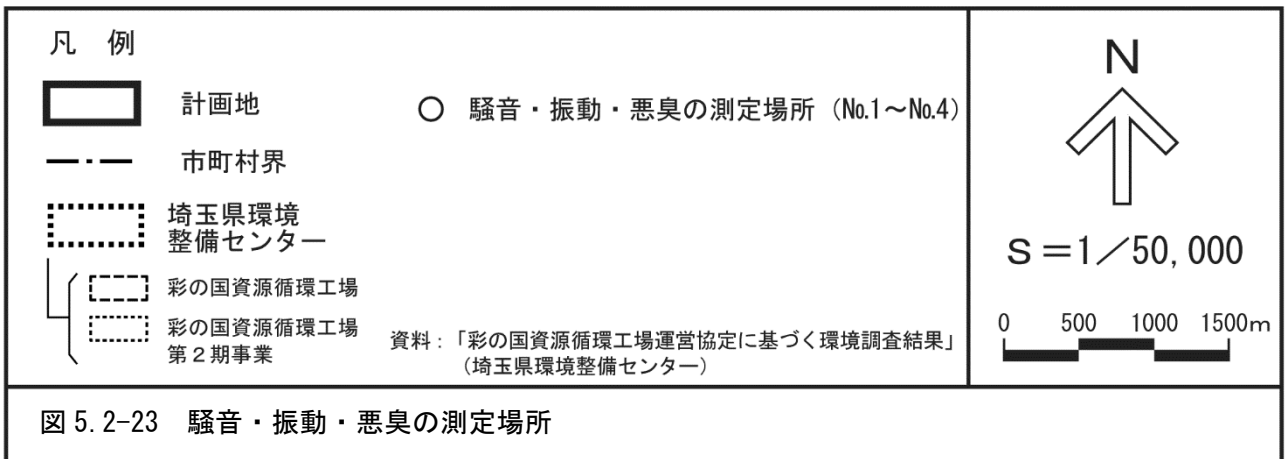


図 5.2-23 騒音・振動・悪臭の測定場所

表 5.2-41 騒音の測定結果（平成 26 年度～平成 30 年度）

No.1 オリエンタル火工(株)所有地前

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	騒音レベル				
			平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
朝 (6:00～8:00)	dB	50	36	42	45	39	37
昼間 (8:00～19:00)		55	38	38	40	38	48
夕 (19:00～22:00)		50	34	38	48	36	37
夜間 (22:00～6:00)		45	37	37	40	34	35

No.2 蔵田地区内

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	騒音レベル				
			平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
朝 (6:00～8:00)	dB	50	43	43	41	39	40
昼間 (8:00～19:00)		55	36	41	38	37	41
夕 (19:00～22:00)		50	37	44	47	37	38
夜間 (22:00～6:00)		45	41	44	39	37	37

No.3 深田地区内

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	騒音レベル				
			平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
朝 (6:00～8:00)	dB	50	37	39	46	41	40
昼間 (8:00～19:00)		55	41	37	47	43	46
夕 (19:00～22:00)		50	43	37	46	42	41
夜間 (22:00～6:00)		45	39	35	41	40	43

No.4 五之坪集落農業センター

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	騒音レベル				
			平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
朝 (6:00～8:00)	dB	50	30 未満	36	36	36	30 未満
昼間 (8:00～19:00)		55	39	36	47	39	37
夕 (19:00～22:00)		50	39	36	42	30 未満	30
夜間 (22:00～6:00)		45	30 未満	36	42	30 未満	30 未満

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

② 苦情の状況

計画地のある寄居町において、令和元年度における騒音に関する公害苦情は7件であり、総件数（34件）の約21%を占めている（表5.2-36参照）。

#### 4) 振 動

##### ① 振動の状況

###### (ア) 道路交通振動実態調査における振動の状況

埼玉県では毎年度、県内の市町村が行った道路交通振動調査結果を取りまとめて公表しているが、「平成 29 年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査」（埼玉県環境部水環境課）によると、計画地及びその周辺において道路交通振動の調査は行われていない。

###### (イ) 埼玉県環境整備センター周辺における振動の状況

埼玉県は、彩の国資源循環工場運営協定に基づき、表 5.2-38 及び図 5.2-23 に示した埼玉県環境整備センター周辺の 4 地点で振動の測定を実施している。

また、測定時間帯・方法等は表 5.2-42 に、過去 5 年間の測定期間は表 5.2-43 に示すとおりである。

振動の測定結果は表 5.2-44 に示すとおり、すべての地点、すべての時間帯において、彩の国資源循環工場運営協定に基づく基準値を満たしている。

表 5.2-42 測定時間帯・方法等

区分	適用時間帯	測定方法	測定回数
昼間	午前 8 時から午後 7 時まで	振動規制法に基づく測定方法	年 1 回
夜間	午後 7 時から午前 6 時まで		

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 5.2-43 過去 5 年間の測定期間

年度	測定期間
平成 26 年度	平成 27 年 2 月 16 日（月）～17 日（火）
平成 27 年度	平成 28 年 1 月 26 日（火）～27 日（水）
平成 28 年度	平成 29 年 2 月 23 日（木）～24 日（金）
平成 29 年度	平成 30 年 2 月 7 日（水）
平成 30 年度	平成 31 年 2 月 14 日（木）

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 5.2-44 振動の測定結果（平成 26 年度～平成 30 年度）

No.1 オリエンタル火工(株)所有地前

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	振動レベル				
			平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
昼間 (8:00～19:00)	dB	60	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満
夜間 (19:00～6:00)		55	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満

No.2 蔵田地区内

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	振動レベル				
			平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
昼間 (8:00～19:00)	dB	60	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満
夜間 (19:00～6:00)		55	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満

No.3 深田地区内

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	振動レベル				
			平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
昼間 (8:00～19:00)	dB	60	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満
夜間 (19:00～6:00)		55	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満

No.4 五之坪集落農業センター

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	振動レベル				
			平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
昼間 (8:00～19:00)	dB	60	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満
夜間 (19:00～6:00)		55	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満	30 未満

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

② 苦情の状況

計画地のある寄居町において、令和元年度における振動に関する公害苦情は、総件数 34 件数のうち 0 件である（表 5.2-36 参照）。



## 5) 悪 臭

### ① 悪臭の状況

#### (ア) 埼玉県環境整備センター周辺における悪臭の状況

埼玉県は、彩の国資源循環工場運営協定に基づき、表 5.2-38 及び図 5.2-23 に示す埼玉県環境整備センター周辺の 4 地点で悪臭の測定を実施している。

また、測定項目・方法等は表 5.2-45 に、過去 5 年間の測定期間は表 5.2-46 に示すとおりである。

悪臭の測定結果は表 5.2-47 に示すとおり、すべての項目、すべての地点において、彩の国資源循環工場運営協定に基づく基準値を満たしている。

表 5.2-45 測定項目・方法等

測定項目		単位	測定方法	測定回数
1	アンモニア	ppm	悪臭防止法に基づく測定方法	年 1 回以上
2	メチルメルカプタン			
3	硫化水素			
4	硫化メチル			
5	二硫化メチル			
6	トリメチルアミン			
7	アセトアルデヒド			
8	プロピオンアルデヒド			
9	ノルマルブチルアルデヒド			
10	イソブチルアルデヒド			
11	ノルマルバレールアルデヒド			
12	イソバレールアルデヒド			
13	イソブタノール			
14	酢酸エチル			
15	メチルイソブチルケトン			
16	トルエン			
17	スチレン			
18	キシレン			
19	プロピオン酸			
20	ノルマル酪酸			
21	ノルマル吉草酸			
22	イソ吉草酸			
23	臭気濃度	—		
24	臭気指数	—		

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 5.2-46 過去5年間の測定期間

年度	測定期間
平成26年度	第1回：平成26年6月16日（月） 第2回：平成26年8月5日（火） 第3回：平成27年2月2日（月）
平成27年度	第1回：平成27年6月17日（水） 第2回：平成27年8月27日（木） 第3回：平成28年2月10日（水）
平成28年度	第1回：平成28年6月27日（月） 第2回：平成28年8月16日（火） 第3回：平成29年2月7日（火）
平成29年度	第1回：平成29年6月20日（火） 第2回：平成29年8月7日（月） 第3回：平成30年2月13日（火）
平成30年度	第1回：平成30年6月18日（月） 第2回：平成30年8月21日（木） 第3回：平成31年2月15日（金）

資料：「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 5.2-47 悪臭の調査結果（平成 30 年度）

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	No.1 オリエンタル火工機所所有前			No.2 蔵田地区内		
			第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 1 回	第 2 回	第 3 回
1 アンモニア	ppm	—	0.05未満	0.08	0.05未満	0.07	0.06	0.05未満
2 メチルメルカプタン		—	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
3 硫化水素		—	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
4 硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
5 二硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
6 トリメチルアミン		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
7 アセトアルデヒド		—	0.004	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
8 プロピオンアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
9 ノルマルブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
10 イソブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
11 ノルマルペンチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
12 イソペンチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
13 イソブタノール		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
14 酢酸エチル		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
15 メチルイソブチルケトン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
16 トルエン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
17 スチレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
18 キシレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
19 プロピオン酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
20 ノルマル酪酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
21 ノルマル吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
22 イソ吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
23 臭気濃度	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	
24 臭気指数	15	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	No.3 深田地区内			No.4 五之坪集落農業センター		
			第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 1 回	第 2 回	第 3 回
1 アンモニア	ppm	—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.07	0.05未満
2 メチルメルカプタン		—	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
3 硫化水素		—	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
4 硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
5 二硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
6 トリメチルアミン		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
7 アセトアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
8 プロピオンアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
9 ノルマルブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
10 イソブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
11 ノルマルペンチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
12 イソペンチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
13 イソブタノール		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
14 酢酸エチル		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
15 メチルイソブチルケトン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
16 トルエン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
17 スチレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
18 キシレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
19 プロピオン酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
20 ノルマル酪酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
21 ノルマル吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
22 イソ吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
23 臭気濃度	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	
24 臭気指数	15	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	

注) 各年の値が 3 回分の幅を示している。

資料：「平成30年度彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査）の結果」（埼玉県環境整備センターホームページ）

表 5.2-48(1) 悪臭の調査結果 (No.1、No.2 : 平成 26 年度～平成 30 年度)

No.1 オリエンタル火工(株)所有地前

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
1 アンモニア	ppm	—	0.05未満～0.06	0.05未満～0.08	0.05未満	0.05未満	0.05未満～0.08	
2 メチルメルカプタン		—	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
3 硫化水素		—	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	
4 硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
5 二硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
6 トリメチルアミン		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
7 アセトアルデヒド		—	0.002未満～0.002	0.002未満～0.005	0.002未満	0.002未満～0.004	0.002未満～0.004	
8 プロピオンアルデヒド*		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
9 ノルマルブチルアルデヒド*		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
10 イソブチルアルデヒド*		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
11 ノルマルペンタアルデヒド*		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
12 イソペンタアルデヒド*		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
13 イソブタノール		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
14 酢酸エチル		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
15 メチルイソブチルケトン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
16 トルエン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
17 スチレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
18 キシレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
19 プロピオン酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
20 ノルマル酪酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
21 ノルマル吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
22 イソ吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
23 臭気濃度		—	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満
24 臭気指数		15	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満

No.2 蔵田地区内

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
1 アンモニア	ppm	—	0.05未満	0.05未満～0.09	0.05未満	0.05未満	0.05未満～0.07	
2 メチルメルカプタン		—	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
3 硫化水素		—	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	
4 硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
5 二硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
6 トリメチルアミン		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
7 アセトアルデヒド		—	0.002未満～0.002	0.002未満～0.005	0.002未満	0.002未満～0.003	0.002未満	
8 プロピオンアルデヒド*		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
9 ノルマルブチルアルデヒド*		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
10 イソブチルアルデヒド*		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
11 ノルマルペンタアルデヒド*		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
12 イソペンタアルデヒド*		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
13 イソブタノール		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
14 酢酸エチル		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
15 メチルイソブチルケトン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
16 トルエン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
17 スチレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
18 キシレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
19 プロピオン酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
20 ノルマル酪酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
21 ノルマル吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
22 イソ吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
23 臭気濃度		—	—	10未満	10未満	10未満～23	10未満	10未満
24 臭気指数		15	—	10未満	10未満	10未満～14	10未満	10未満

注) 各年の値が3回分の幅を示している。

資料:「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査(埼玉県による測定・検査の内容)」(埼玉県環境整備センターホームページ)

表 5.2-48(2) 悪臭の調査結果 (No.3、No.4 : 平成 26 年度～平成 30 年度)

No.3 深田地区内

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1 アンモニア	ppm	—	0.05未満	0.05未満～0.06	0.05未満	0.05未満	0.05未満
2 メチルメルカプタン		—	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
3 硫化水素		—	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
4 硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
5 二硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
6 トリメチルアミン		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
7 アセトアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満～0.005	0.002未満	0.002未満～0.002	0.002未満
8 プロピオンアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
9 ノルマルブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
10 イソブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
11 ノルマルペンチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
12 イソペンチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
13 イソブタノール		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
14 酢酸エチル		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
15 メチルイソブチルケトン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
16 トルエン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
17 スチレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
18 キシレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
19 プロピオン酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
20 ノルマル酪酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
21 ノルマル吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
22 イソ吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
23 臭気濃度	—	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満
24 臭気指数	15	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満

No.4 五之坪集落農業センター

測定項目	単位	基準値 (運営協定)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1 アンモニア	ppm	—	0.05未満	0.05未満～0.05	0.05未満	0.05未満	0.05未満～0.07
2 メチルメルカプタン		—	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
3 硫化水素		—	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
4 硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
5 二硫化メチル		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
6 トリメチルアミン		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
7 アセトアルデヒド		—	0.002未満～0.002	0.002未満～0.004	0.002未満	0.002未満～0.002	0.002未満
8 プロピオンアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
9 ノルマルブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
10 イソブチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
11 ノルマルペンチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
12 イソペンチルアルデヒド		—	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
13 イソブタノール		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
14 酢酸エチル		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
15 メチルイソブチルケトン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
16 トルエン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
17 スチレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
18 キシレン		—	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
19 プロピオン酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
20 ノルマル酪酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
21 ノルマル吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
22 イソ吉草酸		—	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
23 臭気濃度	—	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満
24 臭気指数	15	—	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満

注)各年の値が3回分の幅を示している。

資料:「彩の国資源循環工場運営協定書に基づく環境調査(埼玉県による測定・検査の内容)」(埼玉県環境整備センターホームページ)

## ② 苦情の状況

計画地のある寄居町において、令和元年度における悪臭に関する公害苦情は8件であり、総件数（34件）の約24%を占めている（表5.2-36参照）。

(2) 水質、底質、水象その他の水に係る環境の状況

1) 水質

① 公共用水域及び地下水の水質測定における水質の状況

(ア) 河川の水質

計画地及びその周辺における河川の水質調査は、国土交通省、埼玉県により2河川2測定地点で行われており、その位置は図5.2-24に示すとおりである。

測定結果は表5.2-49(1)～(2)に示すとおり、すべての地点、項目において環境基準値を満たしている。

表5.2-49(1) 河川の水質調査結果(国土交通省調査地点：平成29年度)

水域名		荒川					
地点名		①正喜橋(A・生物特B)					
		最小値	最大値	平均値	75%値	X/Y	基準値
生活環境項目	pH	7.8	8.2	7.9	7.9	0/12	6.5以上 8.5以下
	DO(mg/L)	7.8	13	9.9	8.7	0/12	5mg/L以上
	BOD(mg/L)	<0.5	1.6	0.9	1.1	0/12	3mg/L以下
	COD(mg/L)	1.1	3.1	2.1	2.3	12	-
	SS(mg/L)	<1	7	2	2	0/12	25mg/L以下
	大腸菌群数(MPN/100mL)	110	33000	6500	4900	6/12	5,000MPN/100mL以下
	全窒素(mg/L)	0.75	1.7	1.2	1.3	12	-
	全燐(mg/L)	0.023	0.068	0.045	0.058	12	-
	全亜鉛(mg/L)	0.001	0.008	0.002	0.002	0/12	0.03mg/L以下
	ノニルフェノール(mg/L)	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	0/4	0.002mg/L以下
	LAS(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0/4	0.05mg/L以下
	健康項目	カドミウム(mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0/2
全シアン(mg/L)		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0/2	検出されないこと
鉛(mg/L)		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0/2	0.01 mg/L以下
六価クロム(mg/L)		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0/2	0.05 mg/L以下
砒素(mg/L)		<0.001	0.001	0.001	0.001	0/2	0.01 mg/L以下
総水銀(mg/L)		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0/2	0.0005 mg/L以下
PCB(mg/L)		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0/1	検出されないこと
ジクロロメタン(mg/L)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0/2	0.02 mg/L以下
四塩化炭素(mg/L)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0/2	0.002 mg/L以下
1,2-ジクロロエタン(mg/L)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0/2	0.004 mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン(mg/L)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0/2	0.1 mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエチレン(mg/L)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0/2	0.04 mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン(mg/L)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0/2	1 mg/L以下
1,1,2-トリクロロエタン(mg/L)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0/2	0.006 mg/L以下
トリクロロエチレン(mg/L)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0/2	0.01 mg/L以下
テトラクロロエチレン(mg/L)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0/2	0.01 mg/L以下
1,3-ジクロロプロペン(mg/L)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0/2	0.002 mg/L以下
チウラム(mg/L)		<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0/2	0.006 mg/L以下
シマジン(mg/L)		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0/2	0.003 mg/L以下
チオベンカルブ(mg/L)		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0/2	0.02 mg/L以下
ベンゼン(mg/L)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0/2	0.01 mg/L以下
セレン(mg/L)		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0/2	0.01 mg/L以下
硝酸・亜硝酸性窒素(mg/L)		0.69	1.2	0.95	1.2	0/2	10 mg/L以下
ふっ素(mg/L)		0.06	0.08	0.07	0.08	0/2	0.8 mg/L以下
ほう素(mg/L)		<0.02	0.03	0.03	0.03	0/2	1 mg/L以下
1,4-ジオキサン(mg/L)		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0/2	0.05 mg/L以下

注1) 表中の番号は、図5.2-24の番号と対応する。

注2) 地点名の( )内は類型を示す。

注3) 「X」は環境基準に適合しない日数を示す。「Y」は総測定日を示す。

資料：「平成29年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果(資料編)」(平成31年3月、埼玉県環境部)

表 5.2-49(2) 河川の水質測定結果（埼玉県調査地点：平成 29 年度）

水域名		槻川					
地点名		②大内沢川合流点前(B・生物A)					
		最小値	最大値	平均値	75%値	X/Y	基準値
生活環境項目	pH	8.0	9.0	8.5	8.6	6 / 12	6.5 以上 8.5 以下
	DO (mg/L)	8.8	12	10	9.6	0 / 12	5mg/L 以上
	BOD (mg/L)	<0.5	1.4	0.8	0.9	0 / 12	3mg/L 以下
	COD (mg/L)	1.1	3.1	2.0	2.3	12	-
	SS (mg/L)	<1	2	1	2	0 / 12	25mg/L 以下
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	33	35000	8800	7900	4 / 12	5,000MPN/100mL 以下
	全窒素 (mg/L)	0.75	1.3	1.0	1.0	4	-
	全リン (mg/L)	0.016	0.040	0.033	0.039	4	-
	全亜鉛 (mg/L)	<0.001	0.005	0.002	0.002	0 / 12	0.03mg/L 以下
	ノニルフェノール (mg/L)	<0.00006	0.00010	0.00007	<0.00006	0 / 12	0.002mg/L 以下
	LAS (mg/L)	<0.0006	0.0047	0.0014	0.0013	0 / 12	0.05mg/L 以下
	健康項目	カドミウム (mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0 / 4
全シアン (mg/L)		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0 / 4	検出されないこと
鉛 (mg/L)		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0 / 4	0.01 mg/L 以下
六価クロム (mg/L)		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0 / 4	0.05 mg/L 以下
砒素 (mg/L)		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0 / 4	0.01 mg/L 以下
総水銀 (mg/L)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0 / 4	0.0005 mg/L 以下
PCB (mg/L)		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0 / 2	検出されないこと
ジクロロメタン (mg/L)		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0 / 2	0.02 mg/L 以下
四塩化炭素 (mg/L)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0 / 2	0.002 mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン (mg/L)		<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0 / 2	0.004 mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0 / 2	0.1 mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0 / 2	0.04 mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0 / 2	1 mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)		<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0 / 2	0.006 mg/L 以下
トリクロロエチレン (mg/L)		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0 / 2	0.01 mg/L 以下
テトラクロロエチレン (mg/L)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0 / 2	0.01 mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0 / 2	0.002 mg/L 以下
チウラム (mg/L)		<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0 / 2	0.006 mg/L 以下
シマジン (mg/L)		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0 / 2	0.003 mg/L 以下
チオベンカルブ (mg/L)		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0 / 2	0.02 mg/L 以下
ベンゼン (mg/L)		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0 / 2	0.01 mg/L 以下
セレン (mg/L)		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0 / 2	0.01 mg/L 以下
硝酸・亜硝酸性窒素 (mg/L)		0.6	1.2	0.9	1.1	0 / 12	10 mg/L 以下
ふっ素 (mg/L)	<0.02	0.06	0.03	0.03	0 / 12	0.8 mg/L 以下	
ほう素 (mg/L)	<0.02	0.06	0.02	0.02	0 / 12	1 mg/L 以下	
1,4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0 / 2	0.05 mg/L 以下	

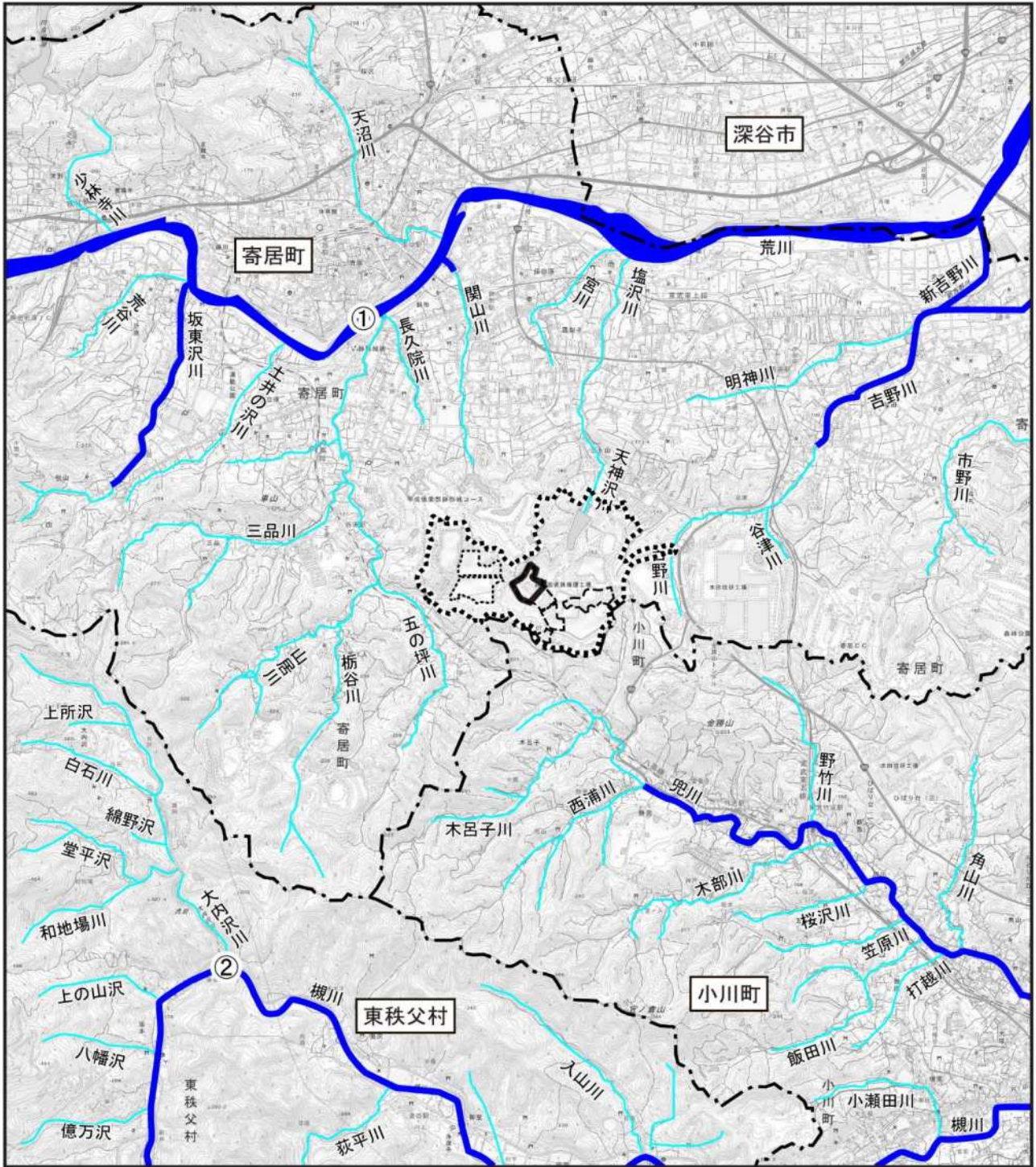
注1) 表中の番号は、図5.2-24の番号と対応する。

注2) 地点名の ( ) 内は類型を示す。

注3) 「X」は環境基準に適合しない日数を示す。「Y」は総測定日を示す。

資料：「平成29年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果(資料編)」(平成31年3月、埼玉県環境部)





この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。

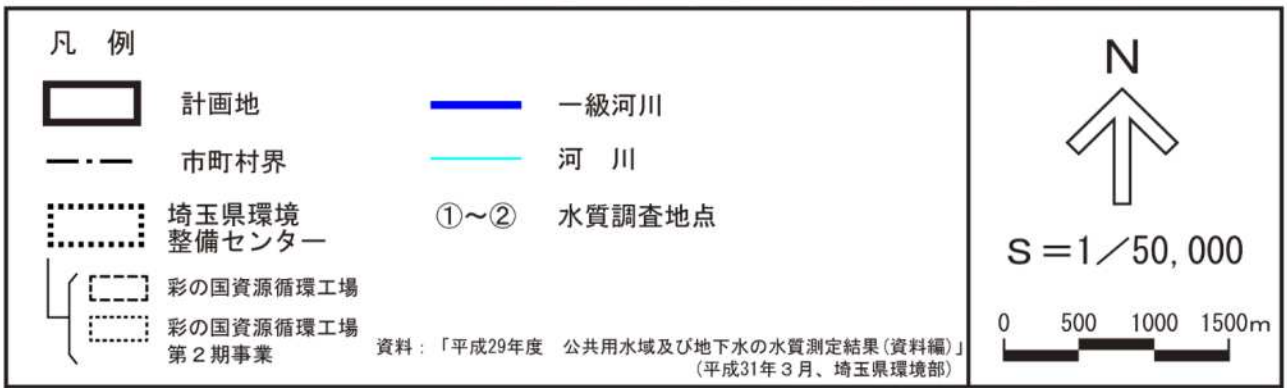


図 5.2-24 水質測定地点位置図

(イ) 地下水の水質

平成 29 年度、関係市町村における地下水の水質の調査結果は、表 5.2-50(1)～(3)に示すとおりである。

概況調査は寄居町で 2 地点、小川町で 2 地点、深谷市で 5 地点において行われており、深谷市の 3 地点で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が環境基準値を超過している。

また、継続調査結果は、寄居町は 4 地点、深谷市は 15 地点において硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、深谷市は 2 地点において四塩化炭素、クロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンの測定が行われている。寄居町の 1 地点、深谷市の 11 地点で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が環境基準値を超過しており、深谷市の 1 地点で 1,2-ジクロロエチレン及びテトラクロロエチレンが環境基準値を超過している。

表 5.2-50(1) 地下水の水質の調査結果(概況調査：平成 29 年度)

市町村名	寄居町	寄居町	小川町	小川町	深谷市	深谷市	深谷市	深谷市	深谷市		
地区名	鷹巣	三品	下里	飯田	東方町	折之口	成塚	荒川	山河		
井戸番号	201105	200702	161104	180905	261225	241121	281118	220917	260914		
井戸深度(m)	不明	3	不明	10	38.98	7	不明	4	8.40		
浅深井戸の別	不明	浅	浅	浅	深	浅	不明	浅	浅		
用途	一般飲用	一般飲用	生活用水	生活用水	その他	生活用水	生活用水	生活用水	一般飲用		
採水年月日	H29.10.26	H29.10.30	H29.10.17	H29.10.26	H29.10.25	H29.10.25	H29.10.25	H29.10.26	H29.11.24		
地下水の水質測定結果 (mg/L)	項目	環境基準	地下水の水質の調査結果								
	カドミウム	0.003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003
	全シアン	不検出	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1
	鉛	0.01	< 0.001	0.001	< 0.001	< 0.001	0.005	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
	六価クロム	0.05	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
	砒素	0.01	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
	総水銀	0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
	アルキル水銀	不検出	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	P C B	不検出	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
	ジクロロメタン	0.02	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
	四塩化炭素	0.002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
	クロロエチレン	0.002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	0.1	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
	シス-1,2-ジクロロエチレン	-	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
	トランス-1,2-ジクロロエチレン	-	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
	1,2-ジクロロエチレン	0.04	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	1	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006
	トリクロロエチレン	0.01	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
	テトラクロロエチレン	0.01	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	0.002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
	チウラム	0.006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006
	シマジン	0.003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003
	チオベンカルブ	0.02	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
	ベンゼン	0.01	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
	セレン	0.01	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
	亜硝酸性窒素	-	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10	4.9	2.5	0.12	1.8	8.3	23	12	20	3.3	
ふっ素	0.8	< 0.02	0.06	0.06	0.04	0.02	< 0.02	0.03	0.04	0.02	
ほう素	1	0.04	< 0.02	0.02	0.07	0.03	0.04	0.06	0.07	0.03	
1,4-ジクロロベンゼン	0.05	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	

注1) 「-」は検出されていないことを示す。

注2) ■は、環境基準値を超過していることを示す。

資料：「平成29年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果(資料編)」(平成31年3月、埼玉県環境部)

表 5. 2-50 (2) 地下水の水質の調査結果(継続調査：平成 29 年度)

市町村名	地区名	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	
		調査結果	環境基準
寄居町	赤浜	24	10mg/L 以下
	用土	5.7	
	用土	7.8	
	寄居	7.1	
深谷市	櫛引	68	
	櫛引	15	
	大谷	45	
	国済寺	15	
	原郷	16	
	南阿賀野	11	
	大塚	10	
	矢島	5.2	
	高島	13	
	山崎	29	
	山河	30	
	山河	24	
	針ヶ谷	9.7	
	武蔵野	63	
	小前田	9	

注) 〇は、環境基準値を超過していることを示す。

資料：「平成29年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果(資料編)」(平成31年3月、埼玉県環境部)

表 5. 2-50 (3) 地下水の水質の調査結果(継続調査：平成 29 年度)

水質測定項目	深谷市		環境基準
	折之口	人見	
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
クロロエチレン	<0.0002	0.0002	0.002mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	0.1mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.049	0.019	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	—
1,2-ジクロロエチレン	0.051	0.021	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	0.010	<0.0005	1mg/L 以下
トリクロロエチレン	0.007	<0.001	0.01mg/L 以下
テトラクロロエチレン	0.17	<0.0005	0.01mg/L 以下

注) 〇は、環境基準値を超過していることを示す。

資料：「平成29年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果(資料編)」(平成31年3月、埼玉県環境部)

### (ウ) 底 質

計画地及びその周辺における底質結果は、国土交通省により1河川1測定地点で行われており、その位置は図 5. 2-24 に示すとおりである。

測定結果は表 5. 2-51 に示すとおりである。

表 5. 2-51 底質の測定結果(平成 29 年度)

河川名	地点名	採泥年月日	カドミウム	鉛	砒素	総水銀	アルキル水銀	P C B	p H	水分	色相	性状	臭気
荒 川	①正喜橋	H29.08.02	0.05	9.0	1.9	0.01	<0.01	<0.01	7.6	21.3	灰茶色	シルト混じり砂	土臭弱

注1) 〇中番号は、図5. 2-24の番号と対応する。

注2) 単位は水分が%、それ以外はmg/kgである。

資料：「平成29年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果(資料編)」(平成31年3月、埼玉県環境部)

## ② 埼玉県環境整備センター内における水質の状況

埼玉県は、彩の国資源循環工場運営協定に基づき、表 5.2-52 及び図 5.2-25 に示す埼玉県環境整備センター内の 4 地点で水質の測定を実施している。

測定方法等及び測定期間は、表 5.2-53 及び表 5.2-54 に示すとおりである。

表 5.2-52 水質の測定（採水）場所

図中番号	測定場所
No.1	防災調節池の中央付近
No.2	防災調節池に放流する雨水管
No.3	13 号埋立地南側防災調節池に放流する雨水管
No.4	全工場の生活排水合流後の最終排水口

注) 図中番号は、図5.2-25の番号と対応する。

資料：「彩の国資源循環工場運営協定に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境部環境整備センターホームページ）

表 5.2-53 測定方法等

測定場所	測定方法	測定回数
No.1 防災調節池の中央付近	水質汚濁防止法に定める方法	年 4 回以上
No.2 防災調節池に放流する雨水管	水質汚濁防止法に定める方法（ダイオキシン類はダイオキシン類対策特別措置法に定める方法）	年 4 回以上 （ダイオキシン類は年 1 回以上）
No.3 13 号埋立地南側防災調節池に放流する雨水管		
No.4 全工場の生活排水合流後の最終排水口	水質汚濁防止法に定める方法	年 1 回以上

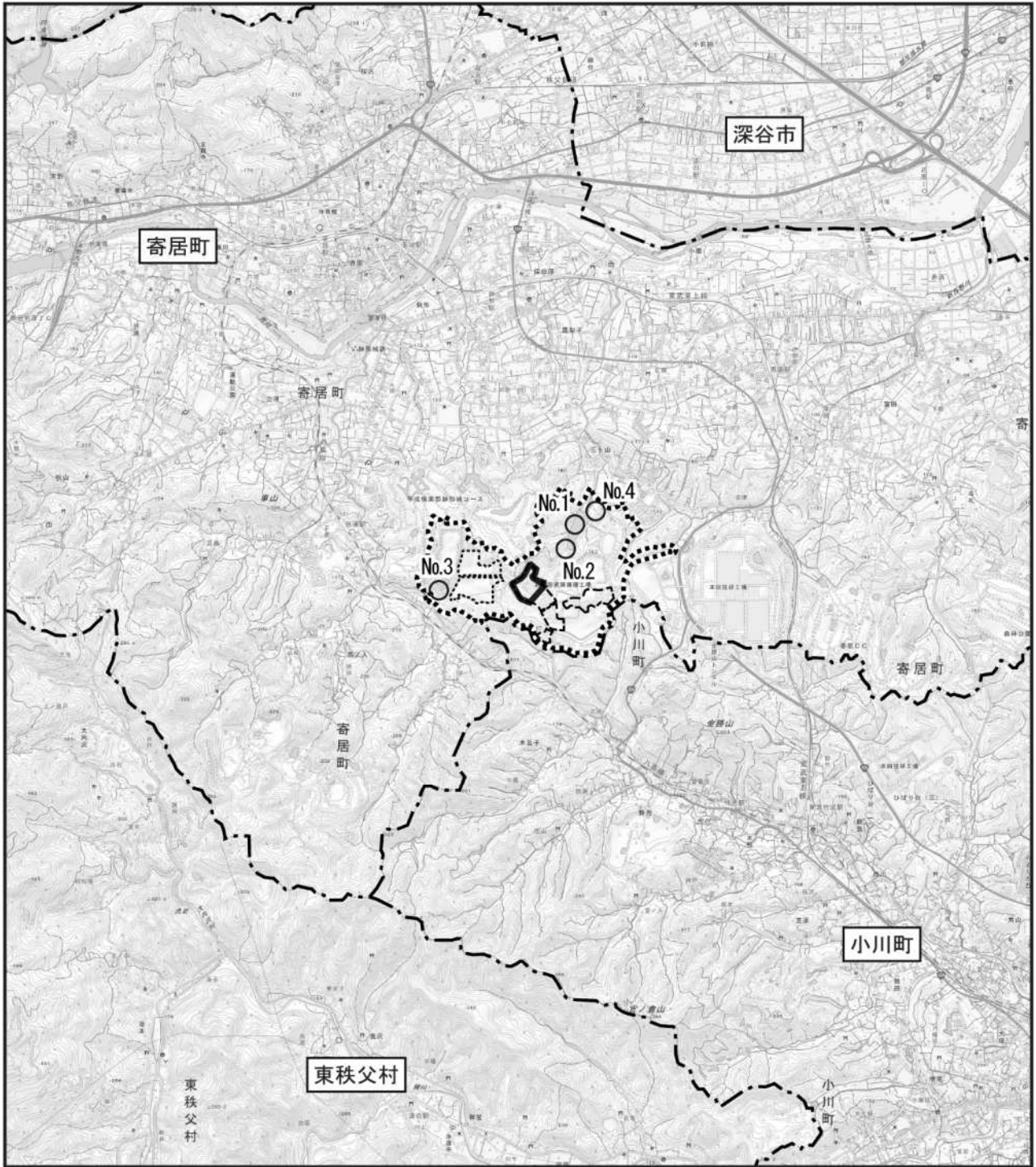
資料：「彩の国資源循環工場運営協定に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境部環境整備センターホームページ）

表 5.2-54 測定期間

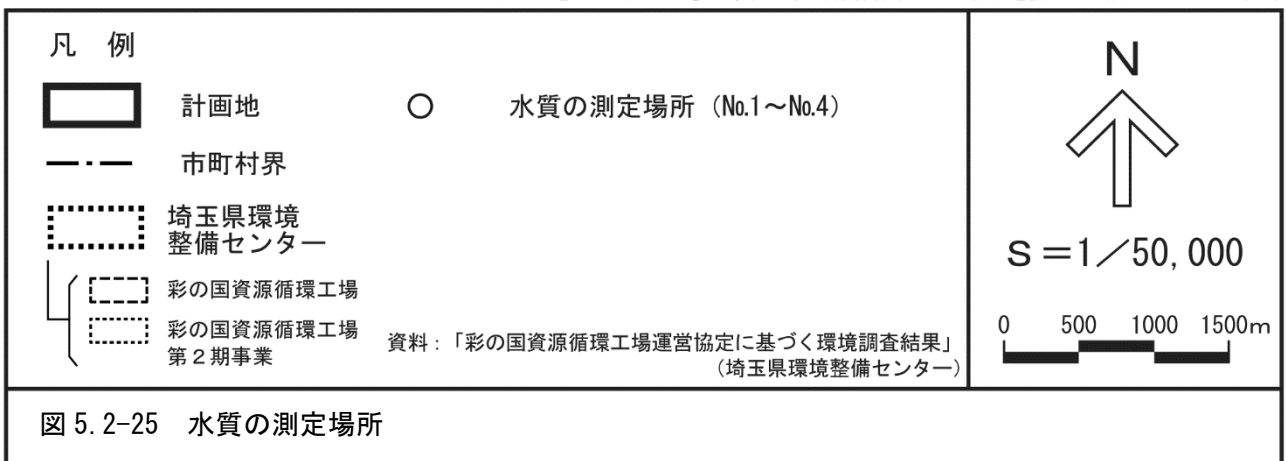
年度	測定場所	測定期間
平成 26 年度	No.1 防災調節池の中央付近	平成 26 年 5 月 30 日 (木)
		平成 26 年 7 月 17 日 (木)
		平成 26 年 12 月 18 日 (木)
		平成 27 年 2 月 12 日 (木)
	No.2 防災調節池に放流する雨水管 No.3 13 号埋立地南側防災調節池に放流する雨水管	平成 26 年 5 月 21 日 (木)
		平成 26 年 9 月 1 日 (木)
		平成 26 年 11 月 27 日 (木)
No.4 全工場の生活排水合流後の最終排水口	平成 27 年 1 月 27 日 (木)	
平成 27 年度	No.1 防災調節池の中央付近	平成 26 年 12 月 18 日 (木)
		平成 27 年 5 月 19 日 (木)
		平成 27 年 7 月 8 日 (木)
		平成 27 年 11 月 6 日 (木)
	No.2 防災調節池に放流する雨水管 No.3 13 号埋立地南側防災調節池に放流する雨水管	平成 28 年 2 月 10 日 (木)
		平成 27 年 5 月 19 日 (木)
		平成 27 年 7 月 8 日 (木) (ダイオキシン類は 7 月 15 日)
No.4 全工場の生活排水合流後の最終排水口	平成 27 年 11 月 6 日 (木)	
平成 28 年度	No.1 防災調節池の中央付近	平成 27 年 11 月 6 日 (木)
		平成 28 年 5 月 30 日 (木)
		平成 28 年 9 月 15 日 (木)
		平成 28 年 12 月 19 日 (木)
	No.2 防災調節池に放流する雨水管	平成 29 年 2 月 20 日 (木)
		平成 28 年 6 月 14 日 (木)
		平成 28 年 8 月 19 日 (木)
		平成 28 年 12 月 14 日 (木)
	No.3 13 号埋立地南側防災調節池に放流する雨水管	平成 29 年 2 月 10 日 (木)
		平成 28 年 6 月 14 日 (木)
平成 28 年 8 月 19 日 (木)		
No.4 全工場の生活排水合流後の最終排水口	平成 29 年 2 月 3 日 (木)	
平成 29 年度	No.1 防災調節池の中央付近	平成 29 年 2 月 24 日 (木)
		平成 28 年 11 月 16 日 (木)
		平成 29 年 6 月 14 日 (木)
		平成 29 年 10 月 17 日 (木)
	No.2 防災調節池に放流する雨水管 No.3 13 号埋立地南側防災調節池に放流する雨水管	平成 29 年 12 月 17 日 (木)
		平成 30 年 2 月 21 日 (木)
		平成 29 年 5 月 26 日 (木)
No.4 全工場の生活排水合流後の最終排水口	平成 29 年 7 月 14 日 (木)	
平成 30 年度	No.1 防災調節池の中央付近	平成 29 年 10 月 17 日 (木)
		平成 29 年 12 月 17 日 (木)
		平成 30 年 2 月 11 日 (木)
		平成 29 年 11 月 20 日 (木)
	No.2 防災調節池に放流する雨水管 No.3 13 号埋立地南側防災調節池に放流する雨水管	平成 30 年 5 月 16 日 (木)
		平成 30 年 8 月 9 日 (木)
		平成 30 年 12 月 20 日 (木)
No.4 全工場の生活排水合流後の最終排水口	平成 31 年 2 月 14 日 (木)	
平成 30 年度	No.2 防災調節池に放流する雨水管 No.3 13 号埋立地南側防災調節池に放流する雨水管	平成 30 年 5 月 10 日 (木)
		平成 30 年 8 月 9 日 (木)
		平成 30 年 12 月 12 日 (木)
	No.4 全工場の生活排水合流後の最終排水口	平成 31 年 3 月 1 日 (木)
		平成 30 年 11 月 28 日 (木)

資料：「彩の国資源循環工場運営協定に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査の内容）」（埼玉県環境部環境整備センターホームページ）





この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。



7) 水質（防災調節池の中央付近）

防災調節池の中央付近における水質の測定結果は表 5.2-55 に示すとおり、すべての項目、すべての測定期間において比較基準を満たしている。

また、防災調節池の中央付近における水質の経年変化は表 5.2-56 に示すとおり、すべての項目、すべての測定期間において比較基準を満たしている。

表 5.2-55 水質の測定結果 (No.1 防災調節池の中央付近：平成 30 年度)

測定項目	単位	比較基準 (参考値)	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回
1 水素イオン濃度		(6.5~8.5) 環境基準	8.3	8.3	8.3	8.1	8.1~8.3
2 生物学的酸素要求量		(25) 排水基準	1.7	3.5	1.4	2.6	1.4~3.5
3 化学的酸素要求量		— —	5.4	8.8	6.6	6.9	6.6~8.8
4 浮遊物質		(25) 環境基準	1.8	7.4	4.5	7.8	1.8~7.4
5 ノルマルヘキサン抽出物質含有量		—	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
6 ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類)		(5)	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
7 ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油類)		(30) 排水基準	2.5未満	2.5未満	2.5未満	2.5未満	2.5未満
8 フェノール類含有量		(1)	0.007	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満~0.007
9 銅含有量	mg/l	(3)	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
10 亜鉛含有量		(0.03) 環境基準	0.012	0.008	0.003未満	0.005	0.003未満~0.012
11 鉄含有量		— —	0.19	0.32	0.29	0.14	0.14~0.32
溶解性鉄含有量		(10) 排水基準	0.13	0.10未満	0.10未満	0.10	0.10未満~0.13
12 マンガン含有量		— —	0.34	0.14	0.20	0.17	0.14~0.34
溶解性マンガン含有量		(10) 排水基準	0.24	0.01	0.03	0.02	0.03~0.24
13 クロム含有量		(2)	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満
14 ふっ素含有量		(0.8) 環境基準	0.11	0.08	0.11	0.12	0.08~0.12
15 大腸菌群数	個/ml	(3000)	30未満	30未満	30未満	30未満	30未満
16 窒素含有量		(120) 排水基準	0.60	0.94	0.64	0.80	0.60~0.94
17 リン含有量		(16)	0.039	0.065	0.070	0.028	0.028~0.070
18 水銀及びその化合物		(0.003) 環境基準	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
19 シアン化合物		(検出されないこと)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
20 有機りん化合物		(1) 排水基準	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
21 鉛及びその化合物		(0.01)	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
22 六価クロム及びその化合物		(0.05)	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
23 ひ素及びその化合物		(0.01)	0.001未満	0.002	0.001未満	0.001未満	0.001未満
24 水銀及びその化合物以外の化合物		(0.0005)	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
25 アルキル水銀化合物		(検出されないこと)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
26 ポリ塩化ビフェニル		(検出されないこと)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
27 トリクロロエチレン		(0.03)	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
28 テトラクロロエチレン		(0.01)	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
29 ジクロロメタン		(0.02)	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
30 四塩化炭素		(0.002)	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
31 1,2-ジクロロエタン		(0.004)	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満
32 1,1-ジクロロエチレン		(0.1)	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
33 シス-1,2-ジクロロエチレン		(0.04)	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
34 1,1,1-トリクロロエタン		(1)	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満
35 1,1,2-トリクロロエタン		(0.006)	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
36 1,3-ジクロロプロパン		(0.002)	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
37 チウラム		(0.006) 環境基準	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
38 シマジン	mg/l	(0.003)	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
39 チオベンカルブ		(0.02)	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
40 ベンゼン		(0.01)	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
41 セレン及びその化合物		(0.01)	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
42 ほう素及びその化合物		(1)	0.02未満	0.03	0.03	0.03	0.02未満~0.03
43 1,4-ジオキサン		(0.05)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
44 フォス、アモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物		(100) 排水基準	0.23	0.17	0.17	0.30	0.17~0.30
45 溶存酸素量		(7.5) 環境基準	10.6	7.8	10.6	12.3	7.8~12.3
46 透視度	度		50以上	50以上	50以上	40.0	40~50以上
参考 水温	℃	—	23.4	28.4	7.2	4.5	4.5~28.4
水色	—	—	淡灰黄色	淡灰黄色	淡灰黄色	淡灰黄色	淡灰黄色
クロロフィルa	μg/l		2未満	31	12	15	2未満~31

注) 未満とは、測定できる限界を下回っていることである。

資料：「平成30年度彩の国資源循環工場運営協定に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査）結果」（埼玉県環境部環境整備センターホームページ）

表 5.2-56 水質の経年変化 (No.1 防災調節池の中央付近：平成 26 年度～平成 30 年度)

測定項目	単位	比較基準 (参考値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1 水素イオン濃度		(6.5~8.5) 環境基準	6.5~8.2	7.2~8.4	7.7~8.4	7.3~8.2	8.1~8.3
2 生物化学的酸素要求量		(25) 排水基準	1.2~3.3	1.5~1.9	1.3~3.0	1.8~2.4	1.4~3.5
3 化学的酸素要求量		—	4.8~6.9	4.8~6.2	4.7~7.3	4.6~8.8	6.6~8.8
4 浮遊物質量		(25) 環境基準	2.3~9.0	4.4~7.5	2.4~7.5	3.0~14.0	1.8~7.4
5 ノルマヘキサン抽出物質含有量		—	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
6 ノルマヘキサン抽出物質含有量(鉱油類)		(5)	—	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
7 ノルマヘキサン抽出物質含有量(動植物油類)		(30)	—	2.5未満	2.5未満	2.5未満	2.5未満
8 フェノール類含有量		(1)	0.005未満	0.005未満	0.005未満~0.018	0.005未満	0.005未満~0.007
9 銅含有量	mg/l	(3)	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
10 亜鉛含有量		(0.03) 環境基準	0.006~0.016	0.003未満~0.017	0.002~0.03	0.003~0.029	0.003未満~0.012
11 鉄含有量		—	0.11~0.45	0.11~0.67	0.16~0.50	0.11~0.50	0.14~0.32
11 溶解性鉄含有量		(10) 排水基準	0.10未満~0.12	0.10未満	0.10未満~0.47	0.10未満	0.10未満~0.13
12 マンガン含有量		—	0.15~0.30	0.23~0.87	0.08~0.23	0.09~0.36	0.14~0.34
12 溶解性マンガン含有量		(10) 排水基準	0.07~0.16	0.01未満~0.60	0.01~0.13	0.01未満~0.17	0.03~0.24
13 クロム含有量		(2)	0.10未満	0.10未満	0.20未満	0.20未満	0.20未満
14 ふっ素含有量		(0.8) 環境基準	0.07~0.13	0.05未満~0.13	0.08未満~0.15	0.08未満~0.15	0.08~0.12
15 大腸菌群数	個/ml	(3000)	30未満	30未満	30未満	30未満	30未満
16 窒素含有量		(120) 排水基準	0.52~0.88	0.55~1.20	0.47~1.3	0.82~1.5	0.60~0.94
17 リン含有量		(16)	0.016~0.028	0.021~0.042	0.011~0.037	0.019~0.056	0.028~0.070
18 鉛及びその化合物		(0.003) 環境基準	0.0005未満	0.0005未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
19 シアン化合物		(検出されないこと)	0.05未満	不検出	不検出	不検出	不検出
20 有機りん化合物		(1) 排水基準	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
21 鉛及びその化合物		(0.01)	0.001未満~0.005	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
22 六価クロム及びその化合物		(0.05)	0.01未満	0.01未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
23 砒素及びその化合物	mg/l	(0.01)	0.001未満	0.001未満~0.001	0.001未満~0.001	0.001未満~0.001	0.001未満~0.001
24 水銀及びその化合物		(0.0005)	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
25 アルキル水銀化合物		(検出されないこと)	0.0005未満	不検出	不検出	不検出	不検出
26 ポリ塩化ビフェニル		(検出されないこと)	0.0005未満	不検出	不検出	不検出	不検出
27 トリクロロエチレン		(0.03)	0.003未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
28 テトラクロロエチレン		(0.01)	0.001未満	0.001未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
29 ジクロロメタン		(0.02)	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
30 四塩化炭素		(0.002)	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
31 1,2-ジクロロエタン		(0.004)	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満
32 1,1-ジクロロエチレン		(0.1)	0.01未満	0.01未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
33 トリス(1,2,2,2-クロロエチル)		(0.04)	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
34 1,1,1-トリクロロエタン		(1)	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満
35 1,1,2-トリクロロエタン		(0.006)	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
36 1,3-ジクロロプロパン		(0.002)	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
37 チウラム		(0.006)	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
38 シマジン	mg/l	(0.003)	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
39 チオベンカルブ		(0.02)	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
40 ベンゼン		(0.01)	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
41 セレン及びその化合物		(0.01)	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
42 ほう素及びその化合物		(1)	0.02未満~0.03	0.02~0.05	0.1未満	0.10未満	0.02未満~0.03
43 フォス、アセチル化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物		(100) 排水基準	0.12~0.63	0.10未満~0.48	0.1未満~0.61	0.32~0.50	0.32~0.50
44 1,4-ジオキサン		(0.05)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.17~0.30
45 溶存酸素量		(7.5) 環境基準	9.9~12	6.8~12.0	10.0~11.6	7.9~12.9	7.8~12.3
46 透明度	度	—	38~50以上	50以上	41~50以上	42~50以上	40~50以上
参考 水温	℃	—	4.8~29.6	6.3~25.9	6.6~25.4	6.2~25.1	4.5~28.4
参考 水色	—	—	淡灰黄色、淡黄緑色、中灰黄色	無色、淡緑色	淡灰黄色、淡黄緑色	淡黄色、無色透明	淡灰黄色、淡黄緑色、中灰黄色
参考 クロロフィルa	μg/l	—	3~10	3~15	3~17	2~26	2未満~31

注1) 未満とは、測定できる限界を下回っていることである。

注2) 各年の値が4回分の幅を示している。

資料：「彩の国資源循環工場運営協定に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査）結果」（埼玉県環境部環境整備センターホームページ）



#### 4) 水質（防災調節池に放流する雨水）

防災調節池に放流する雨水の水質の測定結果は表 5.2-57 に示すとおり、すべての項目、すべての測定期間において比較基準を満たしている。

また、防災調節池に放流する雨水の水質の経年変化は表 5.2-58 に示すとおり、すべての項目、すべての測定期間において比較基準を満たしている。

表 5.2-57 水質の測定結果（No.2 防災調節池に放流する雨水：平成 30 年度）

測定項目	単位	比較基準（参考値）	第1回	第2回	第3回	第4回		
1 カドミウム及びその化合物	mg/l	(0.003)	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満		
2 シアン化合物		(検出されないこと)	不検出	不検出	不検出	不検出		
3 有機燐化合物		(1)	排水基準	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	
4 鉛及びその化合物		(0.01)	環境基準	0.002	0.001未満	0.002	0.001	
5 六価クロム及びその化合物		(0.05)		0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	
6 ヒ素及びその化合物		(0.01)		0.001	0.002	0.001	0.001未満	
7 水銀及び77%水銀その他の水銀化合物		(0.0005)		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
8 アルキル水銀化合物		(検出されないこと)		不検出	不検出	不検出	不検出	
9 ポリ塩化ビフェニル		(検出されないこと)		不検出	不検出	不検出	不検出	
10 ジクロロメタン		(0.02)		0.002満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
11 四塩化炭素		(0.002)		0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	
12 1,2-ジクロロエタン		(0.004)		0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	
13 1,1-ジクロロエチレン		(0.1)		0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	
14 シス-1,2ジクロロエチレン		(0.04)		0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	
15 1,1,1-トリクロロエタン		(1)		0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満	
16 1,1,2-トリクロロエタン		(0.006)		0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	
17 1,3-ジクロロプロペン		(0.002)		0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	
18 チウラム		(0.006)		0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	
19 シマジン		(0.003)		0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	
20 チオベンカルブ		(0.02)		0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
21 ベンゼン		(0.01)		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
22 セレン及びその化合物		(0.01)		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
23 トリクロロエチレン		(0.03)		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
24 テトラクロロエチレン		(0.01)		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
25 ふっ素及びその化合物		(0.8)		0.07	0.10	0.06	0.06	
26 ほう素及びその化合物		(1)		0.02	0.70	0.03	0.03	
27 フモロ、フモノル化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物		(100)		排水基準	2.7	3.6	6.8	0.75
28 1,4-ジオキサン		(0.05)		環境基準	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
29 ダイオキシシン類		pg-TEQ/l		(1以下)	—	0.14	—	—

注) 未満とは、測定できる限界を下回っていることである。

資料：「平成30年度彩の国資源循環工場運営協定に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査）結果」（埼玉県環境部環境整備センターホームページ）

表 5.2-58 水質の経年変化 (No.2 防災調節池に放流する雨水：平成 26 年度～平成 30 年度)

測定項目	単位	比較基準 (参考値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
1 カドミウム及びその化合物	mg/l	(0.003)	0.0005未満	0.0005未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0005未満	
2 シアン化合物		(検出されないこと)	0.05未満	不検出	不検出	不検出	不検出	
3 有機リン化合物		(1)	0.01未満	0.01未満	0.1未満	0.10未満	0.01未満	
4 鉛及びその化合物		(0.01)	0.001未満～0.003	0.001未満～0.003	0.001未満～0.002	0.001未満～0.002	0.001未満～0.002	
5 六価クロム及びその化合物		(0.05)	0.01未満	0.01未満	0.005未満～0.005	0.005未満	0.01未満	
6 ヒ素及びその化合物		(0.01)	0.001～0.002	0.001～0.004	0.001未満～0.002	0.001未満～0.002	0.001未満～0.002	
7 水銀及び7444水銀その他の水銀化合物		(0.0005)	0.0005未満	不検出	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
8 アルキル水銀化合物		(検出されないこと)	0.0005未満	不検出	不検出	不検出	不検出	
9 ポリ塩化ビフェニル		(検出されないこと)	0.0005未満	不検出	不検出	不検出	不検出	
10 ジクロロメタン		(0.02)	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
11 四塩化炭素		(0.002)	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	
12 1,2-ジクロロエタン		(0.004)	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	
13 1,1-ジクロロエチレン		(0.1)	0.01未満	0.01未満	0.002未満	0.002未満	0.01未満	
14 シス-1,2-ジクロロエチレン		(0.04)	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	
15 1,1,1-トリクロロエタン		(1)	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満	
16 1,1,2-トリクロロエタン		(0.006)	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	
17 1,3-ジクロロプロペン		(0.002)	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	
18 チウラム		(0.006)	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	
19 シマジン		(0.003)	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	
20 チオベンカルブ		(0.02)	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
21 ベンゼン		(0.01)	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
22 セレン及びその化合物		(0.01)	0.001未満	0.001未満	0.001未満～0.001	0.001未満	0.001未満	
23 トリクロロエチレン		(0.03)	0.003未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
24 テトラクロロエチレン		(0.01)	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.0005未満	0.001未満	
25 ふっ素及びその化合物		(0.8)	0.06～0.10	0.08～0.16	0.08未満～0.27	0.08～0.15	0.06～0.10	
26 ほう素及びその化合物		(1)	0.02未満～0.07	0.03～0.25	0.10未満0.11	0.10未満～0.11	0.02～0.70	
27 フォス、アモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物		(100)	排水基準	2.8～4.9	2.3～7.5	3.8～20	1.8～8.0	0.75～6.8
28 1,4-ジオキサン		(0.05)	環境基準	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
29 ダイオキシシン類		pg-TEQ/l	(1以下)	0.13	0.16	0.84	0.065	0.14

注1) 未満とは、測定できる限界を下回っていることである。

注2) 各年の値が4回分の幅を示している。

資料：「彩の国資源循環工場運営協定に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査）結果」（埼玉県環境部環境整備センターホームページ）

り) 水質 (13号埋立地南側防災調節池に放流する雨水)

13号埋立地南側防災調節池に放流する雨水の水質の測定結果は表5.2-59に示すとおり、すべての項目、すべての測定期間において比較基準を満たしている。

また、13号埋立地南側防災調節池に放流する雨水の水質の経年変化は表5.2-60に示すとおり、すべての項目、すべての測定期間において比較基準を満たしている。

表5.2-59 水質の測定結果 (No.3 13号埋立地南側防災調節池に放流する雨水：平成30年度)

測定項目	単位	比較基準 (参考値)	第1回	第2回	第3回	第4回		
1 カドミウム及びその化合物	mg/l	(0.003)	環境基準	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
2 シアン化合物		(検出されないこと)		不検出	不検出	不検出	不検出	
3 有機燐化合物		(1)	排水基準	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	
4 鉛及びその化合物		(0.01)	環境基準	0.001	0.001未満	0.001	0.001未満	
5 六価クロム及びその化合物		(0.05)		0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	
6 ヒ素及びその化合物		(0.01)		0.001未満	0.001	0.001未満	0.001未満	
7 水銀及び有機水銀その他の水銀化合物		(0.0005)		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
8 アルキル水銀化合物		(検出されないこと)		不検出	不検出	不検出	不検出	
9 ポリ塩化ビフェニル		(検出されないこと)		不検出	不検出	不検出	不検出	
10 ジクロロメタン		(0.02)		0.002満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
11 四塩化炭素		(0.002)		0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	
12 1,2-ジクロロエタン		(0.004)		0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	
13 1,1-ジクロロエチレン		(0.1)		0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	
14 シス-1,2-ジクロロエチレン		(0.04)		0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	
15 1,1,1-トリクロロエタン		(1)		環境基準	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満
16 1,1,2-トリクロロエタン		(0.006)		0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	
17 1,3-ジクロロプロペン		(0.002)		0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	
18 チウラム		(0.006)		0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	
19 シマジン		(0.003)		0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	
20 チオベンカルブ		(0.02)		0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
21 ベンゼン		(0.01)		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
22 セレン及びその化合物		(0.01)		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
23 トリクロロエチレン		(0.03)		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
24 テトラクロロエチレン		(0.01)		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
25 ふっ素及びその化合物		(0.8)		0.05未満	0.05未満	0.05	0.05	
26 ほう素及びその化合物		(1)		0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	
27 フォス、アモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物		(100)		排水基準	0.54	0.57	0.31	8.7
28 1,4-ジオキサン		(0.05)		環境基準	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
29 ダイオキシン類		pg-TEQ/l		(1以下)	—	0.055	—	—

注) 未満とは、測定できる限界を下回っていることである。

資料：「平成30年度彩の国資源循環工場運営協定に基づく環境調査 (埼玉県による測定・検査) 結果」(埼玉県環境部環境整備センターホームページ)

表 5.2-60 水質の経年変化

(No.3 13号埋立地南側防災調節池に放流する雨水：平成26年度～平成30年度)

測定項目	単位	比較基準 (参考値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
1 カドミウム及びその化合物	mg/l	(0.003)	0.0005未満	0.0005未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0005未満	
2 シアン化合物		環境基準 (検出されないこと)	0.05未満	不検出	不検出	不検出	不検出	
3 有機燐化合物		(1)	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.10未満	0.01未満	
4 鉛及びその化合物		(0.01)	0.001未満～0.003	0.001未満～0.004	0.001未満～0.001	0.001未満～0.002	0.001未満～0.001	
5 六価クロム及びその化合物		(0.05)	0.01未満	0.01未満	0.005未満～0.005	0.005未満	0.01未満	
6 ヒ素及びその化合物		(0.01)	0.001未満～0.001	0.001未満～0.002	0.001未満～0.001	0.001未満	0.001未満～0.001	
7 水銀及び7種の水銀その他の水銀化合物		(0.0005)	0.0005未満	不検出	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
8 アルキル水銀化合物		(検出されないこと)	0.0005未満	不検出	不検出	不検出	不検出	
9 ポリ塩化ビフェニル		(検出されないこと)	0.0005未満	不検出	不検出	不検出	不検出	
10 ジクロロメタン		(0.02)	0.002未満	0.002未満	0.0003未満	0.002未満	0.002未満	
11 四塩化炭素		(0.002)	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	
12 1,2-ジクロロエタン		(0.004)	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	
13 1,1-ジクロロエチレン		(0.1)	0.01未満	0.01未満	0.002未満	0.002未満	0.01未満	
14 1,1,2,2-テトラクロロエタン		(0.04)	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	
15 1,1,1-トリクロロエタン		(1)	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満	
16 1,1,2-トリクロロエタン		(0.006)	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	
17 1,3-ジクロロプロペン		(0.002)	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	
18 チウラム		(0.006)	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	
19 シマジン		(0.003)	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	
20 チオベンカルブ		(0.02)	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
21 ベンゼン		(0.01)	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
22 セレン及びその化合物		(0.01)	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
23 トリクロロエチレン		(0.03)	0.003未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
24 テトラクロロエチレン		(0.01)	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.0005未満	0.001未満	
25 ふっ素素及びその化合物		(0.8)	0.05未満～0.08	0.02未満～0.06	0.08未満～0.11	0.08未満	0.05未満～0.05	
26 ほう素素及びその化合物		(1)	0.02未満	0.02～0.15	0.10未満	0.10未満	0.02未満	
27 フッ素、亜硝酸化合物、亜硫酸化合物及び硝酸化合物		(100)	排水基準	0.40～1.3	0.46～2.4	0.6～2.1	0.91～1.6	0.31～8.7
28 1,4-ジオキサン		(0.05)	環境基準	0.005未満	0.005未満	0.005未満～0.005	0.005未満	0.005未満
29 ダイオキシン類		pg-TEQ/l	(1以下)	0.12	0.7	0.25	0.053	0.055

注1) 未満とは、測定できる限界を下回っていることである。

注2) 各年の値が4回分の幅を示している。

資料：「彩の国資源循環工場運営協定に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査）結果」（埼玉県環境部環境整備センターホームページ）

### 1) 生活排水（全工場の生活排水合流後の最終排水）

全工場の生活排水合流の最終排水の水質の測定結果は表 5. 2-61 に示すとおり、すべての項目において比較基準を満たしている。

また、全工場の生活排水合流の最終排水の水質の経年変化は表 5. 2-62 に示すとおり、すべての項目において比較基準を満たしている。

表 5. 2-61 水質の測定結果 (No.4 全工場の生活排水合流後の最終排水：平成 30 年度)

測定項目		単位	比較基準（参考値）	測定結果
1	銅及びその化合物	mg/l	(3)	0.01未満
2	亜鉛及びその化合物		(2)	0.049
3	クロム化合物		(2)	0.10未満
4	フェノール化合物		(1)	0.007
5	鉄及びその化合物		—	0.10未満
	溶解性鉄含有量		(10)	0.10未満
6	マンガン及びその化合物		—	0.03
	溶解性マンガン含有量	(10)	0.02	
7	ふっ素化合物		(8)	0.06
8	水素イオン濃度 (pH)	—	5.8～8.6	7.0
9	生物化学的酸素要求量		20 (日間平均)	4.7
10	化学的酸素要求量	mg/l	(160)	26
11	浮遊物質		(60)	1.7
12	ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類含有量)		(5)	0.5未満
13	ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油含有量)		(30)	2.5未満
14	窒素含有量		(120)	59
15	りん含有量		(16)	6.3

注) 未満とは、測定できる限界を下回っていることである。

資料：「平成30年度彩の国資源循環工場運営協定に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査）結果」（埼玉県環境部環境整備センターホームページ）

表 5.2-62 水質の経年変化

(No.4 全工場の生活排水合流後の最終排水：平成26年度～平成30年度)

測定項目		単位	比較基準（参考値）	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1	銅及びその化合物	mg/l	(3)	0.01未満	0.01未満	<0.01	0.01未満	0.01未満
2	亜鉛及びその化合物		(2)	0.028	0.028	0.040	0.033	0.049
3	クロム化合物		(2)	0.10未満	0.10未満	<0.02	0.02未満	0.10未満
4	フェノール化合物		(1)	0.0005未満	0.0005未満	<0.01	0.01未満	0.007
5	鉄及びその化合物		—	0.13	0.10未満	0.1	0.17	0.10未満
	溶解性鉄含有量		(10)	0.10未満	0.10未満	0.1	0.10未満	0.10未満
6	マンガン及びその化合物		—	0.02	0.01	<0.10	0.10未満	0.03
	溶解性マンガン含有量		(10)	0.02	0.01	<0.10	0.10未満	0.02
7	ふっ素化合物		(8)	0.11	0.06	0.09	0.11	0.06
8	水素イオン濃度(pH)		—	5.8～8.6	7.5	7.5	7.2	6.6
9	生物学的酸素要求量	mg/l	20（日間平均）	9.7	19	3.3	7.9	4.7
10	化学的酸素要求量		(160)	20	25	16	19	26
11	浮遊物質		(60)	1.0	2.5	<1.0	7.4	1.7
12	ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類含有量)		(5)	0.5未満	0.5未満	<0.5	0.5未満	0.5未満
13	ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油含有量)		(30)	2.5未満	2.5未満	<2.5	2.5未満	2.5未満
14	窒素含有量	(120)	56	67	61	41	59	
15	りん含有量	(16)	5.0	6	7.3	4.2	6.3	

注) 未満とは、測定できる限界を下回っていることである。

資料：「彩の国資源循環工場運営協定に基づく環境調査（埼玉県による測定・検査）結果」（埼玉県環境部環境整備センターホームページ）

### ③ 苦情の状況

計画地のある寄居町において、令和元年度における水質汚濁に関する公害苦情は8件であり、総件数（34件）の約24%を占めている（表5.2-36参照）。

### (3) 土壌及び地盤の状況

#### 1) 土 壌

##### ① 農用地における土壌汚染

埼玉県では、農用地における土壌汚染を把握するため、銅、砒素、カドミウムについての調査を昭和46年から5年に一度行っている。

調査結果は表5.2-63に示すとおりであり、すべての項目、調査地点において「農用地の土壌の汚染防止等に関する法律」に基づく農用地土壌汚染対策地域の指定要件に係る基準値を達成している。

表 5.2-63 農用地の土壌汚染状況調査の分析測定結果

調査年度		調査地点の分析測定結果											
		土壌中（乾物）								玄米中（現物）			
		銅（基準値125mg/kg）				砒素（基準値15mg/kg）				カドミウム（基準値0.4mg/kg）			
		最高	最低	平均	調査地点	最高	最低	平均	調査地点	最高	最低	平均	調査地点
一巡目	(S54~57) 全県	32.3	0.1	11.3	90	11.8	tr	1.9	90	0.37	0.02	0.11	46
二巡目	(S59~62) 全県	23.6	0.1	9.0	90	5.3	tr	1.4	90	0.30	nd	0.09	48
三巡目	(H元~4) 全県	21.6	0.3	9.3	90	8.0	tr	1.8	90	0.38	tr	0.09	46
四巡目	(H6~9) 全県	28.7	0.2	9.4	87	13.1	tr	2.2	87	0.30	tr	0.06	31
五巡目	(H11~14) 全県	30.8	0.1	11.2	180	11.3	0.1	2.0	180	0.28	tr	0.09	50
六巡目	(H16~19) 全県	21.5	tr	8.9	180	6.4	0.1	1.7	180	0.31	tr	0.06	47
七巡目	(H21~24) 全県	21.7	tr	9.5	165	7.9	tr	1.7	165	0.22	tr	0.03	43
八巡目	(H26~29) 全県	25.5	0.1	9.1	118	10.5	0.2	2.5	118	0.29	tr	0.05	31

注1) ndは検出限界以下、trは極微量検出を示す。

注2) 農用地の土壌汚染状況を把握するため、農林総合研究センターでは、県内90調査地点を定め、5年1巡で調査を実施している。

注3) 県農業技術研究センターの分析測定結果で、昭和58年、63年、平成5年、10年、15年、20年、25年は各調査巡の取りまとめ年である。

資料：「平成30年版 埼玉県環境白書（資料編）」（平成30年12月、埼玉県環境部環境政策課）

## ② ダイオキシン類による土壌汚染の状況

埼玉県では、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、土壌の常時監視を行っている。関係市町村内では平成 16 年度に調査が行われており、調査結果は表 5.2-64 に示すとおりである。ダイオキシン類濃度は、すべての調査地点において環境基準値を下回っている。

表 5.2-64 ダイオキシン類濃度の調査結果

単位：pg-TEQ/g

調査区分	測定機関	調査地点		採取日	調査結果	環境基準
一般環境把握調査	埼玉県	東秩父村大字御堂	東秩父村役場	平成16年度	9	1,000
		寄居町大字用土	諏訪公園		0.27	
	市町村	寄居町大字寄居	菅原公園		2.8	
		寄居町大字折原	運動公園		3.3	
発生源周辺状況把握調査	埼玉県	小川町東小川	町立上野台中学校		0.034	
		小川町東小川	小川東第 9 公園		3	
		小川町下里	下沼		5	
		小川町下里	下里 3 区区民センター	0.75		
		小川町東小川	小川東第 7 公園	9.1		
		小川町小川	東中学校	1		

資料：「平成16年度土壌ダイオキシン類常時監視概要」（埼玉県環境部水環境課ホームページ）

## ③ 土壌の分布状況

計画地及びその周辺の土壌図は、図 5.2-26 に示すとおりである。

計画地は、主として山地、丘陵地の土壌である三ヶ山 1 統、その他、台地、低地の土壌である三ヶ山 2 統が分布している。計画地周辺は、主として山地、丘陵地の土壌である金勝山 1 統、三ヶ山 1 統、その他、台地、低地の土壌である三ヶ山 2 統が分布している。

なお、計画地は、「彩の国資源循環工場整備事業」に伴い造成された土地となっている。

## ④ 苦情の状況

計画地のある寄居町において、令和元年度における土壌に関する公害苦情は、総件数 34 件数のうち 0 件であった（表 5.2-36 参照）。



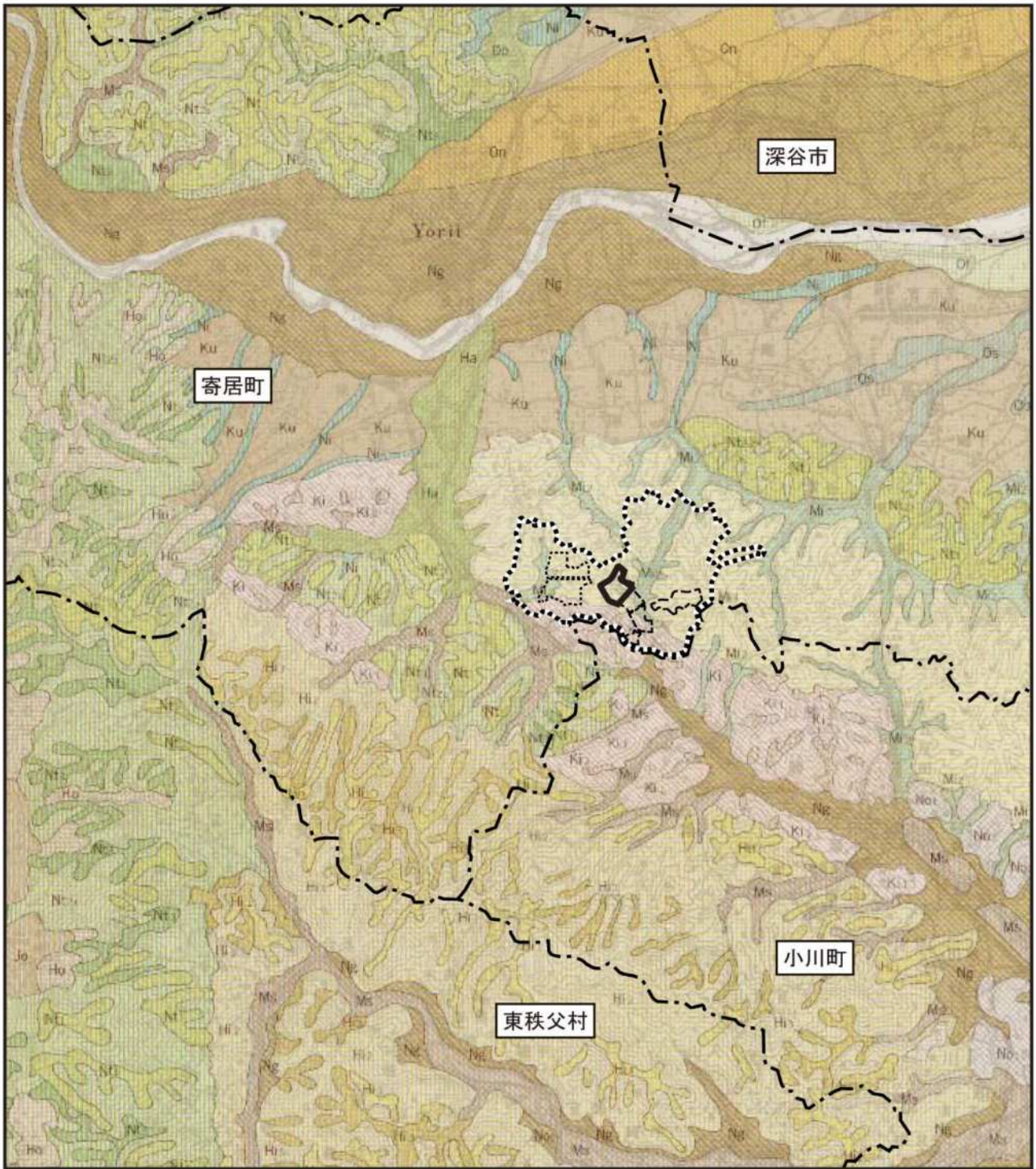


図 5.2-26 土壌図

## 2) 地 盤

### ① 地盤沈下の状況

関係市町村においては、地盤の水準測量調査が行われており、調査結果は表 5.2-65 に、調査地点は図 5.2-27 に示すとおりである。

過去 5 年間の地盤標高の変動量は、-1.6～+1.2 mm の範囲である。

表 5.2-65 地盤標高の変動量の推移

町名	図中番号	所在地		調査開始年月日	各年別変動量 (mm)					過去5年間の変動量 (mm)	調査開始年からの変動量 (mm)	平成31.1.1の真高 (T.P.) (m)
		町(字)名	目標		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年			
寄居町	54-26	赤浜723	出雲乃伊波比神社	55.1.1	+1.7	-1.1	+1.8	+0.5	-1.7	+1.2	-18.2	100.9461
	54-27	保田原18-1	波羅伊門神社	55.1.1	+2.0	-1.8	0.0	+1.0	-1.9	-0.7	-22.1	90.2334
	746	寄居町桜沢295-1地先	寄居町農協倉庫前	55.1.1	+0.8	-0.8	-1.3	+0.7	-1.0	-1.6	-101.9	96.2474
	埵基-1	鉢形848-8	寄居林業事務所入口	55.1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.9	97.3029
	寄居基-2	寄居町寄居598-1	正喜橋、雀宮公園	56.1.1	-0.1	0.0	-0.9	+1.4	-0.7	-0.3	-13.2	90.3386

注1) 図中番号は、図5.2-27の番号と対応する。

注2) 各年1月1日の値を前年度と比較した。

注3) 変動量は、「-」記号が沈下を、「+」記号が上昇を示す。

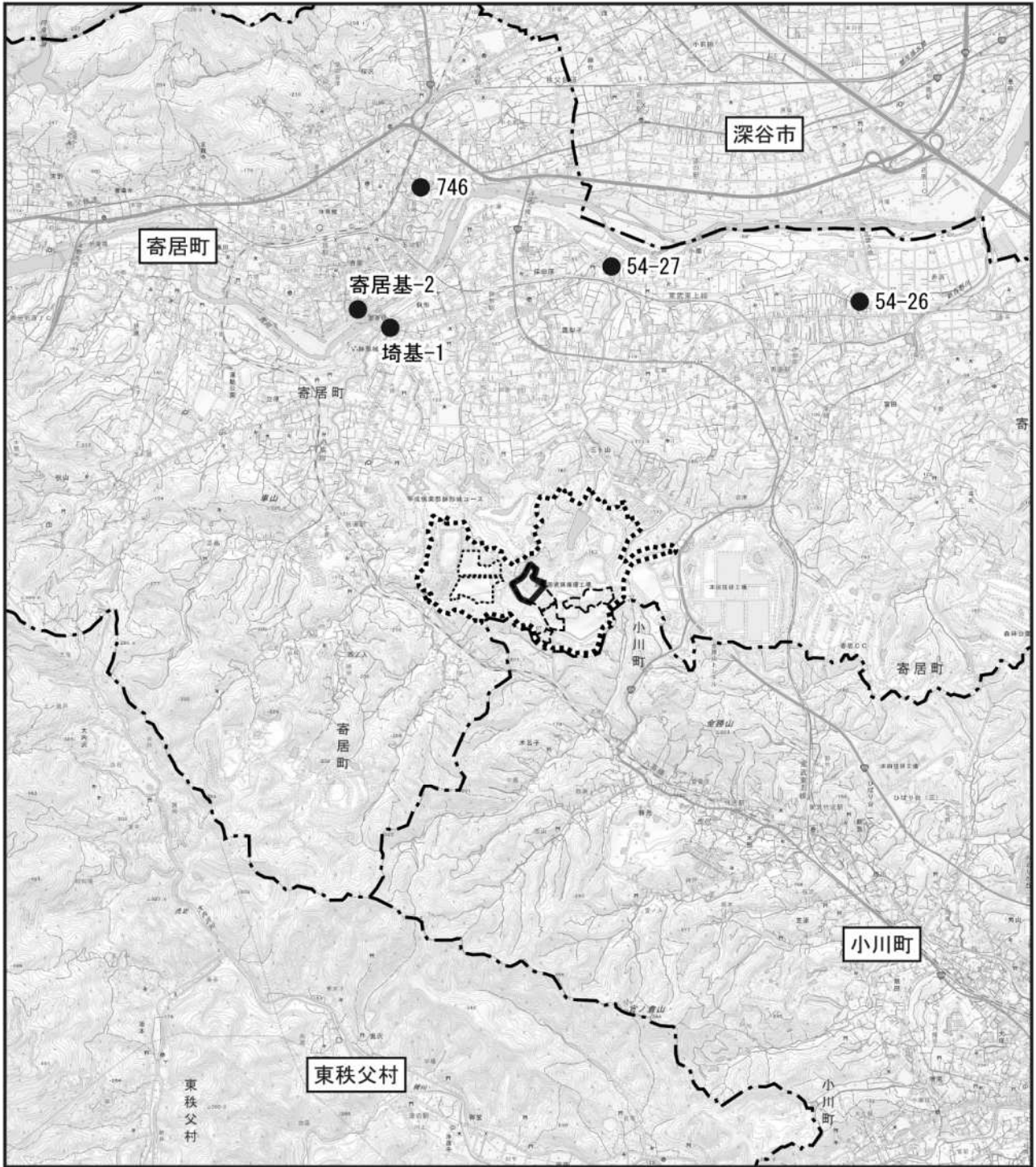
注4) 過去5年間の変動量及び調査開始年からの変動量は、各年別変動量の累計を示す。

資料：「平成30年度 水準測量成果表等について」（令和元年8月、埼玉県環境部水環境課）

### ② 苦情の状況

計画地のある寄居町において、令和元年度における地盤沈下に関する公害苦情は、総件数 34 件数のうち 0 件であった（表 5.2-36 参照）。





この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。

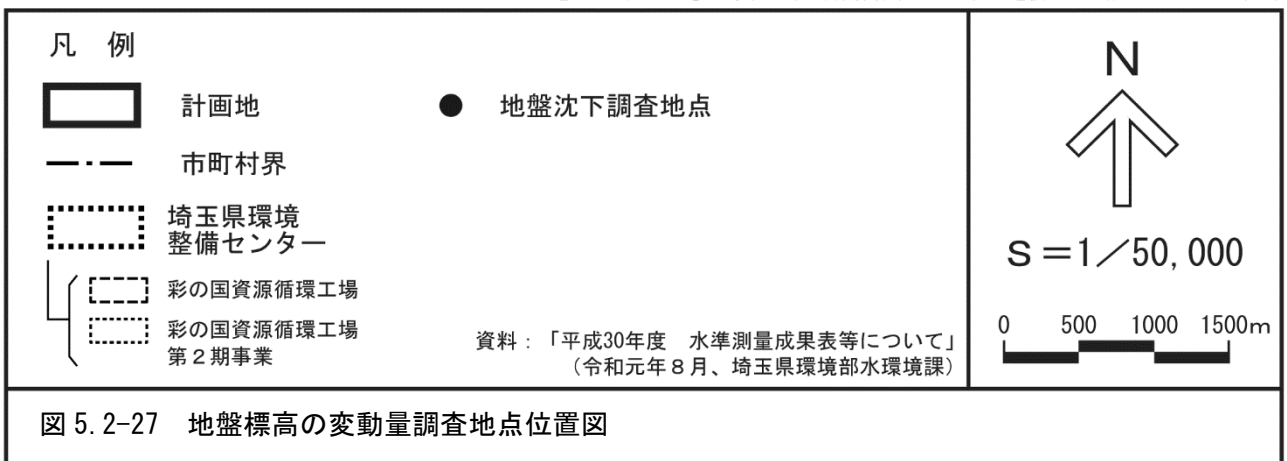


図 5.2-27 地盤標高の変動量調査地点位置図

#### (4) 地形及び地質の状況

##### ① 地形の状況

計画地及びその周辺の地形分類図は、図 5. 2-28 に示すとおりである。

計画地は、急斜面に位置している。計画地周辺は、広範囲に急斜面であり、関山川、天神沢川及び五の坪川にそっては谷底平野が広がり、一部が台地及び段丘となっている。

なお、計画地は、「彩の国資源循環工場整備事業」に伴い造成された土地となっている。

##### ② 地質の状況

計画地及びその周辺の表層地質図は、図 5. 2-29 に示すとおりである。

計画地の地質は、固結堆積物及び深成岩となっており、礫岩及び花崗質岩が堆積している。計画地周辺の地質は、固結堆積物、深成岩及び変成岩となっており、緑色片岩、礫岩及び花崗質岩が堆積している。

なお、計画地は、「彩の国資源循環工場整備事業」に伴い造成された土地となっている。



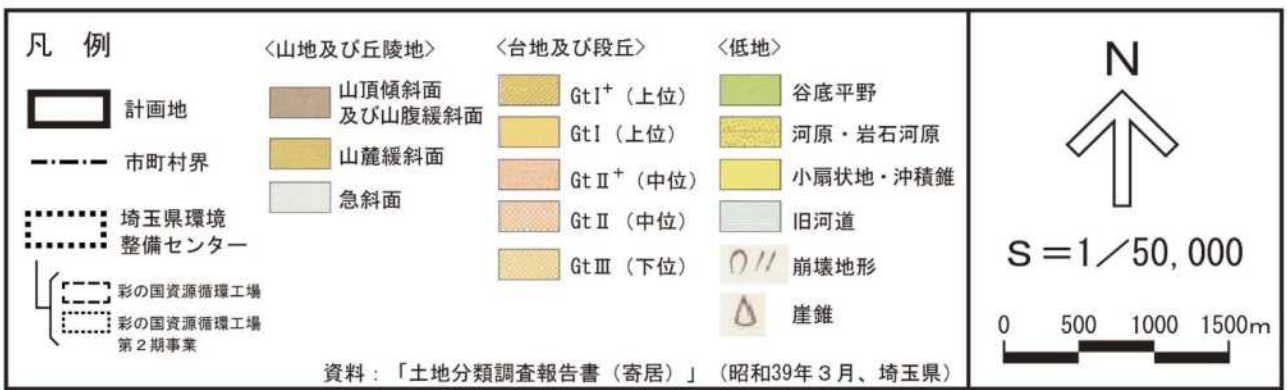
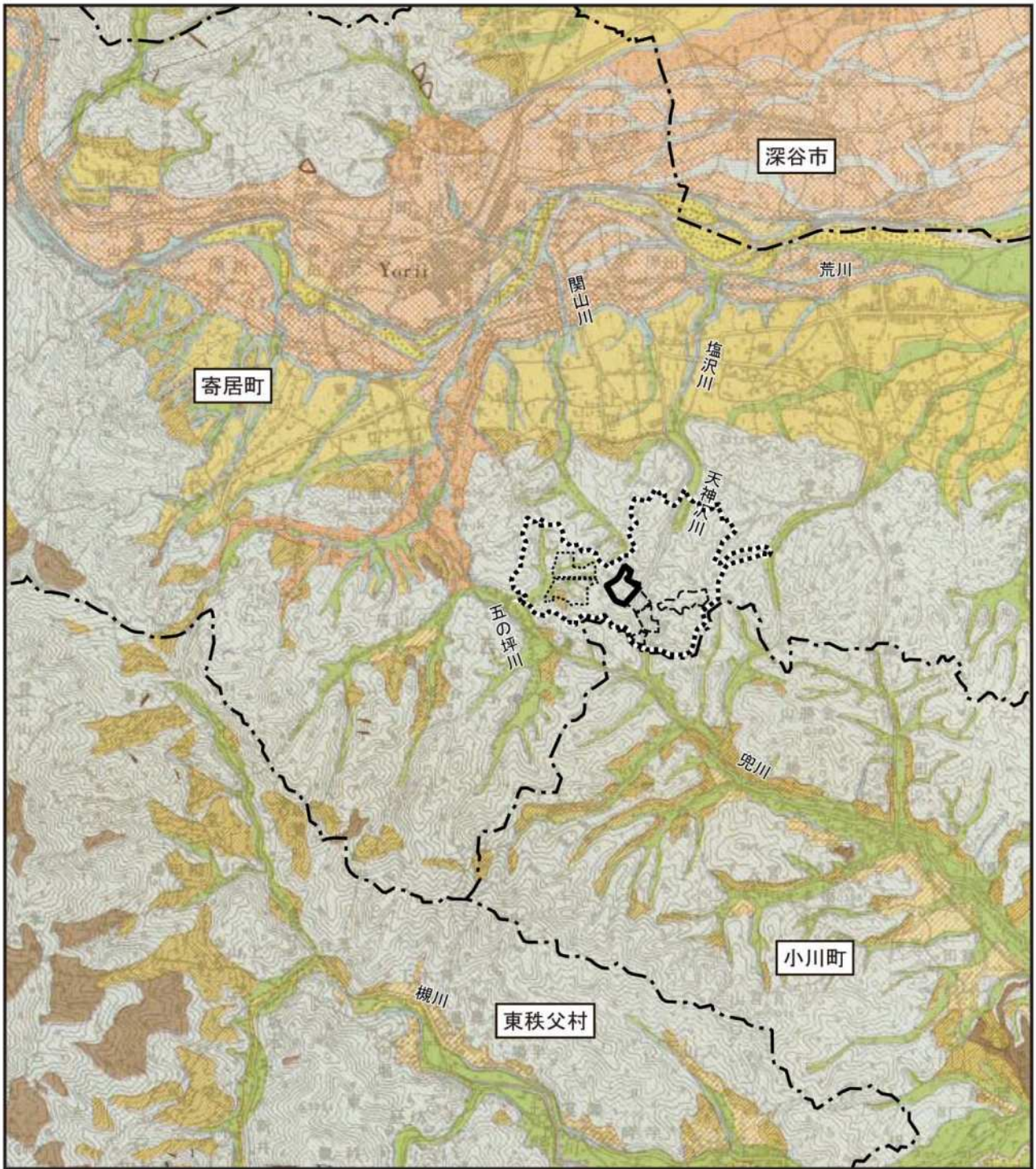


図 5.2-28 地形分類図



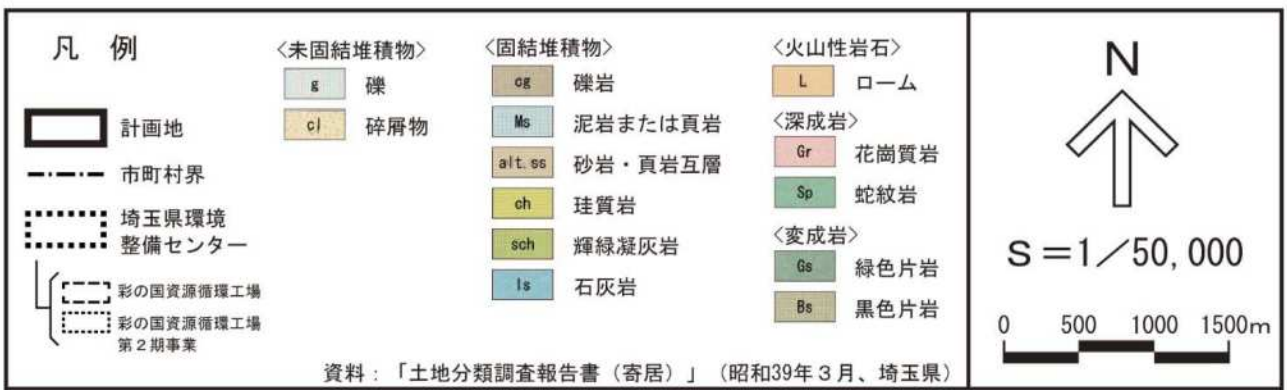
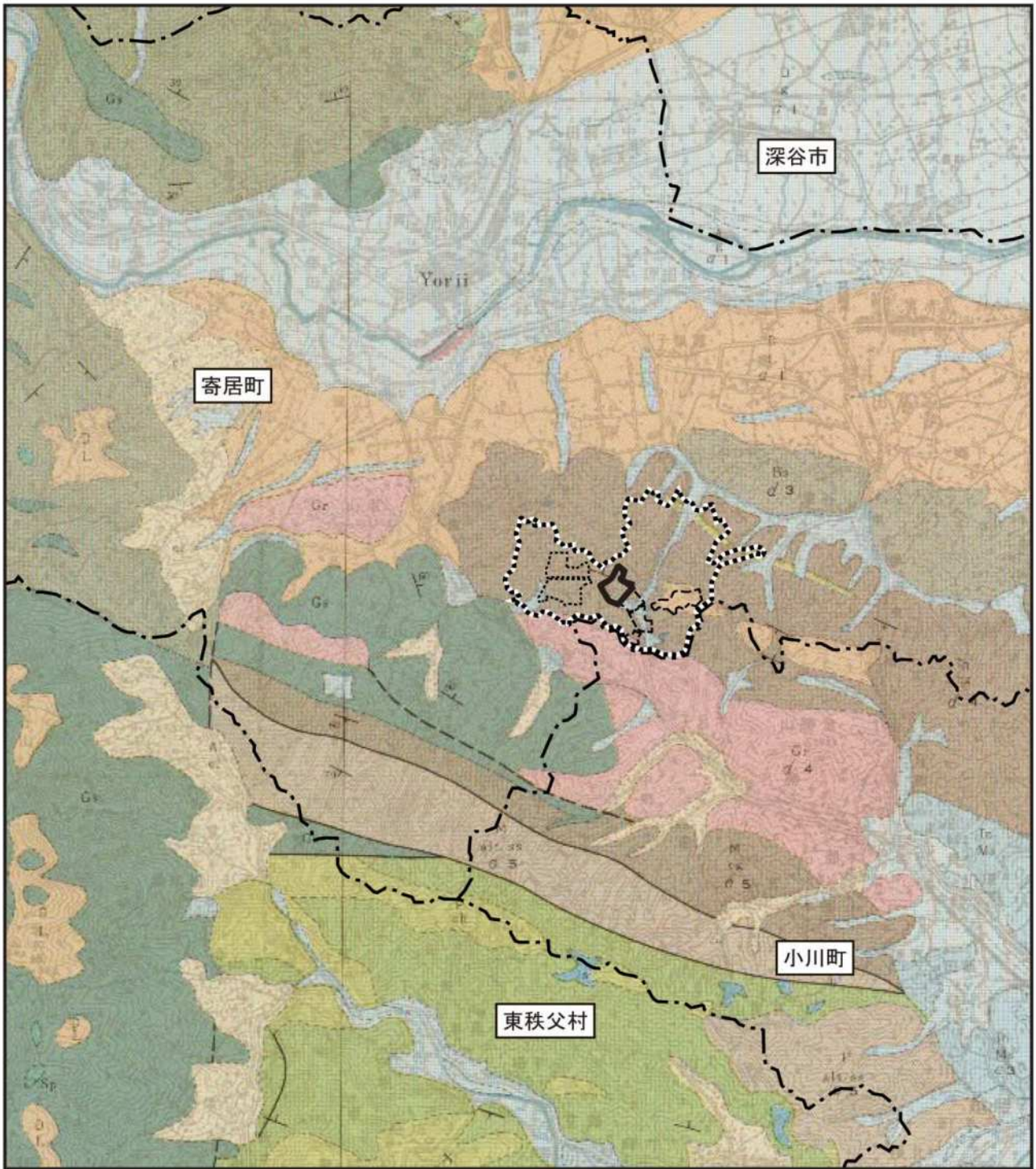


図 5.2-29 表層地質図

## (5) 動物の生息、植物の生育、植生、緑の量及び生態系の状況

計画地は、彩の国資源循環工場内の既存施設（サーマルリサイクル施設）として利用しており、本事業はこの施設の更新工事である。計画地内に整備された植栽等は計画的に維持・管理されており、現存する動物・植物は市街地に普通に見られるものである。

計画地周辺には樹林等が分布しており、動物・植物の分布域となっていると考えられる。

以下には、計画地及びその周辺の動物・植物の状況について概説する。

### 1) 動物

#### ① 注目すべき動物種の分布状況

計画地は、彩の国資源循環工場内の既存施設として利用しており、注目すべき動物種の分布域ではない。

計画地周辺には樹林等が分布しており、注目すべき動物種の分布域となっている可能性がある。

### 2) 植物

#### ① 注目すべき植物種の分布状況

計画地は、彩の国資源循環工場内の既存施設として利用しており、注目すべき植物種の分布域ではない。

計画地周辺には樹林等が分布しており、注目すべき植物種の分布域となっている可能性がある。

### 3) 生態系

計画地内は、工場棟、倉庫、処理施設及び構内道路・駐車場から構成される人為的環境となっており、構内道路脇、建物の周辺に生育する生産者としての植物、人為的な環境に生息可能な消費者としての動物から構成される生態系が存在するものの、注目すべき動植物種の分布域ではなく、地域を特徴づけるような生態系は形成されていない。

計画地周辺には樹林等が分布しており、地域を特徴づける生態系が形成されている可能性がある。

## (6) 景観、自然とのふれあいの場の状況

### 1) 景観

#### ① 地域景観の状況

計画地及びその周辺の地形は、起伏が激しくその間をいくつもの河川が流れ、ため池も多くみられる。

計画地の北側に荒川が、東南側に兜川が、西南側に大内沢川が流れ、計画地東側に国道254号が、計画地西側に一般県道坂本寄居線が通っており、鉄道は計画地の東側に東武東上線及び西側にJR八高線が通っている。

計画地を含む彩の国資源循環工場の土地利用状況は主に工業用地（リサイクル施設用地）であり、彩の国資源循環工場の東側にはホンダ寄居工場が立地している。また、彩の国資源循環工場の北側から北東側には集落、南から西側には山林及び集落、北西側にはゴルフ場が立地している。

#### ② 景観資源及び主要な眺望点の状況

計画地及びその周辺の景観資源は表5.2-66に、主要な眺望地点は表5.2-67に、位置は図5.2-30に示すとおりである。

計画地最寄りの景観資源としては、東南側約2.4kmにある東武鉄道東武竹沢駅駅舎がある。

計画地周辺の主要な眺望点としては、三ヶ山緑地公園や男衾自然公園などがある。なお、計画地が位置する埼玉県環境整備センターの周囲は丘陵地の尾根や樹林に囲まれており、周辺から計画地を眺望できる場所は高台等に限られている。

表 5.2-66 計画地及びその周辺の景観資源

図中番号	町村名	区分	景観資源名称	所在地
■1	小川町	建築物	割烹旅館二葉本店本館	小川町大塚
■2	小川町	建築物	小川町立図書館	小川町大塚
■3	小川町	建築物	東武鉄道東武竹沢駅駅舎	小川町大字韮負字根岸山地内
■4	東秩父村	建築物	細川紙紙すき家屋	東秩父村御堂

注) 図中番号は、図5.2-30の番号と対応する。

資料：「景観資源データベースシステム」（埼玉県都市整備部田園都市づくり課ホームページ）



表 5.2-67 計画地及びその周辺の主要眺望地点

図中番号	所在地	名称	概要
●5	寄居町	三ヶ山緑地公園	陸上競技用 400mトラック、全面芝生張りの多目的広場のほか、寄居町が一望できる展望台「風のとりで」、円形広場、ちびっこ広場、あずまや等が配置されている。
●6	寄居町	男衾自然公園	平成 23 年に開園した公園である。大字富田にある標高約 171 メートルの里山に、遊歩道や山頂展望場所などが整備されている。
●7	寄居町	中間平緑地公園展望台	長瀬玉淀県立自然公園内に位置し、寄居町西部にある関東平野を一望できる展望台である。
●8	寄居町	鉢形城公園	園内の遊歩道は、深沢川が織りなす溪谷やカタクリ群生地、寄居町指定天然記念物エドヒガンの元を巡り、四季折々の景観が楽しめる公園である。
●9	寄居町	寄居町役場	寄居町役場は平成 6 年に寄居駅の北側に新築移転された 7 階建ての公共施設である。7 階には計画地方面を眺望できる場所がある。
●10	小川町	埼玉県立小川げんきプラザ	金勝山（263m）の山頂を中心にした広い敷地内に、宿泊施設やプラネタリウム館、野外活動施設等がある。

注) 図中番号は、図5.2-30の番号と対応する。

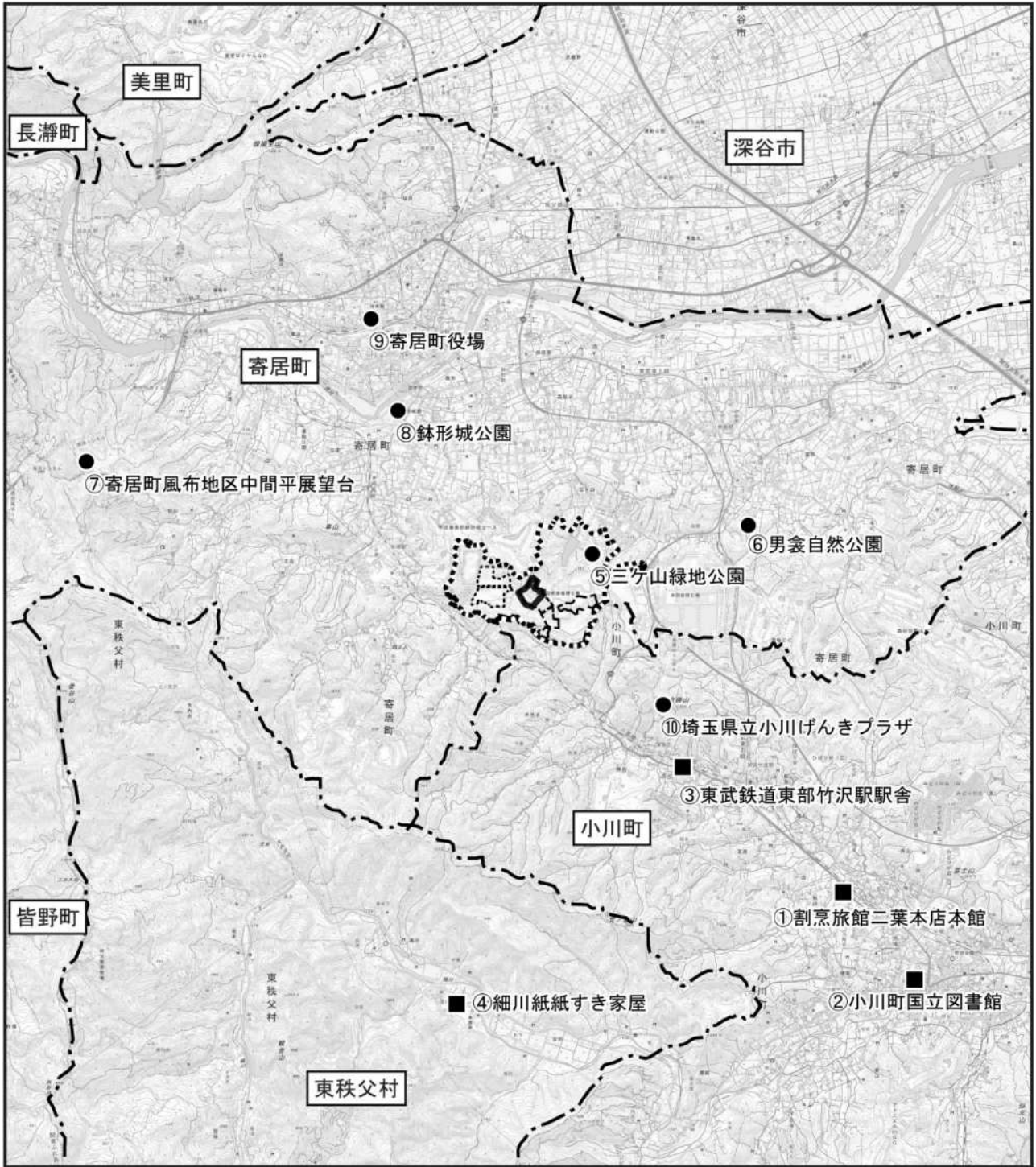
資料：「三ヶ山緑地公園」（埼玉県環境部環境整備センターホームページ）

「広報よりい（平成29年4月号）」（平成29年4月、寄居町総務課）

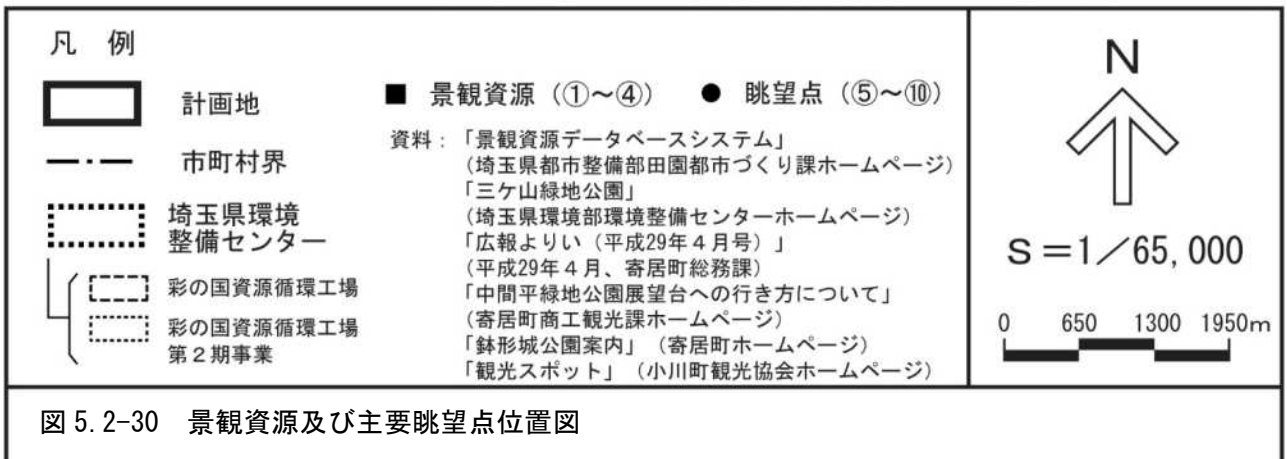
「中間平緑地公園展望台への行き方について」（寄居町商工観光課ホームページ）

「鉢形城公園案内」（寄居町ホームページ）

「観光スポット」（小川町観光協会ホームページ）



この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。



### ③ 自然とのふれあいの場

計画地及びその周辺の自然とのふれあいの場は表 5.2-68(1)～(3)に、位置は図 5.2-31に示すとおりである。

計画地に近い自然とのふれあいの場としては、西側約 1,500mに車山遊歩道が、北西側約 1,400mに愛宕山コースが、北東側約 1,200mに天神山遊歩道が、南東側約 1,400mに竹沢公民館周回コースがある。また、公園等は北東側約 800mに位置する三ヶ山緑地公園がある。

表 5.2-68(1) 計画地及びその周辺の主要な自然とのふれあいの場(ハイキングコース・遊歩道)

区分	名称	図中番号	概要
ハイキングコース	愛宕山コース	A	愛宕神社のある山への道と、見どころを結ぶ川沿いの遊歩道を巡る約 3 kmのコースである。
	車山コース	B	折原駅から稲荷神社を經由し、標高 224mの鉢形城を見下ろす車山を回る約 5.5 kmのコースである。
	天神山コース	C	男衾駅から鎮守の森として地元の人々に親しまれてきた天神山を右側に眺めながら、埼玉県立川の博物館までを巡る約 5.7 kmのコースである。
	荒川河辺部コース	D	鉢形城跡からスタートするコースで、荒川に沿って豊かな自然の緑と水とのふれあいをゆっくり楽しみながら、鉢形河原、浄福寺、かわせみ河原を巡り、埼玉県立川の博物館まで散策できる約 3 kmのコースである。
	高根山コース	E	寄居町から高根山山頂を經由し鐘撞堂山までを巡る約 3.5kmのコースである。
	八幡山コース	F	桜沢駅から八幡山、八幡大神社、鐘撞堂山をめぐる円良田コースと接続する約3.5kmのコースである。
	竹沢公民館周回コース	G	兜川の川沿いを巡るコースで、ゲートボール場、津島神社などを巡る約 3.3 kmのコースである。
	東武竹沢駅周回コース	H	兜川の川沿いを巡るコースで、雲龍寺を巡る、約 2.7 kmのコースである。
	東武竹沢駅～国道 254 バイパス周回コース	I	東武竹沢駅東口から国道 254 号バイパス沿いを經由し、緑を眺める、約 2 kmのコースである。
	官ノ倉山ハイキングコース	J	東武竹沢駅から安照寺、慈恩院、三光神社、長福寺、穴八幡古墳などを巡る、約 9.5km のコースである。
	官ノ倉臼入山ハイキングコース	K	槻川の川沿いを巡るコースで、ふれあいひろばなどを巡る、約 6.2 kmのコースである。
遊歩道	玉淀コース(ふるさと歩道)	L	荒川の川沿いを巡るコースで、玉淀河原、雀宮公園、少林寺、正龍寺、宗像神社などの寺を巡る約 8.2 kmのコースである。
	男衾コース(ふるさと歩道)	M	由緒ある古刹を巡るコースで、長昌寺、普光寺、常楽寺などの寺を巡る約 11.2 kmのコースである。
	鉢形コース(ふるさと歩道)	N	寄居町内を巡るコースで、国指定史跡鉢形城跡とみかん狩りが楽しめる約 21 kmのコースである。
	円良田コース(ふるさと歩道)	O	寄居町内を巡るコースで、円良田湖と少林寺などなどを巡る約 8 kmのコースである。

注1：図中番号は、図5.2-31の番号と対応する。

注2：小川町ハイキングコースは、バスルートは除いた。

資料：「ふるさと歩道・寄居ハイキングコース」(寄居町商工観光課ホームページ)

「小川町健康長寿ウォーキングマップ」(小川町健康福祉課ホームページ)

「小川町ロードマップ・タウンガイド」(小川町観光協会ホームページ)

「東秩父村観光マップ」(東秩父村公式観光サイト)

表 5. 2-68 (2) 計画地及びその周辺の主要な自然とのふれあいの場（公園）

区分	名称	図中 番号	概要
公園	三ヶ山緑地公園	■1	公園の周辺には水辺テラスや遊歩道が設置されているほか、公園内には桜、つつじ等の花植木が植栽され、周辺の豊かな自然と調和した美しい景観を作り出している。
	寄居運動公園	■2	町民のスポーツ振興やレクリエーション、体力向上、健康増進を図るための施設で、野球場・多目的広場・テニスコートがある。
	鉢形城公園	■3	公園内の遊歩道は、深沢川が織りなす溪谷やカタクリ群生地、寄居町指定天然記念物エドヒガンの元を巡り、四季折々の景観が楽しめる公園である。
	あまがすはら公園	■4	段差のある公園で、上段は平地でボール遊びができ、下段はすべり台やブランコなどの遊具がある。
	鉄砲宿公園	■5	固定遊具は少ないが、遊びスペースが整地されており、すべり台やシーソーを設置している公園である。
	南柏田公園	■6	十分な木陰があり、住宅の中で静かな公園である。幼児向けの遊具も充実している。
	秋の雀宮公園	■7	七代目松本幸四郎別邸跡地になっており、ハイカーや地元の人憩いの場となっている。公園の周辺には、「ふるさと文学碑歩道」が設定されており、11月中旬から紅葉を眺める。
	深田第1公園	■8	緑地広場が広がっており、休日はピクニックに来た子ども連れの家族などで賑わう。
	深田第2公園	■9	テニスコート、リッキースポーツ広場、児童公園などが揃っている。
	通木公園	■10	シーソーや鉄棒などを設置している公園である。
	花園水辺公園	■11	荒川の川沿いにある公園で、公園からの眺望（荒川）ができる。
	中間平緑地公園	■12	展望台からは関東平野が一望できる。桜を始め、つつじやもみじなど、季節の表情を楽しむことができる

注) 図中番号は、図5. 2-31の番号と対応する。

資料：「三ヶ山緑地公園」（埼玉県環境部環境整備センターホームページ）

「寄居運動公園」（寄居町ホームページ）

「鉢形城公園フィールドマップ」（寄居町ホームページ）

「子育て応援ブック」（寄居町子育て支援課ホームページ）

「寄居写真館（秋の雀宮公園）」（寄居町商工観光課ホームページ）

「おがわ（施設）マップ」（小川町ホームページ）

「深谷市内の運動施設」（深谷市ホームページ）

表 5.2-68(3) 計画地及びその周辺の主要な自然とのふれあいの場（その他の施設）

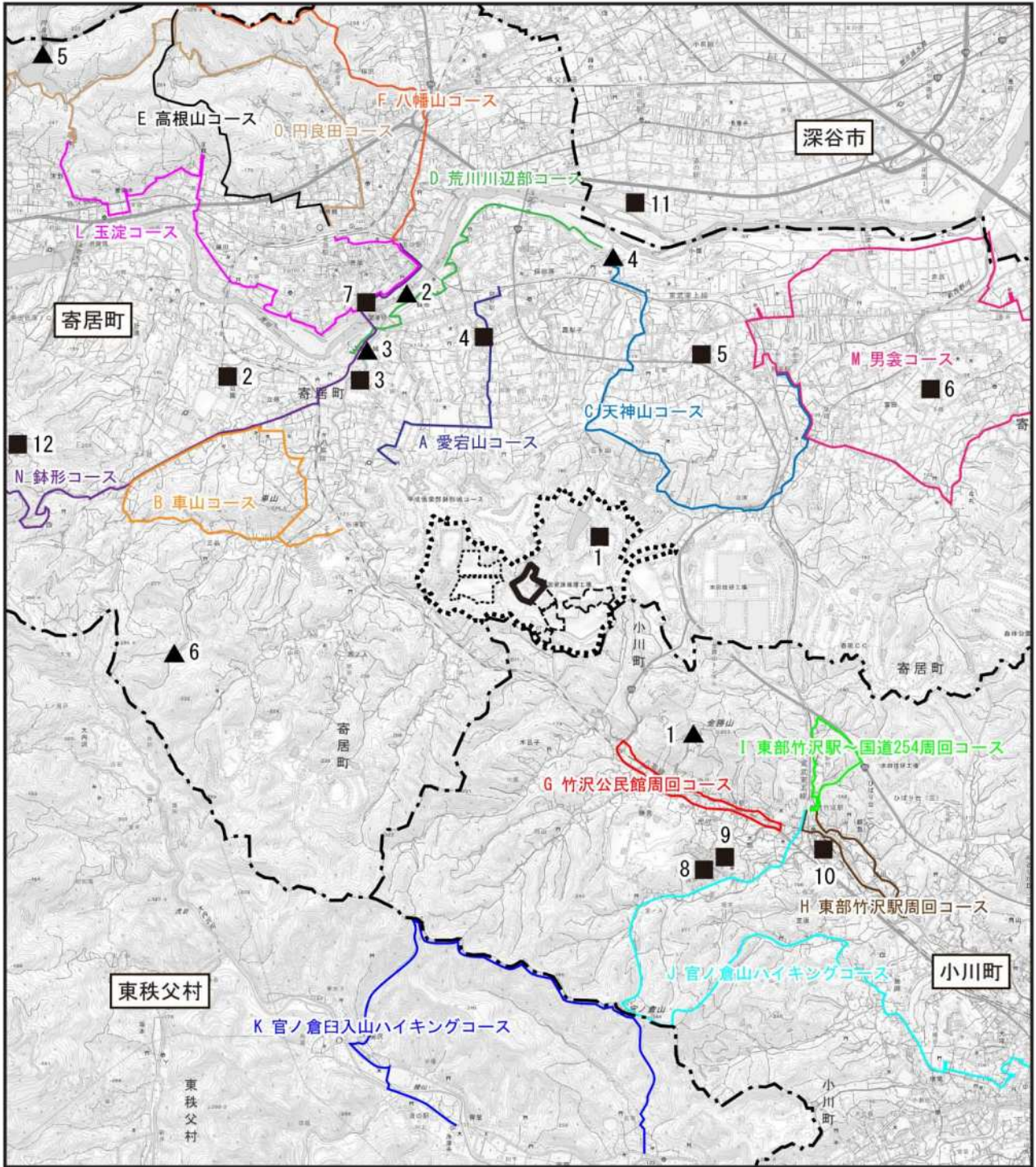
区分	名称	図中 番号	概要
その他の施設	埼玉県立小川げんきプラザ	▲1	キャンプ場、プラネタリウム等があり、自然の体験学習とキャンプができる。
	玉淀	▲2	荒川の清流に沿った道路に桜並木があり、桜の名所となっている。また、季節により、鮎、ウグイ、ハヤ、鯉などの釣り場として人気がある。
	深沢川の四十八釜	▲3	深沢川一円にある天然の深淵で、自然の作用によって川底の岩にたくさんの深淵ができたのを釜穴と称し、代表的なものが48存在する。鉢形城跡の内堀であった深沢川一帯は、住宅地に隣接していながら、自然の渓谷美を堪能することができる。
	かわせみ河原	▲4	春から秋にかけては、カヌーやオートキャンプ等のアウトドアを楽しむ人たちで賑わい、冬には白鳥が飛来する。
	円良田湖	▲5	灌漑用の人造湖。桜の名所として知られ、春には125千本の吉野桜が湖周辺に咲きそろう。周囲4.3kmの散策コースもある。また、ヘラブナ、ワカサギ釣り場としても楽しめる。
	猪ノ倉仙元名水	▲6	猪ノ倉の地に湧き出る名水。近くには寄居町観光ぶどう園等もあり、年間を通してハイキング客などが名水を求めて訪れています。

注) 図中番号は、図5.2-31の番号と対応する。

資料：「県立小川げんきプラザ」（埼玉県ホームページ）

「寄居町観光施設・名所」（寄居町ホームページ）





この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。

<b>凡例</b> 計画地 市町村界 埼玉県環境整備センター 彩の国資源循環工場 彩の国資源循環工場第2期事業		公園（1～12） その他の施設（1～6）	<b>資料：</b> 「ふるさと歩道・寄居ハイキングコース」（寄居町商工観光課ホームページ） 「小川町健康長寿ウォーキングマップ」（小川町健康福祉課ホームページ） 「小川町ロードマップ・タウンガイド」（小川町観光協会ホームページ） 「東秩父村観光マップ」（東秩父村公式観光サイト） 「三ヶ山緑地公園」（埼玉県環境部環境整備センターホームページ） 「寄居運動公園」（寄居町ホームページ） 「鉢形城公園フィールドマップ」（寄居町ホームページ） 「子育て応援ブック」（寄居町子育て支援課ホームページ） 「寄居写真館（秋の雀宮公園）」（寄居町商工観光課ホームページ） 「おがわ（施設）マップ」（小川町ホームページ） 「深谷市内の運動施設」（深谷市ホームページ） 「県立小川げんきプラザ」（埼玉県ホームページ） 「寄居町観光施設・名所」（寄居町ホームページ）	 <b>S = 1 / 50,000</b> 
<b>図 5.2-31 主要な自然とのふれあいの場の状況図</b>				

(7) 文化財その他の生活環境の状況

1) 指定文化財

計画地及びその周辺に存在する指定文化財は表5.2-69に、位置は図5.2-32に示すとおりである。

計画地に最も近い指定文化財としては、計画地東南側約1,700mに位置する国指定文化財の吉田家住宅がある。

表 5.2-69 計画地及びその周辺の指定文化財

町	図中 番号	区分	種類	名称	所在地・管理場所等
寄居町	■1	国指定文化財	記念物（史跡）	鉢形城跡	寄居町鉢形 2559-1 ほか
	●2	県指定文化財	有形文化財（工芸品）	吉定寺銅鐘	寄居町立原 505
	●3		記念物（名勝）	玉淀	寄居町（玉淀河原）
	●4		記念物（天然記念物）	ミミカキグサとモウセンゴケ自生地	寄居町鉢形
	●5		記念物（旧跡）	日下部博貞墓	寄居町立原 505
小川町	■6	国指定文化財	有形文化財（建造物）	吉田家住宅	小川町勝呂 424
	◆7	町指定文化財	記念物（歴史資料）	飢饉警告之碑	小川町大字勝呂 810-2
	◆8		記念物（天然記念物）	熊野神社の大スギ	小川町靱負 343
	◆9			根岸山の大グミ	小川町大字靱負 730 - 1
	◆10			三光神社の大スギ	小川町木部 458

注) 図中番号は、図5.2-32の番号と対応する。

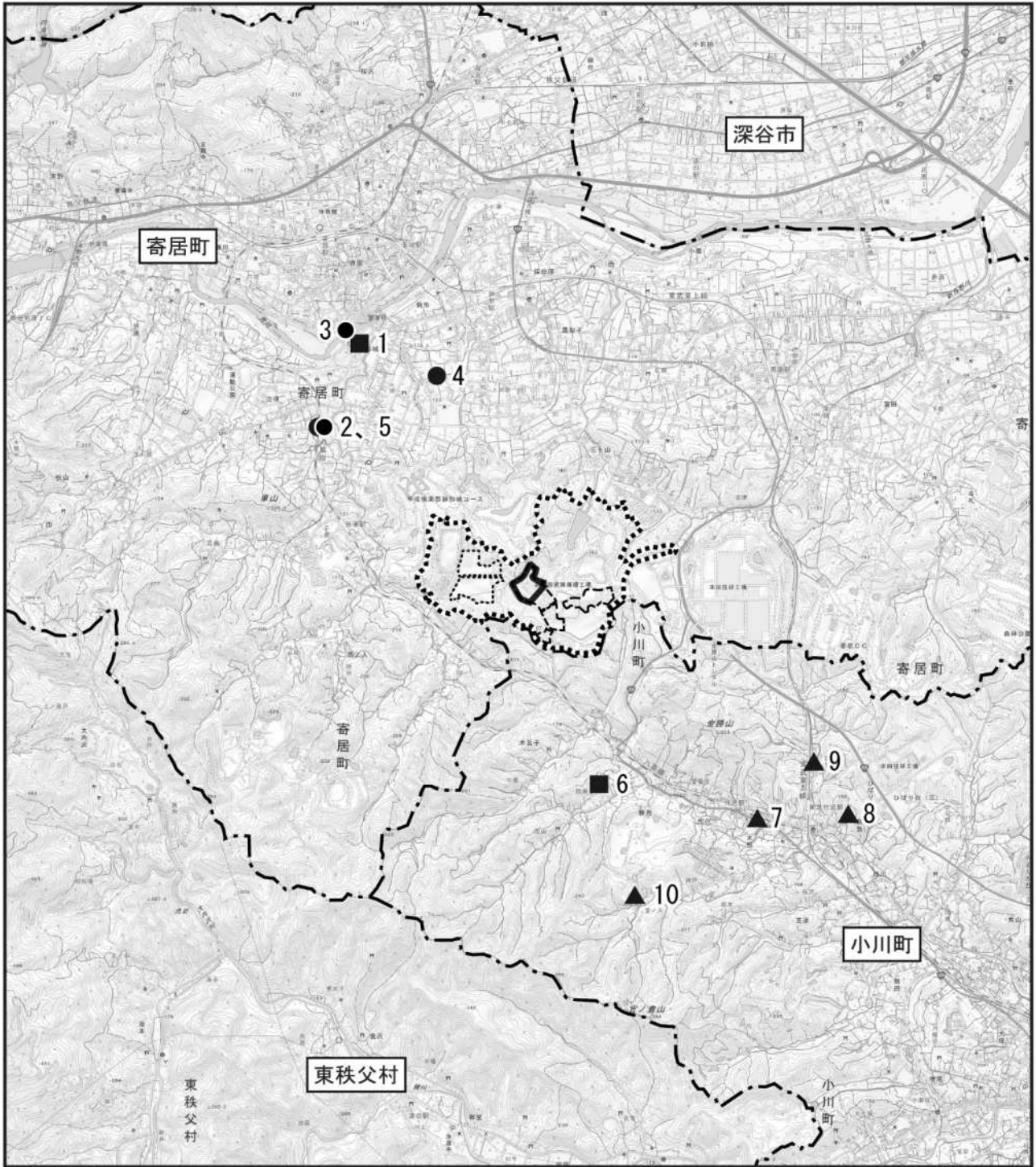
資料1: 「埼玉県内の国・県指定等文化財」(平成31年3月、埼玉県教育局文化資源化)

資料2: 「小川町内所在の指定文化財一覧」(生涯学習課生涯学習グループホームページ、令和2年2月閲覧)

2) 埋蔵文化財

計画地内には埋蔵文化財包蔵地は確認されていない。





この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。






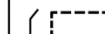




<p><b>凡例</b></p>		<p>資料：「埼玉県内の国・県指定等文化財」 （埼玉県教育局文化資源化ホームページ） 「小川町内所在の指定文化財一覧」 （生涯学習課ホームページ）</p>	<p>N</p>  <p>S = 1 / 50,000</p> 
<p> 計画地</p> <p> 市町村界</p> <p> 埼玉県環境整備センター</p> <p> 彩の国資源循環工場</p> <p> 彩の国資源循環工場第2期事業</p>	<p> 国指定文化財（1、6）</p> <p> 県指定文化財（2～5）</p> <p> 町指定文化財（6～10）</p>		

図 5. 2-32 指定文化財の分布状況図



(8) 一般環境中の放射性物質に係る環境の状況

1) 埼玉県有施設における放射線の状況

埼玉県では、平成23年3月11日に発生した福島第一原子力発電所事故後の平成23年11月17日から平成24年1月30日までに、公園や学校などの子どもがよく利用する県有施設(272施設：学校178校、公園30施設、その他64施設)を対象に放射線量の測定を行っている。

計画地及びその周辺の埼玉県有施設(4ヶ所)における放射線量測定結果は表5.2-70(1)～(4)に、位置図は図5.2-33に示すとおりである。

放射線量の測定結果は0.0374～0.2274  $\mu\text{Sv/h}$  (計画地最寄りの三ヶ山緑地公園では0.07～0.126  $\mu\text{Sv/h}$ ) であり、「当面の福島県以外の地域における周辺より放射線量の高い箇所への対応方針」(内閣府、文部科学省、環境省平成23年10月21日公表)で示された、周辺より放射線量の高い箇所における文科省への報告及び除染の目安である「周辺より毎時1マイクロシーベルト(1  $\mu\text{Sv/h}$ )以上高い数値」は確認されていない。

表 5.2-70(1) 埼玉県有施設における放射線量測定結果 (寄居城北高等学校)

測定箇所	高さ (cm)	測定値 ( $\mu\text{Sv/h}$ )	高さ (cm)	測定値 ( $\mu\text{Sv/h}$ )
雨どい下	100	0.077	1	0.2274
側溝		0.082		0.099
集水マス		0.0784		0.0672
集水マス		0.0688		0.0726
集水マス		0.0764		0.083
側溝		0.0822		0.132
集水マス		0.0732		0.061
集水マス		0.0648		0.0504
側溝		0.06		0.0874
平均的な場所		0.0374		0.034

注) 測定日：平成23年11月29日

資料：「県有施設における放射線の測定結果について」(埼玉県環境部水環境課ホームページ)

表 5.2-70(2) 埼玉県有施設における放射線量測定結果 (三ヶ山緑地公園)

測定箇所	高さ (cm)	測定値 ( $\mu\text{Sv/h}$ )	高さ (cm)	測定値 ( $\mu\text{Sv/h}$ )
側溝	50	0.07	1	-
その他の遊具		-		0.126
平均的な場所		0.084		0.090

注) 測定日：平成23年11月21日

資料：「県有施設における放射線の測定結果について」(埼玉県環境部水環境課ホームページ)

表 5.2-70(3) 埼玉県有施設における放射線量測定結果（埼玉県立川の博物館）

測定箇所	高さ (cm)	測定値 ( $\mu$ Sv/h)	高さ (cm)	測定値 ( $\mu$ Sv/h)
植栽	50	0.0726	1	0.084
集水マス		0.0724		0.0956
集水マス		0.0706		0.0636
集水マス		0.065		0.0652
落葉の表面		0.0736		0.092
側溝		0.1102		0.0998
集水マス		0.101		0.1002
集水マス		0.0726		0.0726
集水マス		0.0828		0.105
平均的な場所		0.0924		0.0952

注) 測定日：平成23年11月29日

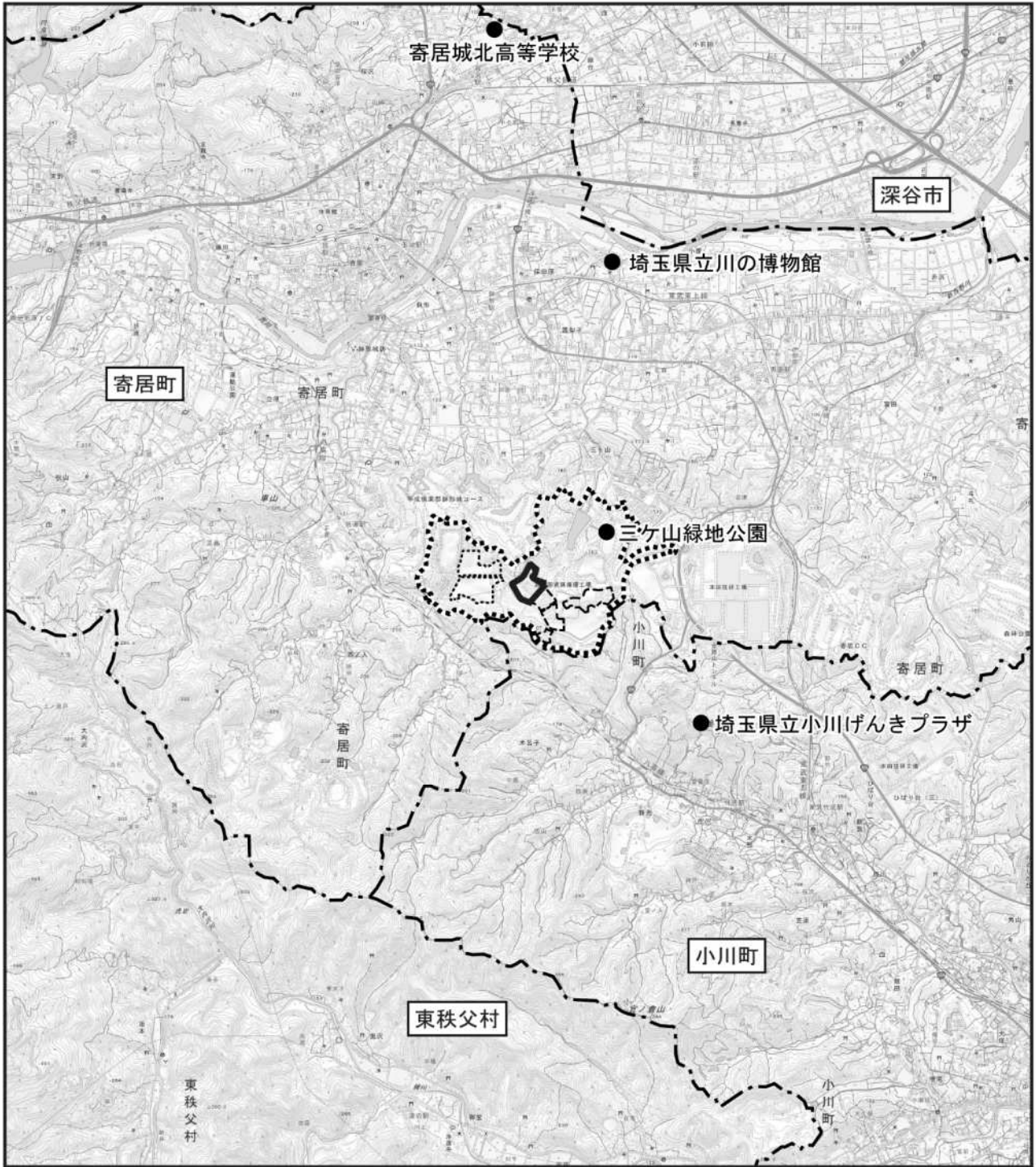
資料：「県有施設における放射線の測定結果について」（埼玉県環境部水環境課ホームページ）

表 5.2-70(4) 埼玉県有施設における放射線量測定結果（埼玉県立小川げんきプラザ）

測定箇所	高さ (cm)	測定値 ( $\mu$ Sv/h)	高さ (cm)	測定値 ( $\mu$ Sv/h)
その他	50	0.079	1	0.0834
その他		0.0616		0.0614
その他		0.0872		0.0918
その他		0.0702		0.0658
その他		0.06		0.0508
その他		0.0854		0.0782
その他		0.0762		0.074
その他		0.048		0.046
その他		0.0756		0.0744
その他		0.0728		0.0658

注) 測定日：平成23年11月18日

資料：「県有施設における放射線の測定結果について」（埼玉県環境部水環境課ホームページ）



この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。

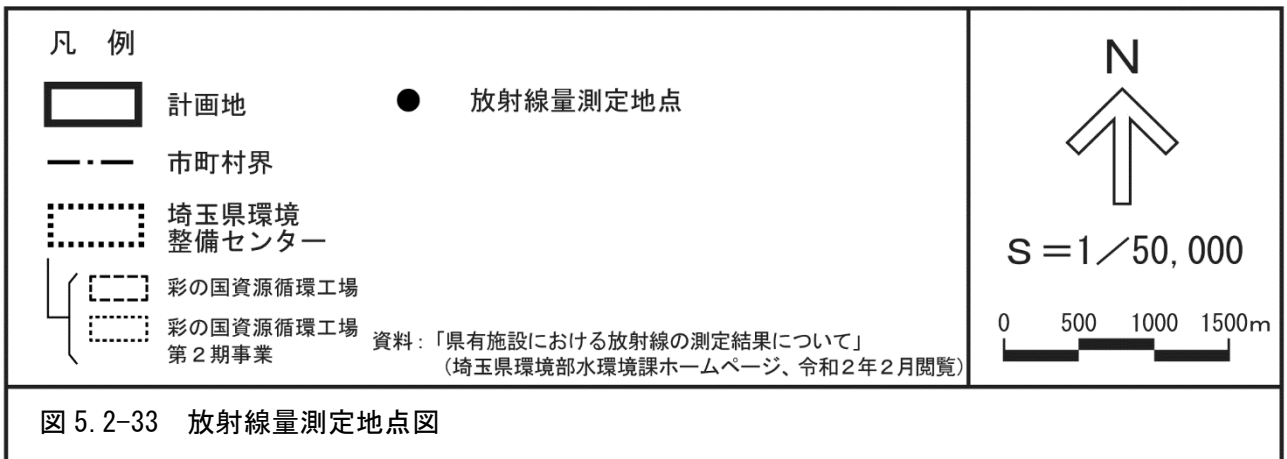


図 5.2-33 放射線量測定地点図

## 2) 寄居町における放射線の状況

計画地の位置する寄居町では、町内の公園等 67 ヶ所（令和 2 年 3 月時点）を対象に放射線量の測定・監視を行っている。

計画地及びその周辺の寄居町内における放射線量の測定地点(14 地点)は表 5.2-71 に、位置図は図 5.2-34 に示すとおりである。また、過去 5 年間の測定期間は、表 5.2-72 に示すとおりである。

放射線量の測定結果(令和元年度)は表 5.2-73 に、放射線量(年度中の最大値)の経年変化(平成 27 年度～令和元年度)は表 5.2-74 に示すとおりである。

放射線量の測定結果（年度中の最大値）は 0.048～0.102  $\mu\text{Sv/h}$ （計画地最寄りの男衾蔵田区（番号 11）では 0.062～0.080  $\mu\text{Sv/h}$ ）であり、目標基準（放射性物質汚染対処特措法に基づく基本方針の土壌等の除染等の措置に関する基本事項で、目標として掲げている追加被ばく線量）である 0.23  $\mu\text{Sv/h}$  を下回っている。

表 5.2-71 寄居町内の公園等における放射線量の測定地点

町	図中番号	区名	測定地点
寄居町	1	寄居栄町区	栄町会館
	2	寄居茅町区	茅町会館
	3	折原立原区	立原公民館
	4	折原山居区	山居公会堂
	5	折原栃谷区	栃谷公会堂
	6	鉢形木持区	木持公民館
	7	鉢形上の町区	上の町公民館
	8	鉢形内宿区	内宿公民館
	9	鉢形上の原区	上の原公民館
	10	鉢形露梨子区	露梨子公会堂
	11	男衾蔵田区	蔵田区集会所
	12	男衾中郷区	中郷区公会堂
	13	男衾上郷南区	上郷南区公会堂
	14	男衾上郷北区	上郷北区公会堂

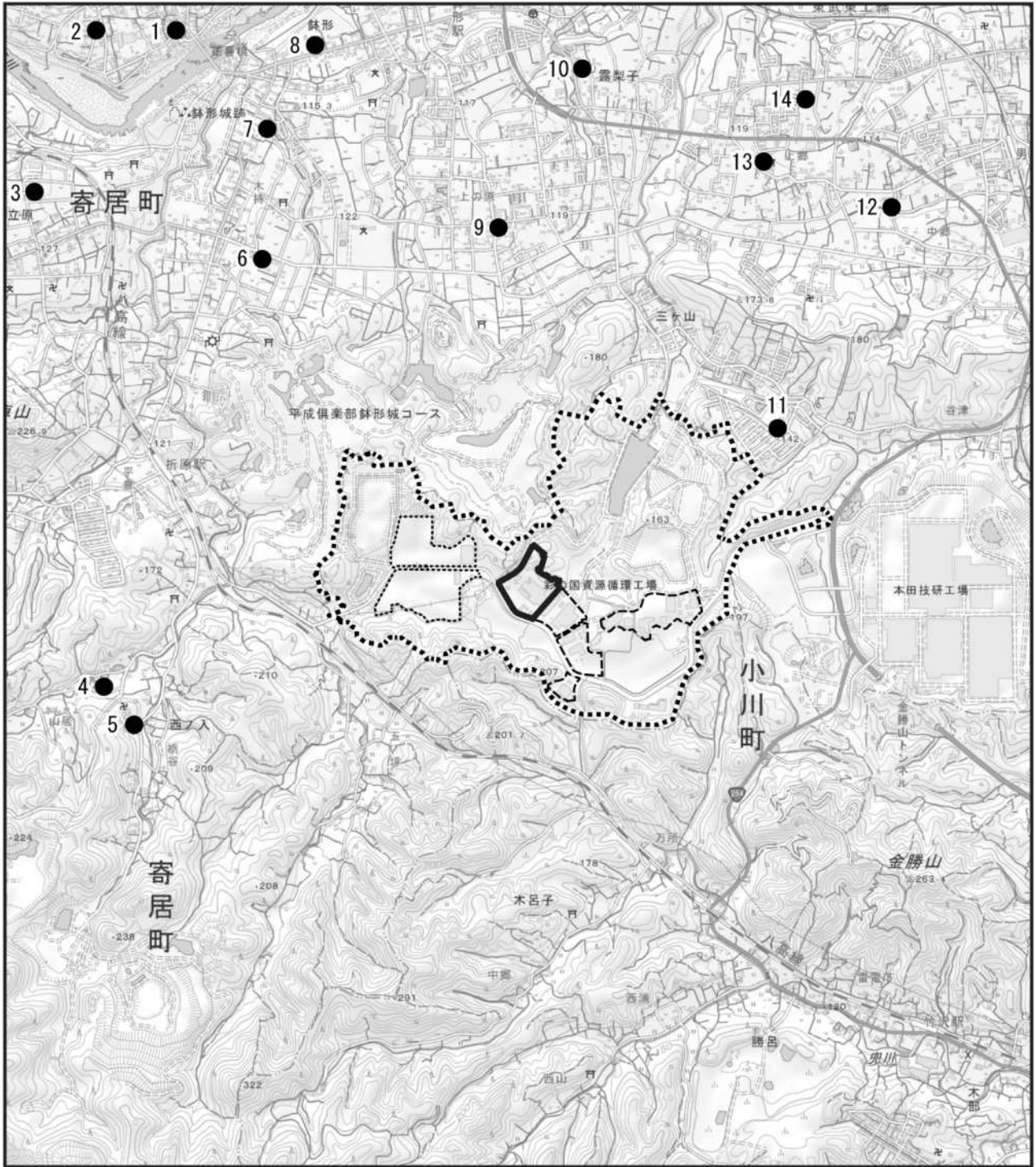
注) 図中番号は、図5.2-34の番号と対応する。

資料：「放射性物質等の検査結果(生活環境エコタウン課)」(寄居町生活環境エコタウン課ホームページ)

表 5.2-72 過去 5 年間の寄居町内の公園等における放射線量の測定期間

年度	測定期間
平成 27 年度	平成 27 年 9 月 28 日(月)～9 月 30 日(水) 平成 28 年 3 月 16 日(水)～3 月 18 日(金)
平成 28 年度	平成 28 年 9 月 12 日(月)～9 月 14 日(水) 平成 29 年 3 月 23 日(木)～3 月 29 日(水)
平成 29 年度	平成 29 年 9 月 4 日(月)～9 月 5 日(火) 平成 30 年 3 月 12 日(月)～3 月 22 日(木)
平成 30 年度	平成 30 年 9 月 6 日(木)～9 月 10 日(月) 平成 31 年 3 月 14 日(木)～3 月 15 日(金)
令和元年度	令和元年 9 月 4 日(水)～9 月 5 日(木) 令和 2 年 3 月 11 日(水)～3 月 12 日(木)

資料：「放射性物質等の検査結果(生活環境エコタウン課)」(寄居町生活環境エコタウン課ホームページ)



この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。

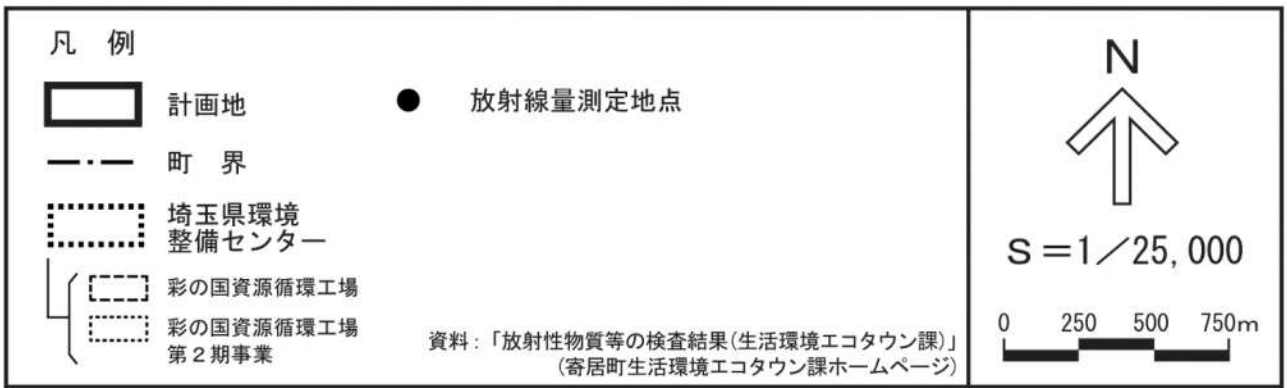


図 5.2-34 寄居町内の公園等における放射線量測定地点図

表 5.2-73 寄居町内の公園等における放射線の測定結果(令和元年度)

単位：μSv/h

図中 番号	測定地点	令和元年9月4日(水) ～9月5日(木)	令和2年3月11日(水) ～3月12日(木)	年度中の 最大値	目標 基準
1	栄町会館	0.052	0.052	0.052	0.23
2	茅町会館	0.050	0.050	0.050	
3	立原公民館	0.060	0.056	0.060	
4	山居公会堂	0.058	0.056	0.058	
5	栃谷公会堂	0.078	0.068	0.078	
6	木持公民館	0.048	0.054	0.054	
7	上の町公民館	0.046	0.058	0.058	
8	内宿公民館	0.056	0.072	0.072	
9	上の原公民館	0.064	0.056	0.064	
10	露梨子公会堂	0.054	0.062	0.062	
11	蔵田区集会所	0.072	0.064	0.072	
12	中郷区公会堂	0.048	0.044	0.048	
13	上郷南区公会堂	0.040	0.050	0.050	
14	上郷北区公会堂	0.064	0.052	0.064	

注1) 図中番号は、図5.2-34の番号と対応する。

注2) 目標基準とは、放射性物質汚染対処特措法に基づく基本方針の土壌等の除染等の措置に関する基本事項で、目標として掲げている追加被ばく線量年間1mSv(0.23μSv/h)の値である。

資料：「放射性物質等の検査結果(生活環境エコタウン課)」(寄居町生活環境エコタウン課ホームページ)

表 5.2-74 寄居町内の公園等における放射線(年度中の最大値)の経年変化  
(平成27年度～令和元年度)

単位：μSv/h

図中 番号	調査地点	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標 基準
1	栄町会館	0.074	0.074	0.064	0.054	0.052	0.23
2	茅町会館	0.072	0.064	0.066	0.052	0.050	
3	立原公民館	0.062	0.062	0.060	0.058	0.060	
4	山居公会堂	0.070	0.064	0.060	0.060	0.058	
5	栃谷公会堂	0.096	0.102	0.076	0.082	0.078	
6	木持公民館	0.068	0.060	0.064	0.060	0.054	
7	上の町公民館	0.078	0.064	0.058	0.058	0.058	
8	内宿公民館	0.076	0.064	0.070	0.054	0.072	
9	上の原公民館	0.088	0.094	0.070	0.068	0.064	
10	露梨子公会堂	0.072	0.070	0.070	0.060	0.062	
11	蔵田区集会所	0.080	0.080	0.070	0.062	0.072	
12	中郷区公会堂	0.066	0.064	0.056	0.058	0.048	
13	上郷南区公会堂	0.054	0.050	0.052	0.054	0.050	
14	上郷北区公会堂	0.064	0.066	0.060	0.054	0.064	

注1) 図中番号は、図5.2-34の番号と対応する。

注2) 目標基準とは、放射性物質汚染対処特措法に基づく基本方針の土壌等の除染等の措置に関する基本事項で、目標として掲げている追加被ばく線量年間1mSv(0.23μSv/h)の値である。

資料：「放射性物質等の検査結果(生活環境エコタウン課)」(寄居町生活環境エコタウン課ホームページ)

### 3) 彩の国資源循環工場における空間放射線の状況

寄居町では、彩の国の資源循環工場における廃棄物のリサイクル工程において汚泥や焼却灰などを扱う企業（4社）に対し、放射性物質により周辺環境に影響がないことを測定・報告させている。

計画地内の既存施設を有するオリックス資源循環株は、放射線量の測定を行い寄居町に報告を行う対象企業となっている。計画地内の既存施設における放射線量の測定結果（令和元年度）は表 5.2-75 に、放射線量（年度中の最大値）の経年変化（平成 27 年度～令和元年度）は表 5.2-76 に示すとおりである。

平成 27 年度～令和元年度における放射線量の測定結果（年度中の最大値）は、0.063～0.075  $\mu$  Sv/h である。

表 5.2-75 計画地内の既存施設における放射線の測定結果（令和元年度）

単位： $\mu$  Sv/h

測定地点	測定時期	測定結果	年度中の最大値
オリックス資源循環株の 廃棄物保管場所から 1 m 離れた場所(地表 1 m)	平成31年 4 月	0.066	0.066
	令和元年 5 月	0.062	
	令和元年 6 月	0.062	
	令和元年 7 月	0.061	
	令和元年 8 月	0.062	
	令和元年 9 月	0.063	
	令和元年10月	0.062	
	令和元年11月	0.061	
	令和元年12月	0.062	
	令和 2 年 1 月	0.060	
	令和 2 年 2 月	0.060	
	令和 2 年 3 月	—注)	

注) 令和 2 年 3 月の測定結果は、令和 2 年 4 月末時点で未公表である。

資料：「彩の国資源循環工場における空間放射線量の測定結果について」（寄居町生活環境エコタウン課ホームページ）

表 5.2-76 計画地内の既存施設における放射線（年度中の最大値）の経年変化  
（平成 27 年度～令和元年度）

単位： $\mu$  Sv/h

測定地点	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
オリックス資源循環株の 廃棄物保管場所から 1 m 離れた場所(地表 1 m)	0.075	0.070	0.065	0.063	0.066

資料：「彩の国資源循環工場における空間放射線量の測定結果について」（寄居町生活環境エコタウン課ホームページ）

(9) その他の事項

計画地及びその周辺には、日照障害、電波障害、風害が発生するような高層建築物は存在しない。